

第Ⅰ部 教員の総合的業績評価について

第Ⅰ部

教員の総合的業績評価について

第1章 教員の教育,管理運営,社会貢献業績調査について

目 的

大学の点検評価は、大学が国内外において社会が求める教育・研究機関として十分責任を果たしているか否か点検評価し、不十分な点に改善を加え、不断に改革することを目的とするとともに、点検評価結果の公表により、大学構成員として教員が行っている活動が社会に公表され、アカウンタビリティを果たすことを目的としている。この場合、大学が機関として社会における役割を果たしているかどうかを問うのであるが、その機関の機能は構成員個々の活動や業績と不可分のものである。

大学の果たすべき役割は高度な教育と研究の維持・発展であり、個々の教員について教育活動と研究活動の双方にわたり、その貢献を適切に評価する必要がある。また、組織が効率的な管理運営がなされていなければ個別の教育、研究による成果も期待できないし、複雑に高度化した現代社会において、大学や専門家としての教員には社会へのさまざまな役割が期待されており、これらの社会的貢献としての活動も大学及び教員の業績の一部として評価される必要がある。

このような目的で北海道大学及びその構成教員の自己点検評価が実施されており、本学における大学改革の資料として、利用されている。

平成14年度調査について

本調査は、平成11年度から実施しており、平成12年度からは調査結果を個人データとして冊子体に掲載・公表することを前提に実施している。

なお、本学が点検評価を開始した平成4年度から平成10年度までの、教員の教育、管理運営、社会貢献業績評価に関する検討経緯については、昨年度報告していることから、ここでの説明を省略する。

平成14年度は、北海道大学に在籍する教員2,064名について調査を実施したところ、全体の90.3%にあたる1,863名の回答を得た。平成12年度・13年度と同様に個人データは冊子体として公表される。

本調査にかかる意見について

平成14年度の「教育、管理運営、社会貢献業績調査票」の末尾に設けられた「『本調査』にかかる意見」(以下では「意見」とする)の記入欄には、多くの意見が寄せられた。そのすべてに回答することは不可能であるが、そのうち主だったものについて、現時点での教員業績評価専門委員会の判断を述べることにする。

そもそも、本調査の意義そのものに対する否定的見解の表明が少なくない。この調査は、国立学校設置法等の規定に基づき、国立大学として社会への説明責任を果たすことを主な目的とし、あわせて教育改善や大学評価・学位授与機構による評価のための基礎資料などとしても役立てようとするものである。また、本報告書の一覧が、教員の総合的業績評価に資することを期待するものであるが、本一覧の内容のみで教員個人の「教育、管理運営、社会貢献業績」のすべてを把握できるという前提には立っていない。「意見」でも指摘されているが、入試問題作成など本調査では公表できない重要な業績が存在しているし、時間数に還元できない教育業績もあることは言うまでもない。そうした意味において、本一覧は全学レベルでの統一的な調査によって把握・公表できる範囲の資料である。

また、本調査の意義そのものに対する否定的見解は、「教育、管理運営、社会貢献業績」に対する評価の難しさの表れとも言えよう。本専門委員会においても、昨年度実施の調査から各教官の「教育、管理運営、社会貢献」に対する考え方や実績を記述できる欄(ポートフォリオ)を設け、各教官の活動がより明確になるよう、また各教官の教育、管理運営、社会貢献に取り組む姿勢をアピールできるよう工夫してきたところである。

調査票記入方法の簡素化、デジタル化、調査時期の変更などについての要望も数多く寄せられた。今年度はワープロ文書形式でも調査票を配布した。次年度以降に、ホームページからの直接入力、電子化された前年度データの提供などの実現を図りたいと考えている。また、他の調査資料や事務部作成資料との統合による重複作業の解消、調査時期を年度初めに変更することなども重要な検討事項である。それらについては予算と人員の確保、予算執行に関わる経理手続き上の問題などを含む検討が必要である。可能な部分から順次、実現を図りたい。また、報告書の冊子形態による配布を、ホームページ等による電子情報での公開に切り替えることも検討中である。ただ、それとあわせて情報の保護についても十分な配慮が必要となろう。

年度途中で赴任した者、長期海外出張をした者などについての個人データについては、そうした個別事情がわかるようにすることも必要であろう。また、データの電子化が実施されれば、単年度ごとの一覧ではなく、一定期間の累積データとして公表することも考えられるし、「研究活動一覧」との統合ということも視野に入れることができる。このような可能性の検討も進める必要があろう。

「意見」欄に寄せられた要望のすべてを次年度の調査に反映させることは困難であるが、調査方法の効率化を図ることは必要と考えており、その努力を継続したい。

今後の課題

大学が真に果たすべき役割に向けて大学を改革するために、大学についての点検評価とともに、大学を構成する個々の教員の活動の点検評価も必要であり、また、個々の教員の業績の点

検評価にあたり、教育、研究、管理運営及び社会貢献の活動にわたって、総合的に評価する必要があることは、目的の欄に記したとおりである。

しかし、現時点では、教育活動や教育業績に関する評価システムが確立していない。また、管理運営や社会貢献に関しても同様である。したがって、本専門委員会としては、当面、教育、管理運営、社会貢献に関する業績についてデータの集積と呈示を続ける一方、これらと併行して教員のもつ適性、特性を調べ、その評価基準の設定等、評価システムの構築について検討を進める必要がある。

また、教員の業績評価とその活用については準備段階と考えられるが、今後、国立大学の法人化を見据えて、教員の採用、昇任の際の業績評価の基準とするなどの評価結果を活用する方法を検討する必要があると考える。

平成15年度への提言事項

1.「教育，管理運営，社会貢献に係る業績」の評価のあり方について

現在の「教育，管理運営，社会貢献活動一覧」は，個々の教員のデータの集積と呈示であって，指標による重み付け等による評価にまでは踏み込んでいない。将来の教員の総合的な業績評価にむけて，評価のあり方の検討を継続する必要がある。

国立大学の法人化以降の教員の業績評価も視野に入れ，その評価基準の設定など評価システムの構築と評価結果を活用する方法についての検討が必要である。

2.「教育，管理運営，社会貢献業績調査」の調査項目について

本調査結果が，大学評価・学位授与機構による大学評価などの第三者評価の基礎資料として，有効に活用されるためには，調査項目について，再検討する必要がある。

3.「教育，管理運営，社会貢献活動一覧」のデータベース化について

「教育，管理運営，社会貢献活動一覧」をデータベース化するとともに，研究業績データベース等との統合により重複作業を解消し，効率化を進めるための具体的方策を検討する必要がある。

4.「教育，管理運営，社会貢献活動一覧」の公表方法について

「教育，管理運営，社会貢献活動一覧」の公表方法について，冊子体による公表を廃止し，CD・ROMまたはホームページで公表する具体的方法と，公表方法を変更した場合の問題点を検討する。

平成14年8月

教 員 各 位

点検評価委員会教員業績評価専門委員会
委員長（法学研究科長） 畠 山 武 道

教員の「教育、管理運営、社会貢献業績」の調査について（依頼）

点検評価委員会では、「教員個々の評価は、教育、研究、管理運営及び社会貢献の業績を総合的に行う必要がある」との考えから、平成10年度から「教員の総合的業績評価の在り方」を課題の一つとして取り上げ、「教員業績評価専門委員会」を設置して検討してまいりました。

今日の大学に課された役割が高度の教育と研究水準の維持にあることを考えると、教員についても、教育活動と研究活動の双方にわたり、その貢献を適切に評価する必要があります。また、組織の効率的な管理運営がなければ、個別の教育・研究における成果も期待できません。一方、複雑高度化した現代社会において、高度専門的な教育機関としての大学や専門家としての教員には、学生を対象とする教育活動や学界中心の研究活動の他に、さまざまな役割が期待されており、これらの社会貢献活動も、大学及び教員の業績の一部として評価される必要があると考えられます。

これらのことから、本専門委員会では、昨年に引き続き、本学の専任教員（調査時点で本学に在籍し、かつ平成13年4月から平成14年3月の間に本学に在籍していた教授、助教授、講師及び助手）を対象に、「教育、管理運営、社会貢献業績」に係る業績調査を実施いたします。

趣旨をご理解いただき、ご協力方よろしくお願い申し上げます。

つきましては、記入要領及び本年刊行した「教育、管理運営、社会貢献活動一覧」を参考の上、「平成14年度 教育、管理運営、社会貢献業績調査票」に必要事項を記入し、調査票のみを所属部局のメ切り日までに事務担当掛へ提出するようお願いします。

なお、記入要領及び調査票の様式（PDF形式、一太郎形式、Word形式）を本学ホームページの「点検・評価（<http://www.hokudai.ac.jp/bureau/tenken/index.html>）」に掲載しておりますので、ダウンロードして利用できます。提出にあたってはプリントアウトして提出願います。

また、調査結果は、個人ごとの一覧として刊行・公表させていただきますが、本調査結果が各教官の活動の客観的評価並びに自己啓発に有用な資料となるよう、今後も更に検討していきたいと考えております。

おって、不明の点は下記に照会願います。

調査に関する照会

教員業績評価専門委員会委員長 法学研究科長 畠 山 武 道（TEL 3116）

“ 委員 薬学研究科長 野 村 靖 幸（TEL 3246）

事務担当

総務部企画室点検・評価担当 西田又は笹原（TEL 3600）

「平成14年度 教育,管理運営,社会貢献業績調査票」記入要領

平成13年4月から平成14年3月までの間の業績を記入してください

※記入欄に付されている○数字は、データの集計・分析を電算処理するために利用するものです。
該当項目がないときは、0と記入してください。

所属部局, 職名, 研究分野, 氏名, 年齢

所属部局, 職名及び年齢は**平成14年4月1日現在**で記入願います(① , ②)。

所属部局名については、最初に研究科名とその専攻名, 次に学部名とその学科名を記入してください。併せて下記の部局コード番号表を参考にしてコード番号も記入してください。

研究分野については、研究者総覧に倣って3つ以内を記入してください。

部局コード番号

部 局 名	番号	部 局 名	番号	部 局 名	番号
文学研究科・文学部	01	獣医学研究科・獣医学部	11	機器分析センター	23
教育学研究科・教育学部	02	水産科学研究科・水産学部	12	留学生センター	26
法学研究科・法学部	03	言語文化部	13	量子集積エレクトロニクス研究センター	27
経済学研究科・経済学部	04	地球環境科学研究科	14	エネルギー先端工学研究センター	28
理学研究科・理学部	05	国際広報メディア研究科	15	高等教育機能開発総合センター	29
医学研究科・医学部	06	低温科学研究所	16	先端科学技術共同研究センター	30
医学部附属病院	37	電子科学研究所	17	情報メディア教育研究総合センター	31
歯学研究科・歯学部	07	遺伝子病制御研究所	18	総合博物館	32
歯学部附属病院	38	触媒化学研究センター	19	北方生物圏フィールド科学センター	36
薬学研究科・薬学部	08	スラブ研究センター	20	保健管理センター	33
工学研究科・工学部	09	大型計算機センター	21	体育指導センター	34
農学研究科・農学部	10	アイソトープ総合センター	22	医療技術短期大学部	35

※ 研究科, 学部の附属施設に所属する教官は, 研究科・学部のコード番号を記入してください。

I 教育の業績

A 教育の指導に係る業績

1 教育の経験

1) 北海道大学における専任教員としての在籍年数

平成14年3月末日までの年数を記入してください。

1年未満の期間は月数を記入してください。 例: 0年6月

2) 北海道大学以外の高等教育機関（高等専門学校以上。以下同じ）における教育経験年数

3) 1) ~2) に該当しない場合で、高等教育機関における非常勤講師の教育経験年数

2 学部教育の実績

1) 担当授業科目

担当授業科目について以下の項目を記入してください。担当授業科目とは、授業科目

表に記載され、単位が認定される講義、演習、文献講読、論文指導（全学教育科目の「論文指導」など）、実験、実習、その他をいいます。助手の教員の担当する実験・実習も含みます。なお、学内非常勤担当科目も、ここに記入してください。

① 科目名（実働単位数）

科目名はカリキュラム上の分類で記入してください。

実働単位数は次の方法で計算して記入してください。

計算方法

授業の担当形態は、単独、分担、チーム担当など様々です。ここでは授業に参加し、学生に接している時間を記入してください。授業の準備に要した時間、休講時間及び代講してもらった時間は算入しません。

授業時間は、便宜上、授業科目の種類にかかわらず、90分授業15回を2単位として計算します。

15回又は、その年度の授業全体に参加したときは2単位とします。

他は「参加授業(90分授業)回数×2÷15」で計算します。

小数点第2位を切上げて記入してください。

例えば1回参加は「 $1 \times 2 \div 15 = 0.14$ 」で、「0.2単位」と記入します。

② 科目区分

全学教育、専門教育のいずれかを○印で囲んでください。

教職課程科目、H U S T E Pの担当の場合は、全学教育を○印で囲んでください。

③ 担当教員

担当教員数を記入してください。

④ クラスサイズ

成績を評価する学生総数を記入してください。

⑤ 授業形式

授業形式を下記から選択し、**記号**を記入してください。

A：講義、**B**：演習・ゼミ、**C**：実験・実習・技術演習・実技調査指導、

D：小グループ(チュートリアル)、**E**：その他（H U S T E Pなど）

⑥ 授業内容キーワード

内容に関するキーワードを、必要であれば記入してください。

⑦ 総科目数を記入してください(**3**)。

2) 担当授業科目の内訳、総実働単位数

① 担当授業科目の内訳を実働単位数で記入してください。

複数教員担当の場合も実際の参加時間で計測し、研究・診療の見学への対応は、実際の学生に対面した時間で計算します。計算方法は、1) の①と同じです。

② 総実働単位数を記入してください(**4**)。

3) 卒業論文指導

所属する学部により異なりますが、学生に対する卒業論文指導について、指導に直接要した時間(年間対面指導総時間)(**5**)と年間指導人数(**6**)を記入してください。

なお、大学院の論文指導は別に扱います。

4) セミナー等

カリキュラム上の授業科目になっていないセミナー等について記入してください(⑦)。

5) 学生指導

正規の授業の範囲を超えて学生を指導したことがあれば、下記の各項目について記入してください。なお、時間数は年間の総時間数を記入してください。また、合計時間数を記入してください(⑧)。

① クラス担任

クラス担任として費やした時間及び内容を記入してください。

② 留学生の指導

留学生の指導に費やした時間及び内容を記入してください。

③ 就職のための指導

就職のための指導に費やした時間及び内容を記入してください。

④ 授業外の補講、個人学習等

授業外の補講、演習・個人学習指導、学習グループのボランティア的指導等に費やした時間及び内容を記入してください。

⑤ 病院臨床実習の指導等

⑥ 安全指導等

⑦ 教育実習、工場見学、社会見学、調査への引率

⑧ 修学、生活、クラブ活動への指導

①～⑧の内容について特記すべき事項があれば記入してください。

3 大学院教育の実績

1) 担当授業科目

担当授業科目について、学部と同じ要領で、以下の各項目を記入してください。

なお、学内非常勤担当科目も、ここに記入してください。

① 科目名（実働単位数）

科目名はカリキュラム上の分類で記入してください。

実働単位数は次の方法で計算して記入してください。

計算方法

授業の担当形態は、単独、分担、チーム担当など様々です。ここでは授業に参加し、学生に接している時間を記入してください。授業の準備に要した時間、休講時間及び代講してもらった時間は算入しません。

授業時間は、便宜上、授業科目の種類にかかわらず、90分授業15回を2単位として計算します。

15回又は、その年度の授業全体に参加したときは2単位とします。

他は「参加授業(90分授業)回数 $\times 2 \div 15$ 」で計算します。

小数点第2位を切上げで記入してください。

例えば1回参加は「 $1 \times 2 \div 15 = 0.14$ 」で、「0.2単位」と記入します。

② 課程

修士又は博士のいずれかを○印で囲んでください。いずれにも該当するときは、両方を○印で囲んでください。

③ 担当教員

担当教員数を記入してください。

④ クラスサイズ

成績を評価する学生総数を記入してください。

⑤ 授業形式

授業形式を下記から選択し、**記号**を記入してください。

A：講義、**B**：演習・ゼミ、**C**：実験・実習・技術演習・実技調査指導、**D**：その他

⑥ 授業内容キーワード

内容に関するキーワードを、必要であれば記入してください。

⑦ 総科目数及び総実働単位数を記入してください(⑨ , ⑩)。

2) 担当大学院学生数

大学院の指導は、各大学院生の研究テーマと関連して直接指導した者のみにについて、研究指導学生数及び学位取得人数を記入してください(⑪ ~ ⑭)。研究指導学生数とは、在籍している研究指導学生の総数をいい、学位取得の有無を問いません。

また、特別研究学生とは、他大学の大学院に在籍している学生で、本学の大学院又は研究所等において研究指導を受けようとする学生のことです。

(人)には留学生数を、内数で記入してください。

3) 論文博士取得のための研究指導

論文博士取得のため直接指導した卒業生、社会人、他大学学生等の総数を記入してください(⑮ , ⑯)。

(人)には留学生数を、内数で記入してください。

4) 論文審査の数

主査又は副査として論文審査を行った数を記入してください(⑰ ~ ⑳)。

(人)には留学生数を、内数で記入してください。

4 附属病院における研修医等の指導の実績

附属病院における研修医等の指導の実績を記入してください(㉕ , ㉖)。

5 学外非常勤講師等の実績(実働単位数)

北海道大学以外の高等教育機関における学部教育・大学院教育の実績を記入してください(㉗)。

実績は、学部教育・大学院教育と同様の方法で計算した実働単位数で記入してください。

なお、学内非常勤講師については、「2 学部教育の実績」及び「3 大学院教育の実績」の欄に記入してください。

6 その他の教育の指導に係る業績

該当するものがありましたら、記入してください(㉘)。

レポートの評価及び添削、教材作成などの補助業務も、ここに合計時間数および内容を記入してください。

B 教育の改善に係る業績

北海道大学における教育の質の向上に対する積極的行動を評価します。

専門分野の教育の質の向上及び機関としての教育の質の向上に対する観察可能な姿勢、すなわちファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を評価するものです。

Facultyは教員個人、教員の集団、学部等を指し、FDは、一般に、教育資質の改善への行動を指し、教授法の改善、カリキュラムの改善及び教育組織の改善に積極的に参加し、実際に改善していくことを意味します。

ここでは大学における教員として関連の教育行動を具体的に改善する努力のデータを記入することになります。北海道大学におけるすべての活動を記入してください。

1 授業用教科書等（教科書の翻訳、教材を含む）の執筆・作成

講義・演習等で使用するために執筆した教科書、翻訳書等を記入してください。文献については、本学の『研究活動一覧』の書式(著者名、書名(雑誌名)、総ページ数(頁(最初―最後))、発行所、発行場所、発行年等)で記入してください。複数の場合は各々記入してください。

教材については、電子メディア、プリント、OHP、テープ、地図、模型等で一般的に使用できるものを、タイトルを付して記入してください(29)。

2 教育改善に関する著書、論文、啓蒙文等

教育改善に関して執筆した著書、論文、啓蒙文等を記入してください(30)。新聞等への執筆もここに記入してください。

3 FDの企画・運営等

教育活動に関する「講演・発表」、「研修会(FD)の担当」、「研究」、「研究補助金の取得」、「受賞」等

講演、発表等については、論題、会の名称、主催、開催日、開催地、対象者、参加者規模(人数)等を記入してください。

研修会(FD)の担当については、対象となる大学・学部名、対象者、参加人数、内容、企画実施(主催に参加した場合)等を記入してください。

研究については、題名、参加人数等を記入してください。

研究補助金の取得については、題名、金額等を記入してください。

受賞については、受賞名を記入してください。

その他FDの企画・運営等に関わったことがありましたら、記入してください(31)。

4 FDへの受講参加

教育改善に関する様々な集会(FDを目的とした研修会、講演会、研究会、セミナー、シンポジウム、ワークショップ、新任教員研修会、専門分野の教育学会、例えば工学教育

学会、医学教育学会、語学教育学会等)への参加について記入してください(32)。

5 その他の教育の改善に係る業績

該当するものがありましたら、記入してください。個人的に行っている教授法の工夫なども、ここに内容を記入してください(33)。

II 管理運営の業績

ここでは、北海道大学における管理運営への貢献を記入してください。

1 部局長等

学部長、研究科長、研究所長、センター長、施設長、言語文化部長、附属病院長、評議員等の職にあった場合は、職名及び任期を記入してください。

なお、任期については、平成13年4月から平成15年3月までが任期の場合は、「平成13年4月～15年3月」と記入してください。

2 全学的委員会、専門委員会、ワーキンググループ等

全学的委員会等の総件数、名称及び役職(委員、委員長、小委員長、ワーキンググループ座長等)を記入してください(34)。

ただし、公表できないものは記入しないでください。

総件数には、名称を公表できないものも含めてください。

3 所属部局等における管理運営の実績

研究科、学部、研究所、研究センター等における委員会等(専攻長、講座責任者等を含みます)の総件数、名称及び役職(委員、委員長、小委員長、ワーキンググループ座長、世話人、責任者等)を記入してください(35)。

4 その他の管理運営の業績

その他で負担が顕著なものがありましたら、記入してください(36)。

III 社会貢献の業績

1 審議会、委員会等の実績

専門分野に関連して兼職している審議会、委員会等の総件数、名称、役職(委員、会長、部会長、委員長、小委員長等)及び年間開催回数を記入してください(37)。

ただし、公表できないものは記入しないでください。

総件数には、名称を公表できないものも含めてください。

2 国家試験委員等の実績

各種の国家試験等の出題委員、採点委員等に就任したことがあれば、総件数及び名称を記入してください(38)。

ただし、公表できないものは記入しないでください。

総件数には、名称を公表できないものも含めてください。

3 上記以外の公的社会活動の実績

上記以外に、国際機関、国、地方公共団体、学術団体及びその他の公的団体からの委嘱を受け、本学の下承を得てなされた活動で、専門分野に関連して積極的に社会貢献したと思われるものがありましたら、総件数、名称及び活動の内容を記入してください(39)。

4 学会、学術団体等への貢献

1) 学会、学術団体等

学会、学術団体等(学術会議を含む。以下同じ)の理事長、会長、部会長、理事、監事、運営委員、企画委員等に就任したことがあれば、総件数、名称及び役職を記入してください(40)。

2) 学会、学術団体等に対するその他の貢献

学会、学術団体等において、特別の企画・運営(国際シンポジウムの開催、学会の特別検討委員会の委員、改革委員会座長等)、機関紙・雑誌の編集、論文の査読及びその他の重要な職務に携わったことがあれば総件数、名称及び内容等を記入してください(41)。

5 診療等による貢献

社会に対して高度先端医療を担う本学の附属病院・保健管理センターにおける診療等について記入してください(42)。特定の患者に対する症例検討会以外の研究会に要した時間は算入しないでください。医師養成の卒後教育のための時間は、教育業績の欄に記入してください。

6 社会人学習等への貢献

「公開講座・講演会等」、「大学・学部・学科紹介パンフレット等の作成」、「高校生を対象とした学部体験入学等への参画」等

高校生・一般社会人等を対象とする公開講座、講演会等の講師を担当したことがありましたら、主催者、対象者、参加人数、講座等名、講義題名を記入してください。

大学・学部・学科紹介パンフレット等の作成にあたり、企画・編集等で積極的に貢献したことがありましたら記入してください。

大学、学部、学科又は学会等の主催する高校生対象の学部体験入学等の企画、準備、引率、講演、模擬授業等で積極的に貢献したことがありましたら記入してください。

その他該当するものがありましたら、記入してください(43)。

7 専門分野に関連して作成した作品

文芸作品、芸術作品、建築作品、化石モデル等、該当するものがありましたら記入してください(44)。

8 以上の他に、専門分野に関連した社会貢献の事項

該当するものがありましたら記入してください(45)。また、外部の団体(企業、民間団体を含む)からの要請による研究会、講演会等への参画で、貢献が顕著なものもここに記入してください。

IV 教育，管理運営，社会貢献業績について

教育，管理運営，社会貢献について，考え方や実績についての説明があれば記入してください。

なお，当欄に記入いただいた事項は，他の調査項目の回答と同様に公表されます。

「平成14年度 教育，管理運営，社会貢献業績調査票」

(平成13年4月～平成14年3月の業績)

所属部局： _____ ①

(部局名を記入して，記入要領のコード表によりコード番号を右欄に記入願います。)

職 名：1教授，2助教授，3講師，4助手 (該当する番号を右欄に記入願います。) ②

研究分野： _____

氏 名： _____ (ふりがな _____)

年 齢： _____ 歳

I 教育の業績

A 教育の指導に係る業績

1 教育の経験

1) 在籍年数 _____ 年 _____ 月
(助手 _____ 年 _____ 月，講師 _____ 年 _____ 月，助教授 _____ 年 _____ 月，教授 _____ 年 _____ 月)

2) 北海道大学以外の高等教育機関での教育経験年数 _____ 年 _____ 月

3) 1)～2)に該当しない場合で，高等教育機関での非常勤講師の経験年数 _____ 年 _____ 月

2 学部教育の実績

1) 担当授業科目 (※教職課程科目，HUSTEPの担当もここに記入してください。なお，科目区分は全学教育としてください。)

科目名(実働単位数)	科目区分	担当教員	クラスサイズ	授業形式	授業内容キーワード
()	全学教育 専門教育	人	人		
()	全学教育 専門教育	人	人		
()	全学教育 専門教育	人	人		
()	全学教育 専門教育	人	人		
()	全学教育 専門教育	人	人		
()	全学教育 専門教育	人	人		
()	全学教育 専門教育	人	人		
()	全学教育 専門教育	人	人		

③ 総科目数 _____

2) 担当授業科目の内訳，総実働単位数

講 義()	演 習()	実験・実習()	その 他()
--------	--------	----------	---------

④ 総実働単位数 _____

3) 卒業論文指導

年間対面指導総時間	⑤	時間	年間指導人数	⑥	人
-----------	---	----	--------	---	---

4) セミナー等

対 象	1 学部学生のみ	2 大学院学生と合同
年 間	⑦	単位相当

5) 学生指導

クラス担任	時間	内容：
留学生の指導	時間	内容：
就職のための指導	時間	内容：
授業外の補講，個人学習等	時間	内容：
病院臨床実習の指導等	時間	内容：
安全指導等	時間	内容：
教育実習，工場見学，社会見学，調査への引率	時間	内容：
修学，生活，クラブ活動への指導	時間	内容：
内容について，特記すべき事項があれば記入してください。		

⑧ 合計時間数 時間

3 大学院教育の実績

1) 担当授業科目

科目名(実働単位数)	課 程	担当教員	クラスサイズ	授業形式	授業内容キーワード
()	修 士	人	人		
()	博 士	人	人		
()	修 士	人	人		
()	博 士	人	人		
()	修 士	人	人		
()	博 士	人	人		
()	修 士	人	人		
()	博 士	人	人		
()	修 士	人	人		

⑨ 総科目数

⑩ 総実働単位数

2) 担当大学院学生数

修士課程	研究指導学生数	人 (人)	学位取得人数	人 (人)
博士課程	研究指導学生数	人 (人)	学位取得人数	人 (人)
研究生	研究指導学生数	人 (人)	学位取得人数	人 (人)
特別研究学生	研究指導学生数	人 (人)	学位取得人数	人 (人)
合計人数	⑪	人, ⑫ (人)	⑬	人, ⑭ (人)

※ (人) には留学生数を, それぞれ内数で記入してください。

3) 論文博士取得のための研究指導 ⑮ _____人, ⑯ (人)

※ (人) には留学生数を, 内数で記入してください。

4) 論文審査の数

主査	修士課程 ⑰	人, ⑱ (人)	博士課程 ⑲	人, ⑳ (人)
副査	修士課程 ㉑	人, ㉒ (人)	博士課程 ㉓	人, ㉔ (人)

※ (人) には留学生数を, それぞれ内数で記入してください。

4 附属病院における研修医等の指導の実績

指導研修医等の人数	年間指導時間	内容
⑳ 人	㉑ 時間	

5 学外非常勤講師等の実績 (実働単位数)

講義 ()	演習 ()	実験・実習 ()	その他 ()
--------	--------	-----------	---------

㉒ 総実働単位数 _____

6 その他の教育の指導に係る業績

㉓ 総件数 _____ 件

B 教育の改善に係る業績

1 授業用教科書等（教科書の翻訳、教材を含む）の執筆・作成

(29) 総件数 _____ 件

2 教育改善に関する著書，論文，啓蒙文等

(30) 総件数 _____ 件

3 F Dの企画，運営等

教育活動に関する「講演・発表」，「研修会（F D）の担当」，「研究」，「研究補助金の取得」・「受賞」等

(31) 総件数 _____ 件

4 F Dへの受講参加

会 名				主 催		
規 模	参加者 約 名	開催日	月 日		開催地	
会 名				主 催		
規 模	参加者 約 名	開催日	月 日		開催地	

③② 総件数 件

5 その他の教育の改善に係る業績

③③ 総件数 件

II 管理運営の業績

1 部局長等

職 名	任 期
	平成 年 月 ～ 年 月
	平成 年 月 ～ 年 月

2 全学的委員会，専門委員会，ワーキンググループ等

1) 総件数

③④ 件

2) 主なもの3つ以内

委員会等の名称	役 職

※公表できない委員会等の名称は記入しないでください。

3 所属部局等における管理運営の実績

1) 総件数

③⑤ 件

2) 主なもの3つ以内

委員会等の名称	役 職

4 その他の管理運営の業績

③⑥ 総件数 件

Ⅲ 社会貢献の業績

1 審議会、委員会等の実績

1) 総件数

③⑦ 件

2) 主なもの3つ以内

審議会，委員会等の名称	役職	年間開催回数
		回
		回
		回

※公表できない審議会、委員会等の名称は記入しないでください。

2 国家試験委員等の実績

1) 総件数

③⑧ 件

2) 主なもの3つ以内

委員等の名称

※公表できない委員等の名称は記入しないでください。

3 上記以外の公的社会活動の実績

1) 総件数

③⑨ 件

2) 主なもの3つ以内

団体，機関等の名称	活動の内容

4 学会，学術団体等への貢献

1) 学会，学術団体等

① 総件数

④〇 件

② 主なものの3つ以内

団 体 等 の 名 称	役 職

2) 学会，学術団体等に対するその他の貢献

① 総件数

④① 件

② 主なものの3つ以内

団 体 等 の 名 称	実施した企画等の内容，役割	開 催 地

5 診療等による貢献

機 関 名	診 療 科	週平均時間	年間時間
		時間	時間
		時間	時間

④② 年間総時間数

6 社会人学習等への貢献

「公開講座・講演会等」，「大学・学部・学科紹介パンフレット等の作成」，「高校生を対象とした学部体験入学等への参画」等

(43) 総件数 件

7 専門分野に関連して作成した作品

44 総件数 件

8 以上の他に、専門分野に関連した社会貢献の事項

45 総件数 件

Ⅳ 教育，管理運営，社会貢献業績について，あなたの考え方や実績についての説明があれば記入してください。なお，当欄に記入いただいた事項は，他の調査項目の回答と同様に公表されます。

1. 教育について

2. 管理運営について

3. 社会貢献について

本調査について、内容にかかわらず様式その他、ご意見があれば下欄に記入願います。
次年度以降の参考にさせていただきます。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

ご協力ありがとうございました。

北海道大学点検評価委員会

第2章

学生による「授業アンケート」について

平成14年度（平成13年度後期および平成14年度前期）

はじめに

この授業アンケートは、各学部ならびに大学全体の授業内容を改善するための組織的取り組みの一環である。アンケート結果は各教員にフィードバックされ、個々の教員の授業改善に役立てることが求められるが、さらに組織として授業を改善するための指針も提供する。それは、時代・社会が、今、大学の各教員個人が優れた授業を展開することに留まらず、学部や大学全体が、組織として教育能力を向上させるということを要求しているからである。

平成4年に設置された北海道大学の点検評価委員会は、「学生による授業評価」を平成5年に試行、平成6年には全教員の授業を対象に本格的に実施した。平成7年には、学生の授業評価に対する教員の反応をアンケート調査した。その結果、学生による授業評価は授業改善に有効であり、2から3年に1度は実施すべきであると結論づけられた。

同時に、点検評価委員会では、発足当初から、教員の教育業績評価の必要性や教育に関する教員研修の必要性が議論されてきた。教育業績評価は、平成8年にそのフォーマットが提案され、平成10年に委員会で再検討された後、平成11年から毎年実施することとなった。一方、学生側からの評価は、平成11年度前期の授業について学生による授業評価として「授業アンケート」を実施し、その詳細な解析結果が年次報告書に掲載された。平成12年度には、平成11年度前期と12年度前期の「授業アンケート」結果を比較して、授業が改善されたか否かを解析した。このアンケートの結果は各教員にフィードバックされ、各教員が獲得した評点で、全学や所属学部での位置づけ・順位がわかるようにした。さらに、アンケート結果は公表する方向で検討され、各教員の所属部局長に送付された。部局によっては、これをさらに解析し、教育改善の指針を得たところもあった。また、自らの授業に客観性をもたせるために、自分の授業を学生の立場に立って評価する教員の自己評価も行い、学生の反応と比較できるようにした。

昨年度からは、1年分のデータを解析できる状況となり、北海道大学の授業の総体について論ずることができるようになった。今年度も、昨年度同様、1年分（平成13年度後期と平成14年度前期）のデータ解析を行うことにする。

今年度のデータ解析の方針は以下の通りである。

- 1) 学部別に、講義・演習、必修・選択を区別し、集計する。また、それぞれの授業数、比率も比較する。
- 2) 学生の自由意見を、アンケートのカテゴリー（A.シラバスとその内容、B1.教員の授業法・・・）に沿ってチェックし、特筆すべき事項があれば（たとえば前回にはなく、今回はじめて出てきた意見）それを指摘する。
- 3) 「教官の自由意見」も、「学生の自由意見」のカテゴリー分けを用いて分類する。また、その上で特筆すべき事項があれば指摘する。
- 4) 学生、教官双方の意見の中で、何らかの提言と思われるものを指摘する。

各授業は、以下に分類し、解析した。

- ・授業形態：講義、演習
- ・科目区分：全学教育、専門教育
- ・必修、選択の別
- ・受講登録学生数（クラスサイズ）、アンケート提出率（授業出席率）

設問について

アンケートの設問は、前回と同様に以下のように設定した。

A 「シラバスとその内容」

B 「教員の授業法」

C 「学生参加」

D 「難易度」

E 「学生の満足度・達成度」

F 「出席・態度」

G 「自由意見」

アンケートの設問は、教育の基本にしたがって、次のように構造化されている。

各教員はその教育機関において必要とされる授業科目を担当する。その必要性には根拠があり、その目標達成のために授業が設計される。目標は学生中心に表現される。授業は、その目標にしたがって、事前に周到に設計され、そのシナリオに沿って実行される必要がある（A）。授業は、教師がいかに行くかにかかっている（B）。授業は学生の参加をうながし、これに対応していく必要がある（C）。内容は、授業の受け手である学生が理解できなければ意味がない（D）。授業の成果は、受け手である学生の満足度、達成度で計ることができる（E）。学生の出席の頻度は、授業の質によっても変化し、また、学生の意欲によっても異なる（F）。個別の授業に対する設問以外の意見、および教育環境・授業環境に対する意見は、自由意見にあらわれる（G）。

アンケートにおいては、これらの授業の基本的な事項について、どのように設計され、実施され、その効果はどうであったかを、授業の受け手である学生が評価する。学生からは、試験や成績評価についての設問もほしいという要望もあるが、アンケートの回収率をあげ、学生の総体的な意見がでるように、期末試験以前の授業で実施することにしたため、試験や成績評価についての設問は置いていない。

また、学生が自由な意見も書けるように無記名とした。責任ある意見を書いてもらうためには記名にすべきであるという教員の意見もあるが、試験や成績評価を控えている時期に記名させることはフェアでなかろうし、そうなれば学生と教員の間に信頼関係のないことを前提にしたアンケートになってしまうからである。

各項目での設問は、経年変化を解析するために、以下のように従来と全く同様とした。

A 「シラバスとその内容」

シラバスと授業

- ・シラバスは、授業の目標、内容、評価方法を明快に示していた。
- ・授業は体系的に行われていた。

B 「教員の授業法」

B1 教員と授業

- ・ 教官の熱意が伝わってきた。
- ・ 教官の話し方は聞き取りやすかった。
- ・ 授業は、難解な概念、理論があっても、わかりやすかった。

B2 メディア（教育媒体）

- ・ 黒板, スライド, OHP, ビデオ, 教科書, プリント等の使われ方が理解の促進に効果的だった。

B3 「負担」

作業量・負担

- ・ 授業の進行速度は適切であった。
- ・ 授業で要求される作業量（レポート、宿題、自習など）は適切であった。

C 「学生参加」

学生との相互反応

- ・ 教官は効果的に学生の参加（発言、自主的学習、作業など）を促した。
- ・ 教官は学生の質問・発言等に適切に対応した。

D 「難易度」

- ・ 授業内容の難易度は適切であった。

E 「学生の満足度・達成度」

- ・ 授業により知的に刺激された。
- ・ 授業の履修目標を達成できた。
- ・ 授業内容が他領域と幅広く関連することを理解できた。
- ・ 授業により、新しい知識、考え方、技能を習得でき、さらに深く勉強したくなった。

F 「出席・態度」

- ・ この授業の自分の出席率は（ ）程度であった。
- ・ 質問、発言、調査、自習などにより、自分はこの授業に積極的に参加した。

G 「自由意見」

以上の設問に対する「授業アンケート」は別紙のように作成し、各学部の実施を依頼した。アンケートは平成13年度後期および平成14年度前期授業の授業中に行い、そのアンケート用紙は、直接総務部企画室へ送付するという方法で回収した。この授業アンケートは各教員が担当科目のうち適当な1科目を選択して実施した。

平成14年6月

教授・助教授・講師 殿

点検評価委員会教員業績評価専門委員会
委員長 畠 山 武 道

学部学生による授業アンケート及び教官自己評価アンケート調査について(依頼)

本学では、平成4年度から実施している全学の点検評価において、平成11年度からは教官の総合的業績評価に資するために、各教官の教育に関わるデータの調査、及び学生による授業アンケート調査を実施しております。これらのアンケートは本学の教育の改善を目的としております。

学生による授業アンケートは、授業の受け手である学生の意見を授業改善にフィードバックするためのものです。ご協力方よろしくお願い申し上げます。

「授業アンケート」の実施について

- 1) 担当の授業（講義・演習）のなるべく終わりの時期、できれば最後の授業で実施してください。
- 2) 少なくとも1年間に一つの授業について調査願います。
今回は前期の授業について調査します。複数の授業を担当されている場合は、一つの授業について自分で選択してください。特に希望される場合には、講義と演習の二つの授業についても調査できます。
- 3) 別添の『「授業アンケート調査」の実施要綱』に基づき、実施してください。
- 4) アンケート用紙は50部送付しておりますが、不足する場合には、各部局の教務担当掛に申し出てください（両面コピーでも結構です。）。
- 5) 回収した「学生が記入したアンケート用紙」は、「アンケート提出票（教官用）」、「授業アンケート（教官自己評価用）」、「アンケート分析結果返信用封筒（所属部局・氏名を記入）」とともに「総務部企画室（点検・評価担当）行」の封筒に密封し、7月末日までに学内便で総務部企画室へお送りください。
- 6) アンケート分析結果は、後日、各教官にフィードバックされますので、趣旨に沿う授業を選んで調査願います。
なお、全体的分析結果は、平成14年度点検評価委員会年次報告書にとりまとめる予定です。

「教官自己評価アンケート」の実施について

学生による「授業アンケート」の大きな目的は、授業改善にあります。「授業アンケート」の分析に際し、各設問に係る学生と教官の認識を比較することも大きな意味があります。

つきましては、「授業アンケート」を実施する際に、各教官に対しても学生のアンケートと同内容の「教官自己評価アンケート」も実施いたします。

- 1) このアンケートは、各教官が担当授業に対してどのような認識をしているかを問うものです。各教官の担当授業に対する意識を調査するものではなく、教官が学生の立場に立って自分自身の授業について認識を問うものです。
- 2) 学生による「授業アンケート」結果と、「教官自己評価アンケート」結果を比較・分析することにより、「授業アンケート」の実施によって得られるものがより充実したものとなります。
- 3) 本アンケートは、学生の「授業アンケート」提出時に一緒に提出願います。

その他

不明の点等は下記に照会願います。

アンケート内容等 国際広報メディア研究科長 筑和 正格（内線5098）
事務担当 総務部企画室 西田又は笹原（内線3600）

「授業アンケート調査」の実施要綱

この実施要綱は、アンケート調査の対象者である当該授業の受講者に、このアンケートの趣旨を理解し、協力してもらうためのものです。事情の許す限り、なるべく要綱に従ってアンケートを実施して下さい。

1. 当該授業のなるべく終わりの時期、できれば最後の授業で実施してください。
2. 事前にこの実施要綱を良く読み、「アンケート提出票（教官用）」、「授業アンケート（教官自己評価用）」、「アンケート分析結果返信用封筒」および回収用の袋（企画室点検・評価担当 行の青封筒）に必要な事項を記入して下さい。ただし、アンケート提出票の「提出枚数」欄はアンケート回収後記入いただくこととなります。
3. アンケートの実施に際しては、記入のために最低10分間の時間を確保して下さい。
4. アンケート用紙を配布したら、回収用の袋を全員に示して、以下のような説明を行って下さい。
 - 1) これから、本学の点検評価委員会による授業アンケート調査を実施いたします。
このアンケート調査は本学の授業を改善するために毎年行われているもので、それぞれの教官は自分の担当する授業の少なくとも一つを選択して実施することになっています。本年は、この授業において実施することにいたしましたので、ご協力を願います。
 - 2) ここで行われたアンケート調査の結果は、点検評価委員会が集計し、その結果を担当の教官とその教官が所属する学部・研究科・研究所・センターなどの部局に送り、次年度の授業の改善のために利用されます。将来この科目を履修する学生諸君のためになるものですので、与えられた時間を十分に使って、公正で客観的な評価を行って下さい。また、裏面の自由記述欄には、できるだけ授業の改善に役に立つようなコメントを書いて下さい。
 - 3) なお、回収したアンケート用紙は、公正な取扱いを行うために、この場で受講生あるいは受講生の代表の目の前で封をしますので、立ち会い人に指名された方はご協力をお願いします。

※ 授業によっては、各回の授業に複数の教官が参加するチーム担当授業、あるいは複数の教官で担当する統合講義、総合講義形式の授業となっている場合があります。このような場合には、その教官が責任をもって行っている授業、その教官が中心となっている授業について、授業全体及びその教官について学生の意見を求めます。この様な授業でアンケート調査をする場合には、上記1)～3)とともに学生にその旨説明してください。

5. アンケートの取り方には、指定された時間中は学生に部屋にとどまってもらって最後に一斉に集める方法と、記入が終わった順に退席を許す方法があります。前者の場合、全員の前で封をします。後者の場合、封の立ち会い人2名程度を指名して、その前で封をします。上の3)は、そのいずれかを採用するかによって内容が違ってきます。

アンケート提出票（教官用）

北海道大学点検評価委員会

コード番号

所属部局 _____

--	--

（部局名を記載し，下表のコード表によりコード番号を記載してください。）

職 名 1教授，2助教授，3講師（該当する番号に○印を付けてください。）

氏 名 _____（ふりがな _____）

授業の形態 1講義，2演習（該当する番号に○印を付けてください。）

科目区分 1全学教育科目，2専門科目（該当する番号に○印を付けてください。）

必修・選択 1必修，2選択（該当する番号に○印を付けてください。）

科目名 _____

受講登録学生数 _____人（不明の場合は概数でも結構です。）

アンケート提出枚数 _____枚

部局コード番号

部 局 名	番号	部 局 名	番号
文学研究科・文学部	01	遺伝子病制御研究所	18
教育学研究科・教育学部	02	触媒化学研究センター	19
法学研究科・法学部	03	スラブ研究センター	20
経済学研究科・経済学部	04	大型計算機センター	21
理学研究科・理学部	05	アイソトープ総合センター	22
医学研究科・医学部	06	機器分析センター	23
歯学研究科・歯学部	07	留学生センター	26
薬学研究科・薬学部	08	量子集積エレクトロニクス研究センター	27
工学研究科・工学部	09	エネルギー先端工学研究センター	28
農学研究科・農学部	10	高等教育機能開発総合センター	29
獣医学研究科・獣医学部	11	先端科学技術共同研究センター	30
水産科学研究科・水産学部	12	情報メディア教育研究総合センター	31
言語文化部	13	総合博物館	32
地球環境科学研究科	14	北方生物圏フィールド科学センター	35
国際広報メディア研究科	15	保健管理センター	33
低温科学研究所	16	体育指導センター	34
電子科学研究所	17		

※ 研究科，学部の附属施設に所属する教官は，研究科・学部のコード番号を記載してください。

「授 業 ア ン ケ ー ト」

北海道大学点検評価委員会

このアンケートは、授業改善を目的として実施するものです。あなたの意見は今後の授業改善に生かされます。

アンケートの回答によりあなたが不利益を被ることはありませんので、率直な回答をお願いします。

設問は全てで17問あります。裏面には自由意見欄がありますので、この授業に対する自由な意見を述べてください。アンケート記入後は、授業担当教官に提出願います。

この授業（講義・演習）について、以下の各設問に対してどう考えますか。

それぞれについて、該当するものを1つ選んで番号又は記号に○を付けてください。

5 4 3 2 1 の評点は、「強くそう思う・そう思う・どちらともいえない・そうは思わない・強くそう思わない」の順とします。ただし、設問の12と16については、各設問に（ ）書きで付記している評点基準とします。

- | | |
|---|-------------|
| 1 シラバスは、授業の目標、内容、評価方法を明快に示していた。 | 5 4 3 2 1 ① |
| 2 授業は体系的に行われていた。 | 5 4 3 2 1 ② |
| 3 教官の熱意が伝わってきた。 | 5 4 3 2 1 ③ |
| 4 教官の話し方は聞き取りやすかった。 | 5 4 3 2 1 ④ |
| 5 授業は、難解な概念、理論があっても、わかりやすかった。 | 5 4 3 2 1 ⑤ |
| 6 授業により知的に刺激された。 | 5 4 3 2 1 ⑥ |
| 7 黒板、スライド、OHP、ビデオ、教科書、プリント等の使われ方が理解の促進に効果的であった。 | 5 4 3 2 1 ⑦ |
| 8 教官は効果的に学生の参加（発言、自主的学習、作業など）を促した。 | 5 4 3 2 1 ⑧ |
| 9 教官は学生の質問・発言等適切に対応した。 | 5 4 3 2 1 ⑨ |
| 10 授業の進行速度は適切であった。 | 5 4 3 2 1 ⑩ |
| 11 授業で要求される作業量（レポート、宿題、自習など）は適切であった。 | 5 4 3 2 1 ⑪ |
| 12 授業内容の難易度は適切であった。
（「極めて難しい、難しい、適切、やさしい、極めてやさしい」の順） | A B C D E ⑫ |
| 13 授業の履修目標を達成できた。 | 5 4 3 2 1 ⑬ |
| 14 授業内容が他領域と幅広く関連することを理解できた。 | 5 4 3 2 1 ⑭ |
| 15 授業により、新しい知識、考え方、技能を習得でき、さらに深く勉強したくなった。 | 5 4 3 2 1 ⑮ |
| 16 この授業の自分の出席率は（ ）%程度であった。
（ほぼ「100,80,60,40,20%」の順） | A B C D E ⑯ |
| 17 質問、発言、調査、自習などにより、自分はこの授業に積極的に参加した。 | 5 4 3 2 1 ⑰ |

裏面に自由意見欄を設けていますので、この授業に対する意見がありましたら書いてください。
（裏面に続く）

ご協力ありがとうございました。

自由意見欄：この授業に対する意見がありましたら書いてください。

「授業アンケート」 【教官自己評価用】

北海道大学点検評価委員会

このアンケートは、学生に対して実施しているものと同じ内容のものです。

アンケートを実施した授業クラスの学生側の視点から、あなたの授業について客観的に自己評価願います。

なお、設問16及び設問17は学生の状況を問います。

設問は全てで17問あります。裏面には自由意見欄がありますので、授業改善等に対する自由な意見を述べてください。アンケート記入後は、実施されました「学生アンケート」と一緒に提出願います。

あなたの授業（講義・演習）について、以下の各設問に対してどう考えますか。

それぞれについて、該当するものを1つ選んで番号又は記号に○を付けてください。

5 4 3 2 1の評点は、「強くそう思う・そう思う・どちらともいえない・そうは思わない・強くそう思わない」の順とします。ただし、設問の12と16については、各設問に（ ）書きで付記している評点基準とします。

- | | |
|---|-------------|
| 1 シラバスでは、授業の目標、内容、評価方法を明快に示した。 | 5 4 3 2 1 ① |
| 2 体系的に授業を行った。 | 5 4 3 2 1 ② |
| 3 学生にあなたの熱意が伝わった。 | 5 4 3 2 1 ③ |
| 4 学生にとってあなたの話し方は聞き取りやすかった。 | 5 4 3 2 1 ④ |
| 5 授業は、難解な概念、理論があっても、わかりやすい授業を行った。 | 5 4 3 2 1 ⑤ |
| 6 知的に刺激される授業だった。 | 5 4 3 2 1 ⑥ |
| 7 黒板、スライド、OHP、ビデオ、教科書、プリント等を理解の促進に効果的に使用した。 | 5 4 3 2 1 ⑦ |
| 8 効果的に学生の参加（発言、自主的学習、作業など）を促した。 | 5 4 3 2 1 ⑧ |
| 9 学生の質問・発言等に適切に対応した。 | 5 4 3 2 1 ⑨ |
| 10 授業の進行速度は適切であった。 | 5 4 3 2 1 ⑩ |
| 11 授業で要求した作業量（レポート、宿題、自習など）は適切であった。 | 5 4 3 2 1 ⑪ |
| 12 授業内容の難易度は適切であった。
（「極めて難しい、難しい、適切、やさしい、極めてやさしい」の順） | A B C D E ⑫ |
| 13 授業の目標を達成できた。 | 5 4 3 2 1 ⑬ |
| 14 授業内容が他領域と幅広く関連することを理解させることができた。 | 5 4 3 2 1 ⑭ |
| 15 授業により、学生は、新しい知識、考え方、技能を習得し、さらに深く勉強したくなった。 | 5 4 3 2 1 ⑮ |
| 16 この授業の学生の出席率は（ ）%程度であった。
（ほぼ「100,80,60,40,20%」の順） | A B C D E ⑯ |
| 17 学生は、質問、発言、調査、自習などにより、この授業に積極的に参加した。 | 5 4 3 2 1 ⑰ |

裏面に自由意見欄を設けていますので、授業改善等に対する意見がありましたら書いてください。
（裏面に続く）

ご協力ありがとうございました。

自由意見欄：授業改善等に対する意見がありましたら書いてください。

調査対象の解析

アンケートに応じた授業は、全学で、平成13年後期・14年前期で合計1002科目となり、講師以上の教員の70.4%（平成14年5月教授，助教授，講師数1,424名に対し）が対応した。昨年1年間の合計984科目，教員1397名中70.4%，一昨年1年間の合計1019科目，教員1468名中69.4%とほぼ同率であった。

全学教育科目の比率

どの学部がどの程度の比率で全学教育を行っているかを、294科目からみると、つぎのようになる。

文31(10.5%), 教2(0.7%), 法6(2.0%), 経9(3.1%), 理78(26.5%), 医2(0.7%), 歯1(0.3%), 薬2(0.7%), 工18(6.1%), 農2(0.7%), 獣医2(0.7%), 水産0(0%), 言語68(23.1%)

全学教育科目担当の教員数を多くもつ責任部局は、文学部，理学部，法学部，言語文化部であり，とくに理学部と言語文化部で多い。昨年と比べて，文系部局で開講科目数が若干増加しているが，総体的には昨年と同様の比率である。

ただし，これはアンケートに応じた数であり，教員の担当するすべての科目が登録されたわけでないので，実際の授業担当率としては正確でない。しかし，大まかな傾向はうかがうことができる。

講義と演習の比率

講義と演習の比率は以下のようである。

	文	教	法	経	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産
講義	72.4	84.2	72.0	67.9	93.1	94.4	89.5	94.4	89.6	98.9	72.2	95.7
演習	27.6	15.8	28.0	32.1	6.9	5.6	10.5	5.6	10.4	1.1	27.8	4.3

理学部・医学部・歯学部・薬学部・工学部・農学部・水産学部では，大多数が講義である。一方，文系学部，獣医学部は演習が多い。昨年度と比較して目立つのは，教育学部・経済学部・歯学部で講義の比率が減少していることである。特に，教育学部と経済学部は10%程度減少している。後段で紹介する学生や教員の自由意見の中には，演習形式の授業を肯定する声が増えているが，この現象はそうした傾向と無縁ではないかもしれない。

いずれにしても，以上の事実は，アンケートの評価に密接に関係するものと考えられる。

必修と選択の比率

必修と選択の比率は以下のようだった。

	文	教	法	経	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産
必修	4.1	15.8	6.0	32.1	37.9	94.4	94.7	44.4	60.0	49.5	88.9	58.6
選択	95.9	84.2	94.0	67.9	62.1	5.6	5.3	55.6	40.0	50.5	11.1	41.4

文系学部，特に文学部は選択が多いが，その中で法学部・経済学部が，昨年度に比べて必修科目の比率を増加させているのが目につく。医学部，歯学部，獣医学部など専門職業性の強い教育を行っている学部はほとんどが必修であるが，昨年度比で獣医学部が必修の比率を若干減

少させていること、しかし薬学部・農学部・水産学部は逆に必修科目の比率を増加させていることが注目をひく。これらの現象は、学部教育の中で専門職業的要素が強まりつつあることを物語っているのだろうか。

上の事実も、アンケートの評価に密接に関係すると考えられる。

アンケート結果と解析

ここでは各設問の内容、解析結果、解釈について述べる。評点は、よい方から順に5, 4, 3, 2, 1, となり, 3は普通である。解析結果では、評点4と5を合計した比率を中心に解釈を進める。また, 4と5の合計がほぼ半数, 1と2の合計が約10%以下を高い評価, あるいは良好な評価とみなす。

集計は、平成11年前期、平成12年前期、平成12年後期と13年前期、平成13年前期と14年前期とを比較した。

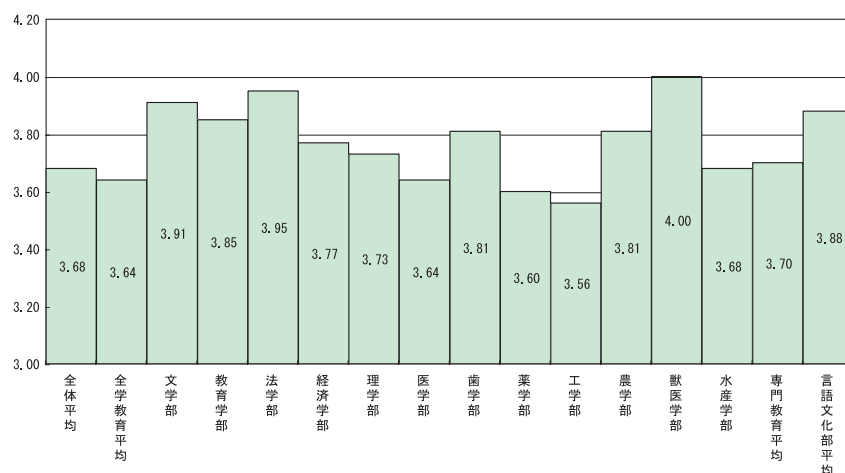
授業評価の総合評価

最初に設問1から15までの総合評価をみることにする。設問1から15までの評価指数の平均値であらわした。

総合評価に関して、難易度については、極めて難しい・極めてやさしいを1、難しい・やさしいを3、適切を5として計算した。

その結果、総合点は、以下のようになった。

	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前
全体	3.41	3.53	3.67	3.68
全学教育	3.41	3.48	3.62	3.64
専門	3.41	3.56	3.68	3.70
言語	3.66	3.67	3.89	3.88



学部別評点平均

	文	教	法	経	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産
平成11年前期	3.60	3.49	3.62	3.67	3.40	3.47	3.31	3.45	3.27	3.35	3.45	3.35
平成12年前期	3.83	3.78	3.64	3.67	3.45	3.51	3.67	3.49	3.50	3.71	3.76	3.50
平成12年後期・13年前期	3.90	3.93	3.75	3.70	3.60	3.69	3.79	3.65	3.54	3.83	3.86	3.73
平成13年後期・14年前期	3.91	3.85	3.95	3.77	3.73	3.64	3.81	3.60	3.56	3.81	4.00	3.68

総合点は、若干、改善している。

学部別では大多数の学部で改善が見られ、学部間の差は縮小傾向にある。しかし、昨年度まではすべての学部で改善が見られたが、今年度は4学部において停滞している。

授業評価では各評価項目の評点で授業の内容を表し、設問1から15までの総合評価を評価指数であらわすことは、あまり意味がないという意見があったが、全体を総合的に表現できる指数は有用である。今回でも総体的改善はこの数値の増加として端的に表現できた。

以下、各設問群の評価について解析する。ここでも多くの設問で数値が改善していることは注目に値する。

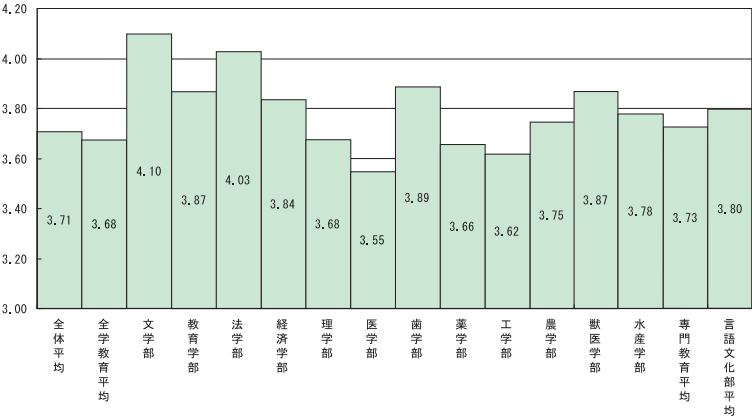
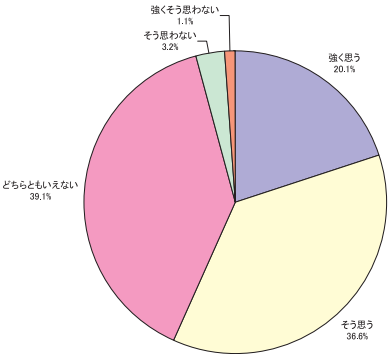
A 「シラバスとその内容」

シラバスと授業

- ・シラバスは、授業の目標、内容、評価方法を明快に示していた。

シラバスは授業の総体を表現する。各科目は各部局での必要性により存在し、必要理由は、目標として表現され、その目標到達のための授業内容、評価方法ははじめてから設計されていなければならない。そしてこのことが学生に伝わり、学生はこれを活用して学習できなければならない。

	そう思う (評点の4と5の合計)				そうは思わない (評点の1と2の合計)			
	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前
全 体	46.0%	49.9%	55.1%	56.7%	7.8%	6.0%	4.3%	4.3%
全学教育	48.2%	48.9%	53.7%	56.1%	3.0%	8.2%	6.7%	6.0%
専 門	43.9%	49.5%	55.7%	56.9%	4.2%	4.7%	3.3%	3.5%
言 語	57.2%	57.6%	61.2%	62.3%	6.6%	4.9%	3.9%	3.8%



学部別評点平均

	文	教	法	経	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産
平成11年前期	3.69	3.46	3.82	3.78	3.34	3.50	3.50	3.48	3.37	3.31	3.25	3.27
平成12年前期	3.86	3.62	3.76	3.80	3.49	3.61	3.68	3.58	3.53	3.66	3.50	3.65
平成12年後期・13年前期	4.01	3.91	3.84	3.94	3.61	3.71	3.78	3.60	3.58	3.74	3.60	3.79
平成13年後期・14年前期	4.10	3.87	4.03	3.84	3.68	3.55	3.89	3.66	3.62	3.75	3.87	3.78

全体的に評価は改善している。

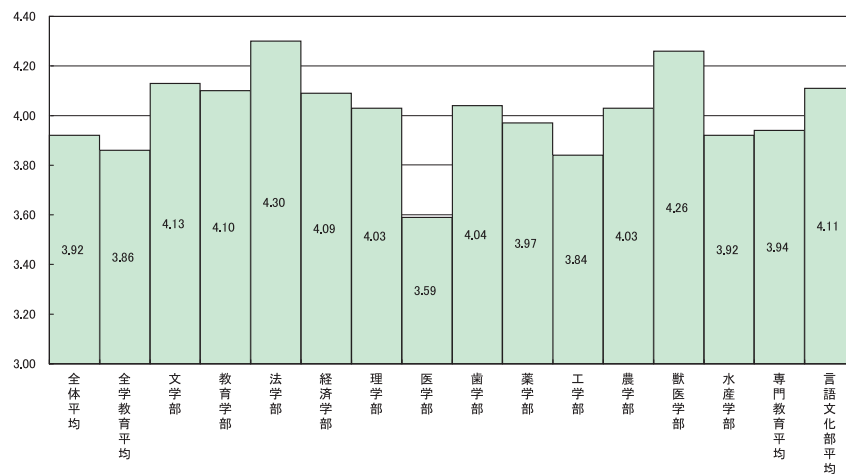
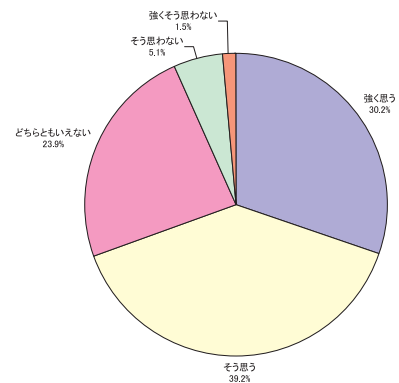
授業では、はじめにシラバスによって授業計画を立てる必要がある。シラバスは授業の内容、進行等を明確に示すもので、授業で有効に活用すること、シラバスを片手に授業進行することで、シラバスが授業に有効に生き、授業改善があるとみなされる。

なお、北海道大学のシラバスは、平成13年度に、全学ですべての科目が同じ形式で表現され、電子化され、ホームページ上に公開されるようになった。

・授業は体系的に行われていた。

授業は整理された内容が必要である。

	そう思う (評点の4と5の合計)				そうは思わない (評点の1と2の合計)			
	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前
全 体	63.0%	65.4%	69.6%	69.5%	9.3%	8.1%	6.2%	6.6%
全学教育	61.6%	62.3%	66.3%	67.4%	3.0%	9.8%	7.6%	7.6%
専 門	62.2%	67.2%	70.6%	70.4%	2.2%	7.2%	5.7%	6.1%
言 語	70.1%	72.6%	77.3%	78.7%	1.8%	6.6%	3.6%	3.6%

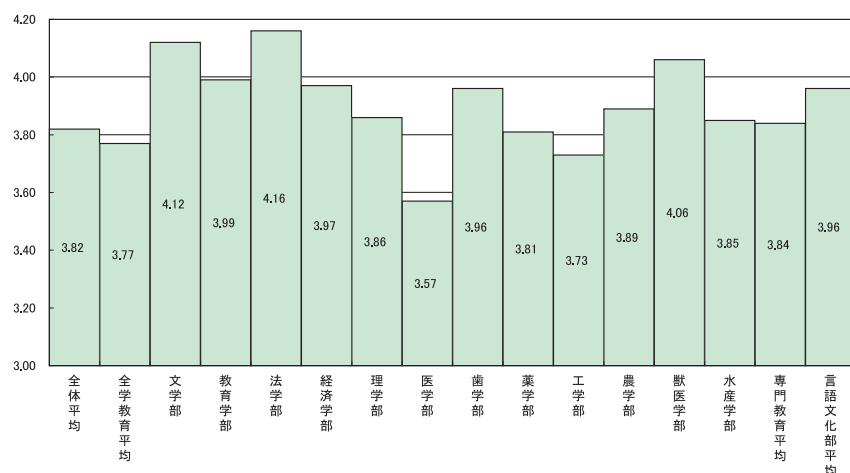


学部別評点平均

	文	教	法	経	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産
平成11年前期	3.94	3.73	4.05	3.97	3.79	3.59	3.54	3.81	3.63	3.61	3.88	3.59
平成12年前期	4.12	4.07	4.08	4.06	3.81	3.69	3.87	3.78	3.78	4.04	3.96	3.78
平成12年後期・13年前期	4.20	4.18	4.05	4.11	3.96	3.76	3.88	3.95	3.82	4.07	4.07	3.96
平成13年後期・14年前期	4.13	4.10	4.30	4.09	4.03	3.59	4.04	3.97	3.84	4.03	4.26	3.92

全学的に高い評価ではあるが、半数の学部において下げている。

これらの総評でも、全体的に、評価は文系でやや高く、理系で低い傾向があるが、全体的に平均化されている。



学部別評点平均

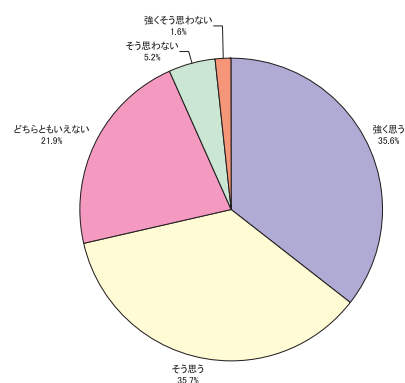
	文	教	法	経	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産
平成11年前期	3.81	3.59	3.93	3.88	3.57	3.55	3.52	3.65	3.50	3.46	3.57	3.43
平成12年前期	3.99	3.85	3.92	3.93	3.65	3.65	3.78	3.68	3.65	3.85	3.73	3.72
平成12年後期・13年前期	4.11	4.04	3.95	4.02	3.79	3.73	3.83	3.78	3.70	3.91	3.84	3.88
平成13年後期・14年前期	4.12	3.99	4.16	3.97	3.86	3.57	3.96	3.81	3.73	3.89	4.06	3.85

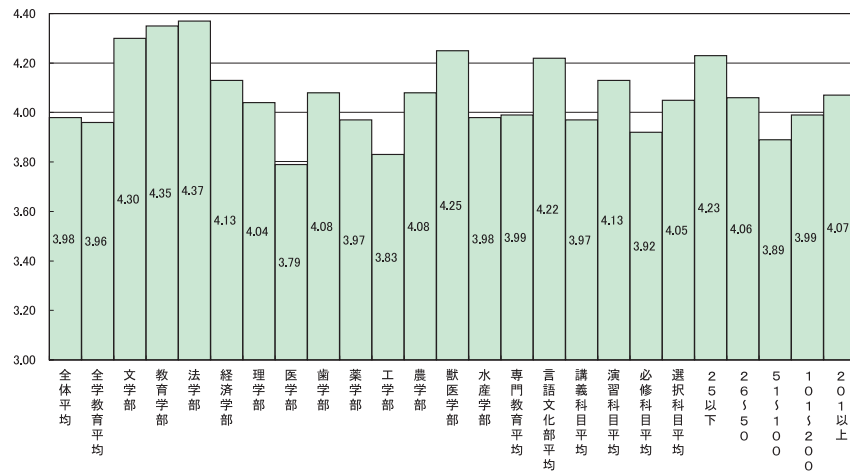
B 「教員の授業法」

B 1 教員と授業

・教官の熱意が伝わってきた。

	そう思う (評点の4と5の合計)				そうは思わない (評点の1と2の合計)			
	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前
全 体	64.2%	67.3%	71.6%	71.3%	10.0%	8.8%	6.3%	6.8%
全学教育	63.0%	65.2%	68.7%	70.2%	10.9%	10.8%	8.4%	8.0%
専 門	64.8%	68.5%	72.4%	71.7%	2.6%	7.6%	5.5%	6.3%
言 語	76.2%	73.4%	82.4%	81.2%	1.4%	7.0%	3.5%	3.6%
講 義	63.3%	66.4%	70.4%	70.9%	2.9%	9.1%	6.6%	6.8%
演 習	75.9%	77.8%	81.7%	76.3%	1.7%	5.6%	4.4%	6.5%
必 修		65.0%	69.4%	68.6%		9.7%	7.4%	8.2%
選 択		70.5%	72.8%	74.1%		7.6%	5.6%	5.3%





学部別評点平均

	文	教	法	経	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産
平成11年前期	4.00	3.99	4.22	4.11	3.81	3.73	3.53	3.89	3.63	3.70	3.84	3.66
平成12年前期	4.33	4.34	4.11	3.99	3.87	3.69	3.91	3.88	3.83	4.08	3.96	3.80
平成12年後期・13年前期	4.33	4.35	4.23	4.08	3.90	3.87	3.93	4.00	3.87	4.12	4.06	4.03
平成13年後期・14年前期	4.30	4.35	4.37	4.13	4.04	3.79	4.08	3.97	3.83	4.08	4.25	3.98

一般には熱意の伝わる授業が多い。全体的に大きな差はないが、文系の授業で熱意が伝わっている。

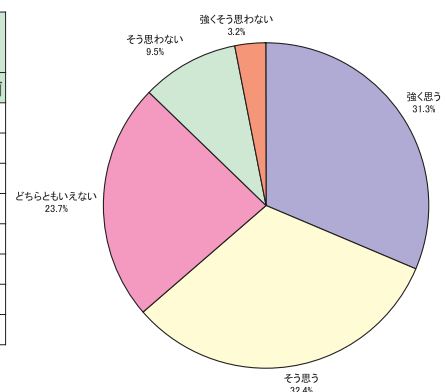
講義と演習では、演習で熱意が伝わりやすく、クラスサイズでは、25, 50, 100, 200人とクラスサイズの小さい方が熱意が伝わっている。一方、201人以上のクラスで熱意の伝わる授業が多くなっている。

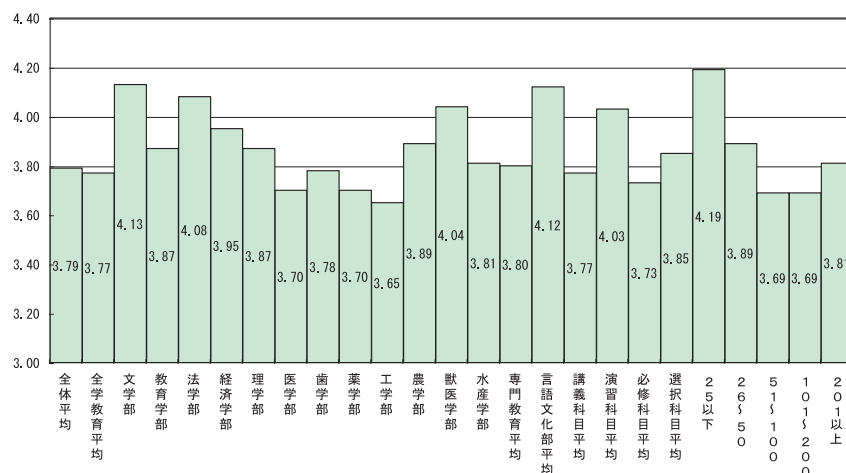
なお、「授業アンケート」がはじまって以来、はじめて評価が低下・停滞した。

・教官の話し方は聞き取りやすかった。

授業法の中では、教員のパフォーマンスとして最も基本的要素である。授業媒体の主体は、言語であり、言語を通じて教員から学生へのコミュニケーションが可能である。学生の意見でも教員の話し方、聞き取りやすさは授業、とくに講義形式の授業の基本的な事項であることがわかる。

	そう思う (評点の4と5の合計)				そうは思わない (評点の1と2の合計)			
	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前
全 体	56.9%	60.2%	64.5%	63.6%	17.8%	14.9%	12.1%	12.7%
全学教育	56.9%	59.1%	62.4%	63.0%	18.0%	17.3%	14.6%	13.9%
専 門	57.6%	60.9%	70.5%	63.9%	2.6%	13.4%	5.7%	12.1%
言 語	72.4%	67.1%	76.2%	77.0%	1.4%	13.6%	8.1%	6.9%
講 義	55.6%	65.9%	63.1%	63.0%	2.9%	15.5%	12.8%	12.9%
演 習	72.3%	70.5%	77.2%	71.6%	1.7%	9.4%	6.5%	8.8%
必 修		64.9%	62.8%	61.3%		16.9%	12.8%	14.2%
選 択		70.4%	65.3%	66.1%		12.5%	11.9%	11.0%





学部別評点平均

	文	教	法	経	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産
平成11年前期	3.87	3.63	3.97	3.96	3.54	3.60	3.30	3.59	3.49	3.46	3.30	3.49
平成12年前期	4.19	3.83	3.74	3.89	3.51	3.61	3.78	3.69	3.69	3.88	3.69	3.66
平成12年後期・13年前期	4.17	3.96	3.94	3.94	3.71	3.81	3.79	3.76	3.70	3.97	3.87	3.83
平成13年後期・14年前期	4.13	3.87	4.08	3.95	3.87	3.70	3.78	3.70	3.65	3.89	4.04	3.81

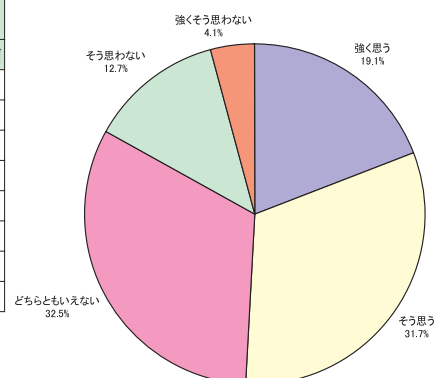
全体的に評価は高い。とくに、演習と言語関連の授業で肯定的評価の比率が高い。
 また、クラスサイズは小さいほどよい。しかし、201人以上でも前年度と同様に比較的よい。
 ここでも一般に文系が理系よりもよい。学術文化や教育観の違いがありそうである。理系では、論理的に理解することを要求され、そこに聞き取りにくいという心理が働いているのかもしれない。

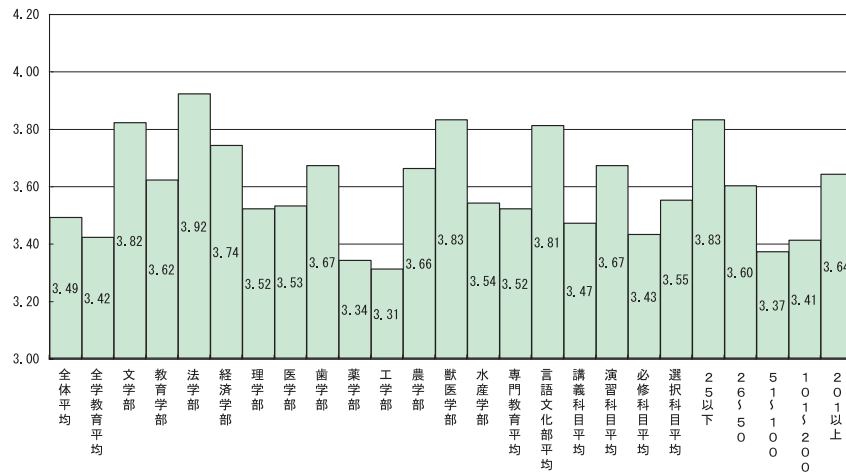
なお、「授業アンケート」がはじまって以来、はじめて評価は低下した。半数以上の項目と学部で評価を減じている。

・授業は、難解な概念、理論があっても、わかりやすかった。

わかりやすく伝えることは授業で最も重要なことである。

	そう思う (評点の4と5の合計)				そうは思わない (評点の1と2の合計)			
	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前
全 体	41.4%	46.2%	49.0%	50.7%	24.1%	20.0%	17.8%	16.8%
全学教育	41.1%	43.2%	45.3%	48.5%	26.6%	23.7%	22.3%	19.5%
専 門	41.7%	37.9%	50.9%	51.7%	22.5%	13.7%	15.6%	15.7%
言 語	58.0%	57.2%	62.2%	63.9%	12.7%	12.1%	9.0%	7.9%
講 義	40.2%	35.1%	48.1%	50.1%	24.8%	20.7%	18.3%	17.1%
演 習	55.4%	45.1%	60.3%	58.7%	16.5%	13.1%	11.8%	13.5%
必 修		44.0%	49.0%	48.4%		21.3%	17.4%	18.4%
選 択		49.1%	49.1%	53.2%		18.2%	18.2%	15.1%





学部別評点平均

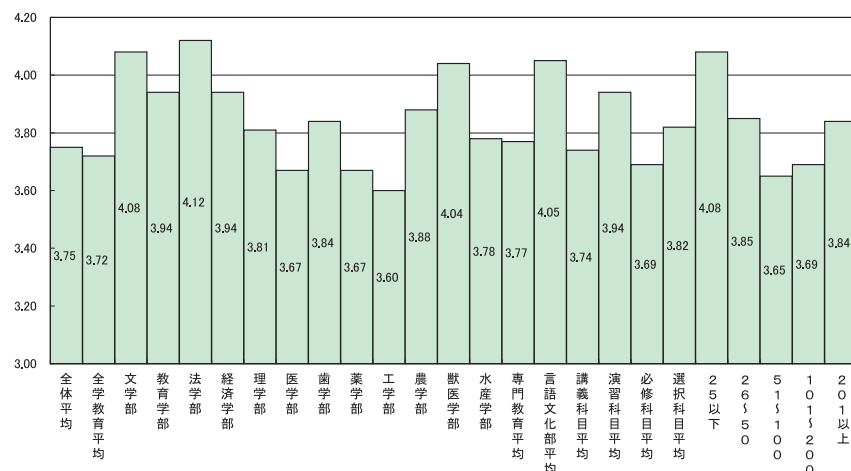
	文	教	法	経	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産
平成11年前期	3.56	3.35	3.67	3.65	3.23	3.36	3.10	3.21	3.03	3.25	3.25	3.20
平成12年前期	3.81	3.38	3.63	3.61	3.16	3.42	3.62	3.26	3.34	3.64	3.65	3.41
平成12年後期・13年前期	3.81	3.75	3.65	3.57	3.40	3.55	3.68	3.51	3.32	3.67	3.70	3.56
平成13年後期・14年前期	3.82	3.62	3.92	3.74	3.52	3.53	3.67	3.34	3.31	3.66	3.83	3.54

全体的には若干の改善をしている。

一般に文系で評点が高い。言語文化部ではとくに高い。一方、理系で低い。とくに、薬学部、工学部では評価が低い。理系では論理を展開する授業が多いことによると考えられる。

講義と演習では演習が高い。選択と必修では差がない。また、少人数であるほどよい値となっている。論理的内容の授業には大人数授業はふさわしくないことを示す。

なお、学部別では年度によって改善しているところと、低下しているところがあり、一定しないが、今年度は評価を下けている学部が多い。



学部別評点平均

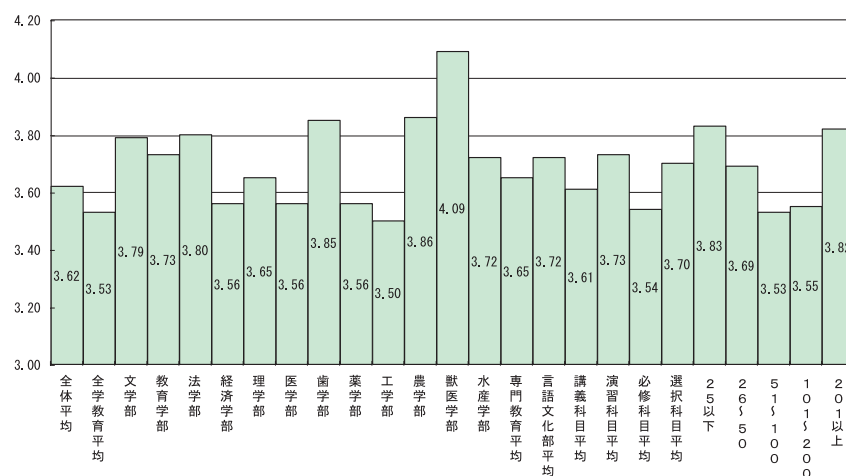
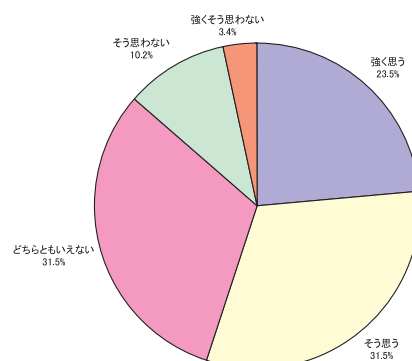
	文	教	法	経	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産
平成11年前期	3.81	3.66	3.95	3.91	3.52	3.56	3.31	3.56	3.38	3.47	3.46	3.45
平成12年前期	4.11	3.85	3.83	3.83	3.51	3.57	3.77	3.61	3.62	3.87	3.77	3.62
平成12年後期・13年前期	4.11	4.02	3.94	3.86	3.67	3.74	3.80	3.76	3.63	3.92	3.88	3.81
平成13年後期・14年前期	4.08	3.94	4.12	3.94	3.81	3.67	3.84	3.67	3.60	3.88	4.04	3.78

B 2 メディア（教育媒体）

・黒板、スライド、OHP、ビデオ、教科書、プリント等の使われ方が理解の促進に効果的だった。

授業は、教授者から学習者への情報伝達により成り立つ。広い意味では、話しことばも授業の媒体（メディア）である。ここでは、授業に用いられる話しことば以外のメディアについて質問した。一般に、メディアについては、とくに近代的情報テクノロジーによる機器、視聴覚機器について尋ねている。しかし、ともすればこれらを駆使することがよい授業であるような錯覚に陥っている傾向がある。ここでは、重要なことは効果であるという視点でとらえることにした。

	そう思う (評点の4と5の合計)				そうは思わない (評点の1と2の合計)			
	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前
全 体	44.2%	48.5%	53.2%	55.0%	21.4%	17.9%	14.5%	13.5%
全学教育	42.7%	44.7%	50.9%	51.5%	22.7%	22.1%	17.6%	16.9%
専 門	45.1%	50.7%	54.3%	56.5%	20.6%	15.5%	13.0%	12.1%
言 語	49.0%	49.9%	56.9%	58.3%	16.1%	17.7%	12.4%	10.1%
講 義	43.8%	47.9%	52.5%	54.7%	21.9%	18.4%	14.8%	13.8%
演 習	49.8%	53.9%	62.0%	58.6%	15.6%	13.5%	11.1%	10.8%
必 修		44.5%	50.4%	51.7%		19.5%	15.0%	15.1%
選 択		53.4%	55.8%	58.5%		16.1%	14.1%	11.9%



学部別評点平均

	文	教	法	経	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産
平成11年前期	3.45	3.39	3.36	3.62	3.42	3.57	3.11	3.40	3.13	3.31	3.61	3.42
平成12年前期	3.66	3.69	3.46	3.63	3.36	3.58	3.61	3.44	3.41	3.79	3.90	3.50
平成12年後期・13年前期	3.78	3.89	3.49	3.52	3.46	3.73	3.76	3.62	3.46	3.79	3.90	3.74
平成13年後期・14年前期	3.79	3.73	3.80	3.56	3.65	3.56	3.85	3.56	3.50	3.86	4.09	3.72

全体的に改善されている。

評価は、学部によって差があるが、文系、理系間の差は明瞭でない。講義・演習では演習がよい。必修・選択では選択がよい。

B3 「負担」

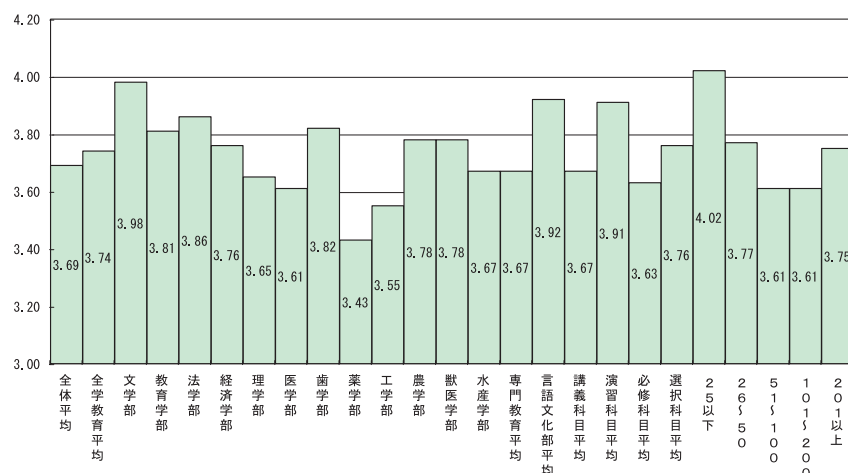
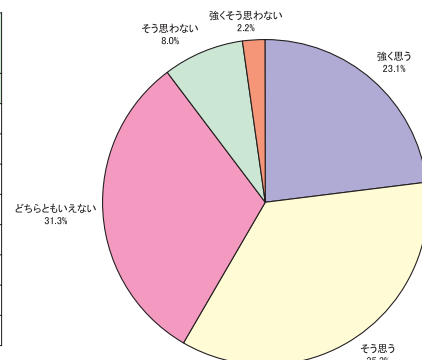
作業量・負担

・授業の進行速度は適切であった。

一方的知識伝授，教員中心授業は授業の進行が早くなる傾向がある。

自由意見欄でも，これに関して学生による多くの指摘があった。

	そう思う (評点の4と5の合計)				そうは思わない (評点の1と2の合計)			
	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前
全 体	52.8%	44.2%	57.3%	58.4%	14.4%	12.8%	10.1%	10.2%
全学教育	54.1%	55.3%	59.8%	61.4%	14.0%	13.7%	10.3%	10.5%
専 門	51.9%	53.7%	56.0%	57.2%	14.7%	12.2%	10.0%	10.1%
言 語	67.0%	62.1%	68.9%	68.1%	10.4%	13.8%	8.8%	8.6%
講 義	51.8%	53.3%	56.4%	57.8%	14.7%	13.0%	10.4%	10.3%
演 習	65.6%	63.5%	69.5%	66.3%	10.1%	10.5%	6.5%	8.9%
必 修		51.5%	56.4%	55.5%		14.0%	10.7%	11.9%
選 択		57.4%	58.2%	61.6%		11.3%	9.6%	8.4%



学部別評点平均

	文	教	法	経	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産
平成11年前期	3.79	3.73	3.60	3.70	3.42	3.50	3.51	3.54	3.33	3.46	3.41	3.47
平成12年前期	3.83	3.84	3.69	3.76	3.46	3.61	3.78	3.23	3.49	3.75	3.81	3.54
平成12年後期・13年前期	3.90	3.98	3.64	3.67	3.61	3.61	3.81	3.60	3.49	3.82	3.76	3.74
平成13年後期・14年前期	3.98	3.81	3.86	3.76	3.65	3.61	3.82	3.43	3.55	3.78	3.78	3.67

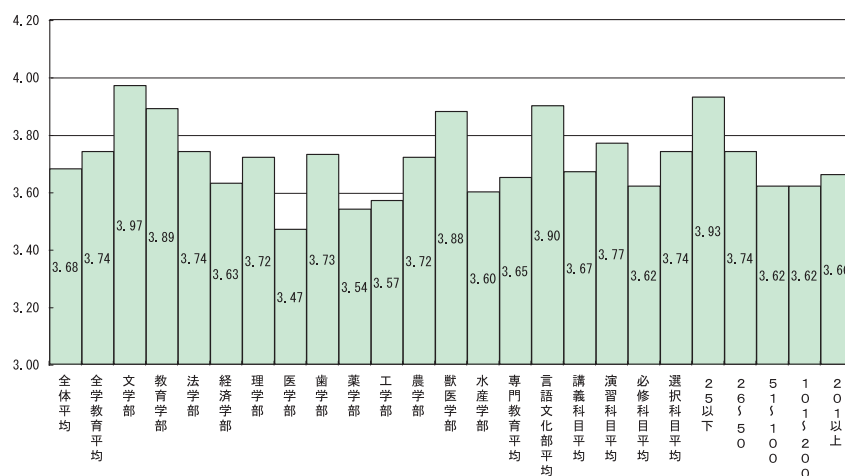
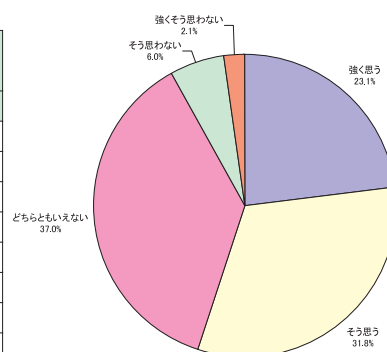
全体的には評価はわずかではあるが、改善した。講義と演習では演習がよい。また、少人数であるほどよい。

なお、4学部において評価を下げた。

・授業で要求される作業量（レポート、宿題、自習など）は適切であった。

科目における単位があらわす学習時間では、授業時間以外に相当量の予習、復習が要求されている。単位の上限の設定は、授業時間外での学習時間を確保するためのもので、授業は宿題を出すことが前提となる。しかし、日本の学生の自習時間は一般に極端に少ない。ここでは、自習量の適切さよりは、自習を課せられることに対する学生の満足度と関連しているのかもしれない。

	そう思う (評点の4と5の合計)				そうは思わない (評点の1と2の合計)			
	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前
全 体	47.6%	50.8%	53.5%	54.9%	9.8%	8.9%	7.4%	8.1%
全学教育	51.2%	53.4%	57.0%	58.5%	8.9%	9.4%	8.7%	8.5%
専 門	45.5%	49.5%	51.7%	53.3%	10.3%	8.5%	6.8%	7.9%
言 語	63.3%	62.6%	64.4%	67.8%	7.9%	8.6%	9.0%	7.3%
講 義	46.7%	49.8%	52.5%	54.4%	9.6%	8.6%	7.5%	7.8%
演 習	59.5%	60.6%	67.1%	61.3%	11.5%	8.7%	6.7%	12.2%
必 修		49.5%	53.1%	52.3%		9.2%	8.0%	9.5%
選 択		52.3%	53.9%	57.6%		8.5%	6.9%	6.6%

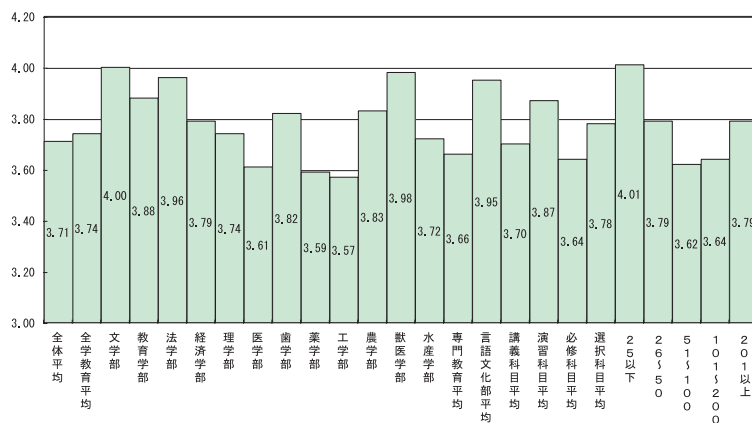


学部別評点平均

	文	教	法	経	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産
平成11年前期	3.73	3.62	3.53	3.59	3.51	3.36	3.54	3.44	3.36	3.39	3.63	3.47
平成12年前期	3.88	3.96	3.59	3.71	3.55	3.43	3.68	3.40	3.55	3.68	3.77	3.48
平成12年後期・13年前期	3.85	3.91	3.63	3.68	3.68	3.50	3.76	3.53	3.56	3.71	3.87	3.64
平成13年後期・14年前期	3.97	3.89	3.74	3.63	3.72	3.47	3.73	3.54	3.57	3.72	3.88	3.60

全体的に若干の改善がみられたが、評点を下げた学部もある。講義と演習では演習の評価が高い。また、少人数であるほど評価はよい。

以上の総合視点でも、若干の改善がみられる。学部間の差は全体的に大きくない。一方、演習や少人数授業ほどよい。



学部別評点平均

	文	教	法	経	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産
平成11年前期	3.73	3.62	3.72	3.77	3.49	3.52	3.35	3.51	3.33	3.43	3.50	3.45
平成12年前期	3.86	3.90	3.64	3.73	3.51	3.52	3.73	3.31	3.52	3.71	3.79	3.51
平成12年後期・13年前期	3.97	3.97	3.76	3.74	3.62	3.68	3.79	3.67	3.57	3.85	3.86	3.76
平成13年後期・14年前期	4.00	3.88	3.96	3.79	3.74	3.61	3.82	3.59	3.57	3.83	3.98	3.72

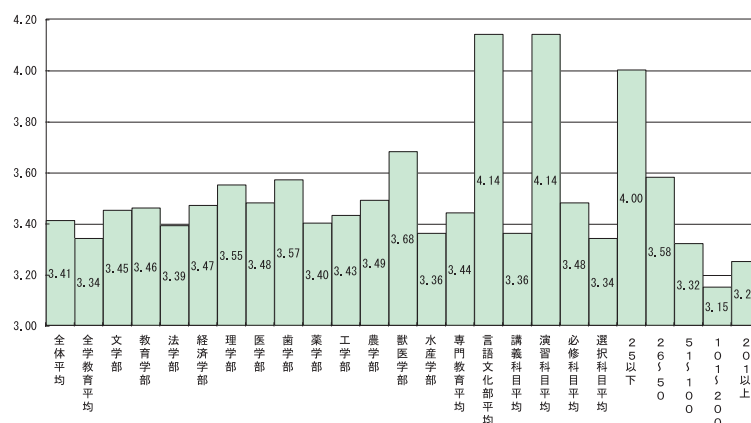
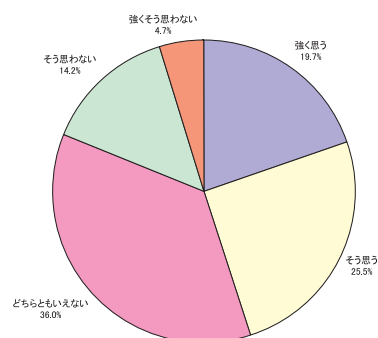
C 「学生参加」

学生との相互反応

課題探求能力の育成など、教員と学生との相互反応、学生同志の相互反応を重視し、学生を効果的に参加させる学生中心授業が奨励されている。ここでは授業が学生参加型になっているかを問う。

・教官は効果的に学生の参加（発言，自主的学習，作業など）を促した。

	そう思う (評点の4と5の合計)				そうは思わない (評点の1と2の合計)			
	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前
全 体	32.8%	39.2%	44.4%	45.1%	30.7%	23.0%	19.1%	18.9%
全学教育	34.5%	38.4%	46.4%	44.5%	33.7%	28.4%	23.3%	24.7%
専 門	31.8%	39.6%	43.3%	45.4%	29.1%	20.2%	16.9%	16.3%
言 語	67.5%	67.1%	77.4%	76.2%	10.3%	10.2%	4.1%	5.5%
講 義	29.9%	36.3%	42.1%	42.9%	32.5%	24.5%	20.1%	19.8%
演 習	68.5%	70.2%	75.3%	74.8%	10.1%	7.3%	5.3%	6.8%
必 修		40.8%	48.1%	47.9%		21.5%	15.8%	17.0%
選 択		37.2%	40.9%	42.1%		24.8%	22.1%	20.9%



学部別評点平均

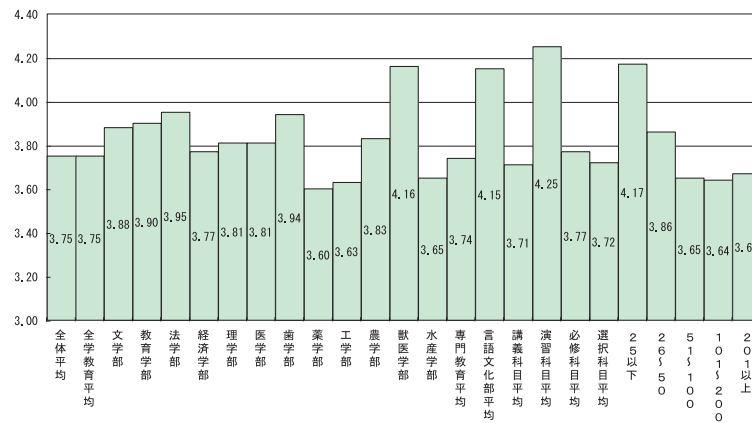
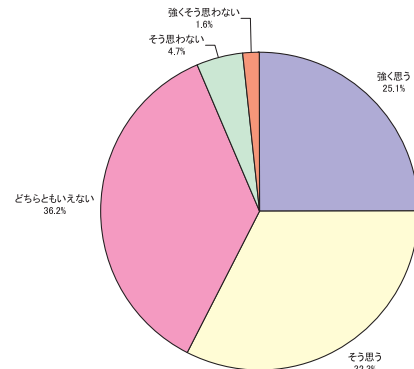
	文	教	法	経	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産
平成11年前期	3.08	3.21	3.02	3.42	2.94	2.94	3.01	3.19	2.97	2.97	2.89	2.89
平成12年前期	3.47	3.43	3.19	3.39	3.19	3.39	3.43	3.32	3.29	3.40	3.57	3.14
平成12年後期・13年前期	3.45	3.60	3.27	3.42	3.33	3.56	3.57	3.46	3.36	3.51	3.52	3.38
平成13年後期・14年前期	3.45	3.46	3.39	3.47	3.55	3.48	3.57	3.40	3.43	3.49	3.68	3.36

全体的に評価は高くない。にもかかわらず，改善の動きは微々たるものである。今年度は5学部で評価を下げている。

しかし，その中であって，演習と言語文化部の評価は高く，参加型となっている。クラスサイズでは，サイズの小さいほど学生参加型となっていて，大人数クラスは参加型となっていない。

・教官は学生の質問・発言等に適切に対応した。

	そう思う (評点の4と5の合計)				そうは思わない (評点の1と2の合計)			
	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前
全 体	47.3%	51.9%	56.7%	57.4%	10.4%	8.2%	6.6%	6.3%
全学教育	46.0%	52.3%	59.2%	58.5%	12.5%	10.2%	8.1%	7.7%
専 門	47.7%	51.8%	55.4%	57.0%	9.2%	7.2%	5.8%	5.8%
言 語	73.3%	69.3%	77.3%	76.9%	3.6%	5.2%	3.0%	3.2%
講 義	44.5%	49.6%	54.8%	55.8%	11.0%	8.6%	6.9%	6.6%
演 習	80.5%	76.2%	81.2%	79.1%	3.0%	3.7%	2.4%	3.8%
必 修		52.5%	59.9%	59.0%		8.1%	6.0%	6.6%
選 択		50.9%	53.7%	55.7%		8.5%	7.2%	6.1%



学部別評点平均

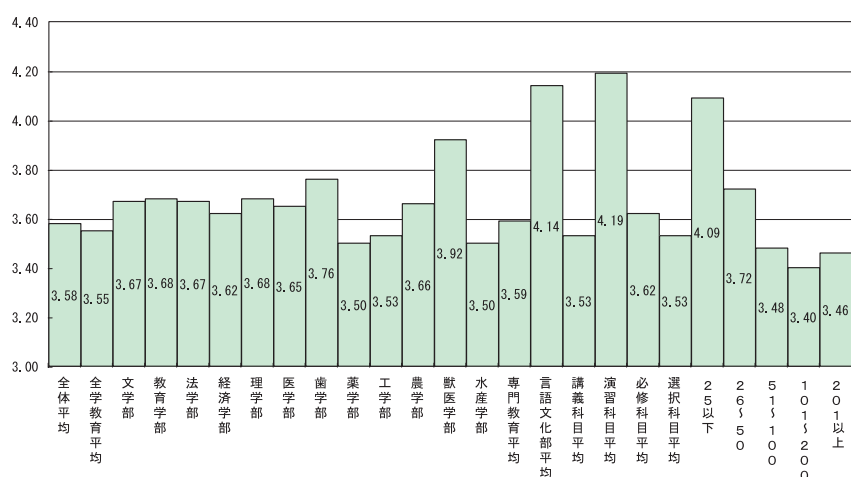
	文	教	法	経	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産
平成11年前期	3.61	3.48	3.71	3.76	3.53	3.74	3.51	3.64	3.40	3.41	3.46	3.43
平成12年前期	3.89	3.84	3.76	3.71	3.59	3.75	3.82	3.45	3.54	3.77	3.90	3.46
平成12年後期・13年前期	3.88	3.83	3.78	3.77	3.66	3.79	3.87	3.65	3.59	3.87	4.03	3.65
平成13年後期・14年前期	3.88	3.90	3.95	3.77	3.81	3.81	3.94	3.60	3.63	3.83	4.16	3.65

全体として改善している。教員は適切な対応をしているといえる。

演習と言語文化部の授業で高い。クラスサイズでは、小さいほどよく、大きいほどよくない。大人数講義は一方通行であることが明らかである。

総合点からみても、学生参加の評価は高くない。改善も微々たるものである。

ただ、演習と言語文化部の授業は学生参加型となっている。クラスサイズでは、サイズの小さいほど学生参加型となっている。とくに、25人以下においてそれが高い。



学部別評点平均

	文	教	法	経	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産
平成11年前期	3.34	3.35	3.36	3.59	3.23	3.56	3.26	3.41	3.19	3.19	3.18	3.16
平成12年前期	3.68	3.63	3.47	3.55	3.39	3.57	3.62	3.39	3.41	3.58	3.74	3.30
平成12年後期・13年前期	3.67	3.71	3.52	3.59	3.50	3.68	3.72	3.55	3.48	3.69	3.77	3.52
平成13年後期・14年前期	3.67	3.68	3.67	3.62	3.68	3.65	3.76	3.50	3.53	3.66	3.92	3.50

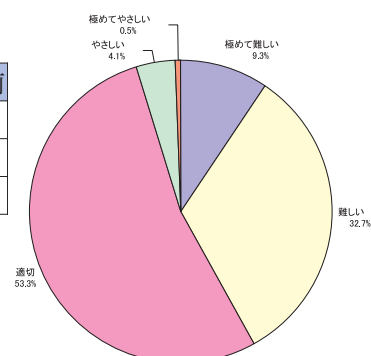
D 「難易度」

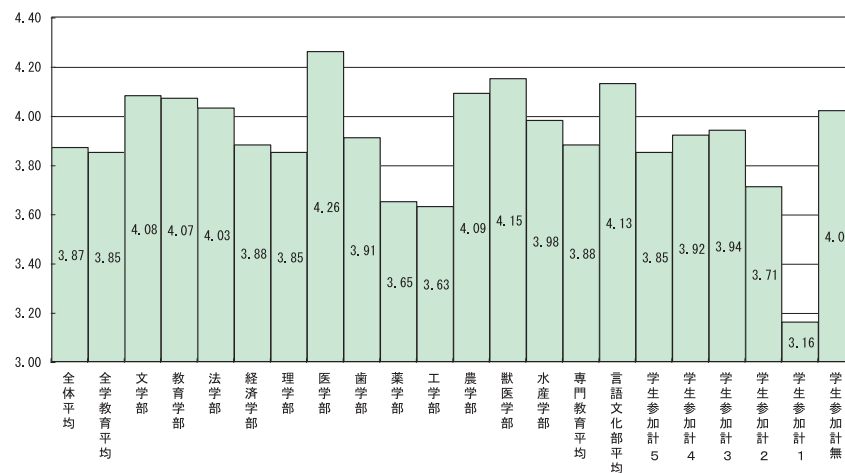
・授業内容の難易度は適切であった。

授業の難易度は、学生が理解できない、ついていけないほど難しいのは問題がある。「極めて難しい」は、一方通行、教員中心で教授錯覚に陥っていることが多い。しかし、適度に難しいのもよいとされている。

全体

	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前
極めて難しい	6.6%	9.4%	9.2%	9.3%
難しい	26.6%	32.6%	34.0%	32.7%
適切	63.8%	53.5%	52.3%	53.3%





学部別評点平均

	文	教	法	経	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産
平成11年前期	4.24	4.32	4.42	4.24	4.19	4.34	4.22	4.19	3.95	4.37	4.24	4.24
平成12年前期	4.00	3.81	3.96	4.04	3.62	4.33	4.14	3.67	3.74	4.24	4.29	4.00
平成12年後期・13年前期	3.97	4.15	3.96	3.77	3.76	4.25	4.13	3.77	3.64	4.25	4.17	4.10
平成13年後期・14年前期	4.08	4.07	4.03	3.88	3.85	4.26	3.91	3.65	3.63	4.09	4.15	3.98

全体的に改善が進み、難易度は適切といえる。文系、理系の差はあまりないが、薬学部、工学部では難しいとしている学生が多い。

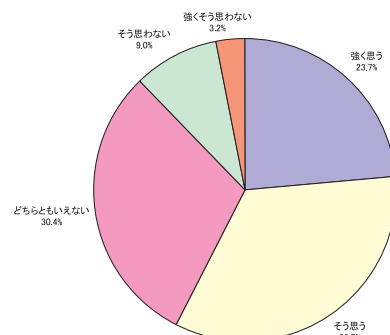
難易度と学生参加、教員との相互作用をみると、学生の参加・教員との相互作用がよいほど適切であると応える学生が多い。相互作用により授業内容の理解が得られることがわかる。

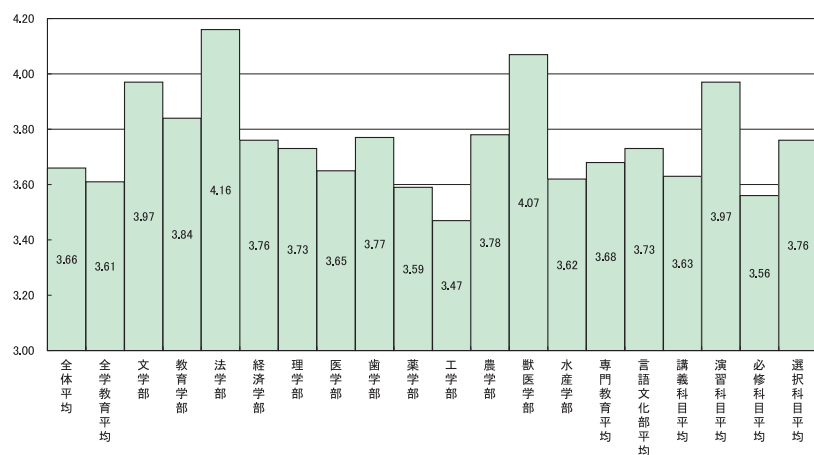
E 「学生の満足度・達成度」

学生の満足度は、それ自体が総体的授業評価をあらわす。ここでは、第三者が観察でき、客観的に評価が可能であるという原則にはあてはまらないが、学生の主観を質問している。

・授業により知的に刺激された。

	そう思う (評点の4と5の合計)				そうは思わない (評点の1と2の合計)			
	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前
全 体	47.3%	51.5%	56.1%	57.4%	19.0%	15.9%	12.2%	12.2%
全学教育	48.1%	49.8%	54.6%	56.3%	19.3%	19.1%	14.8%	14.3%
専 門	46.8%	52.5%	56.9%	57.9%	18.8%	13.9%	10.9%	11.3%
言 語	56.2%	55.5%	61.5%	61.0%	13.6%	15.7%	9.2%	9.9%
講 義	45.8%	50.2%	54.9%	56.5%	19.8%	16.4%	12.7%	12.5%
演 習	66.9%	64.7%	72.2%	69.9%	9.4%	9.8%	5.8%	7.8%
必 修		48.6%	53.1%	53.3%		17.2%	13.2%	14.0%
選 択		55.0%	58.9%	61.8%		14.1%	11.3%	10.2%





学部別評点平均

	文	教	法	経	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産
平成11年前期	3.75	3.58	3.79	3.71	3.37	3.45	3.23	3.52	3.12	3.40	3.45	3.29
平成12年前期	4.09	3.90	3.70	3.66	3.43	3.49	3.71	3.58	3.42	3.75	3.89	3.47
平成12年後期・13年前期	4.02	4.02	3.87	3.61	3.58	3.64	3.77	3.71	3.45	3.80	3.93	3.67
平成13年後期・14年前期	3.97	3.84	4.16	3.76	3.73	3.65	3.77	3.59	3.47	3.78	4.07	3.62

全体的には改善がみられ、知的に刺激されたと評価しているが、薬学部、工学部で若干低い。

講義より演習が高い評価となっている。必修・選択では、選択が高い。一方、言語は知的刺激という満足度は平均よりは高いが、演習よりは低い。言語教育はリテラシー科目であることが反映されているとみなされる。

授業法との関連

授業法がよいと答えた学生は、高く評価している。

学生参加との関連

学生参加を高く評価している学生は、高く評価している。

難易度との関連

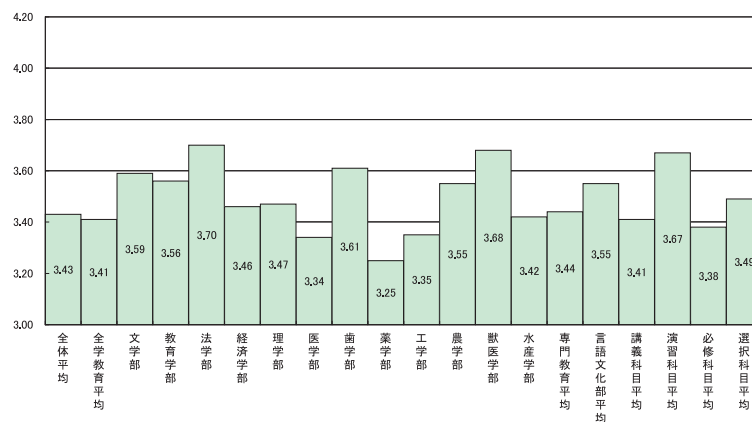
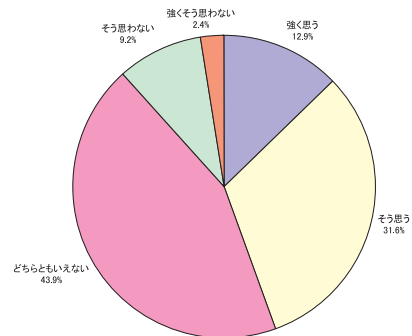
難易度が普通と答えた学生は、高く評価している。一方、極めて難しい、極めてやさしいと答えた学生は低い評価を与えている。

クラスサイズとの関連

クラスサイズが小さいほどよいが、100人以上のクラスも悪くない。

・授業の履修目標を達成できた。

	そう思う (評点の4と5の合計)				そうは思わない (評点の1と2の合計)			
	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前
全 体	34.9%	39.9%	43.2%	44.4%	17.5%	14.3%	12.2%	11.6%
全学教育	37.5%	40.1%	43.5%	44.1%	17.1%	15.6%	13.5%	12.5%
専 門	33.3%	39.7%	43.0%	44.6%	17.7%	13.5%	11.6%	11.3%
言 語	44.9%	49.9%	52.5%	52.1%	13.7%	11.7%	8.4%	9.7%
講 義	33.5%	38.4%	42.1%	43.5%	18.0%	14.7%	12.6%	11.9%
演 習	52.5%	53.4%	57.5%	56.3%	11.4%	10.5%	8.0%	8.4%
必 修		37.9%	41.9%	41.8%		15.3%	12.6%	13.0%
選 択		42.1%	44.4%	47.2%		13.1%	11.9%	10.2%



学部別評点平均

	文	教	法	経	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産
平成11年前期	3.39	3.17	3.43	3.45	3.16	3.16	3.27	3.02	3.10	3.18	3.23	3.18
平成12年前期	3.52	3.66	3.39	3.39	3.12	3.25	3.57	3.14	3.33	3.46	3.60	3.33
平成12年後期・13年前期	3.57	3.65	3.49	3.40	3.34	3.34	3.62	3.34	3.32	3.54	3.61	3.48
平成13年後期・14年前期	3.59	3.56	3.70	3.46	3.47	3.34	3.61	3.25	3.35	3.55	3.68	3.42

達成感は、そう高くないが、全体的には改善している。学部別では、達成度の改善は一般には向上しているが、低下しているものもあり、一定していない。

なお、講義に比べて演習が効果的である。

難易度との関連

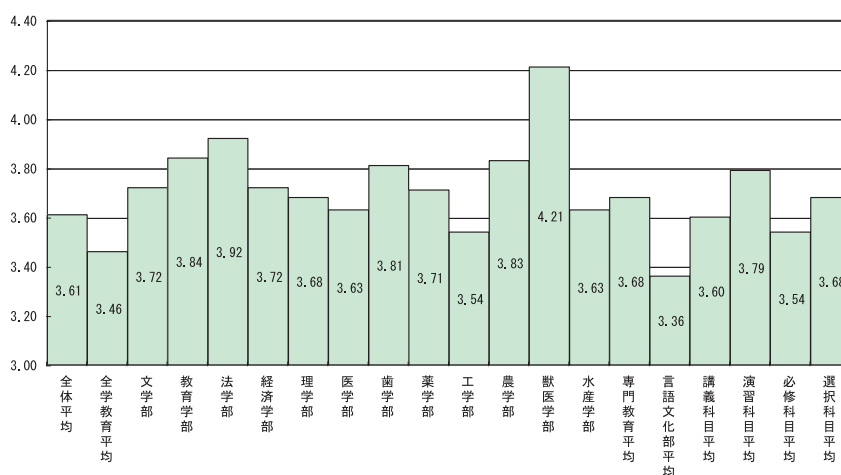
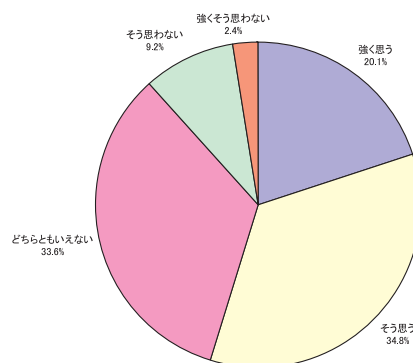
難易度が普通と答えた学生は、高く評価している。難しいと答えた学生も評価が高い。一方、極めて難しい、極めてやさしいと答えた学生は低い評価を与えている。

クラスサイズとの関連

クラスサイズが小さいほどよいが、100人以上のクラスも悪くない。

・授業内容が他領域と幅広く関連することを理解できた。

	そう思う (評点の4と5の合計)				そうは思わない (評点の1と2の合計)			
	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前
全 体	37.7%	48.6%	52.7%	54.8%	21.4%	15.0%	11.9%	11.5%
全学教育	33.3%	42.8%	47.3%	48.2%	23.6%	19.7%	16.2%	16.0%
専 門	40.3%	51.7%	55.5%	57.8%	20.0%	12.3%	9.6%	9.6%
言 語	32.4%	40.5%	43.0%	41.0%	21.7%	18.8%	14.5%	15.9%
講 義	36.9%	48.0%	52.1%	54.3%	21.9%	15.3%	12.1%	11.7%
演 習	48.7%	55.4%	61.3%	62.1%	14.6%	11.6%	9.0%	8.8%
必 修		44.7%	49.8%	51.9%		15.7%	13.0%	13.1%
選 択		50.9%	55.4%	58.1%		13.8%	10.8%	9.8%



学部別評点平均

	文	教	法	経	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産
平成11年前期	3.29	3.35	3.48	3.44	3.20	3.38	3.16	3.30	3.11	3.29	3.50	3.23
平成12年前期	3.78	3.88	3.53	3.59	3.35	3.51	3.62	3.57	3.46	3.71	3.90	3.51
平成12年後期・13年前期	3.76	3.87	3.69	3.59	3.52	3.62	3.78	3.71	3.49	3.82	3.99	3.71
平成13年後期・14年前期	3.72	3.84	3.92	3.72	3.68	3.63	3.81	3.71	3.54	3.83	4.21	3.63

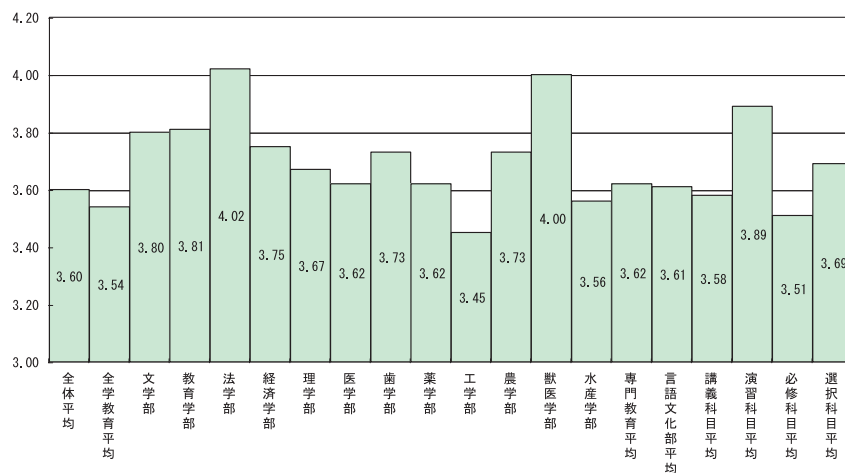
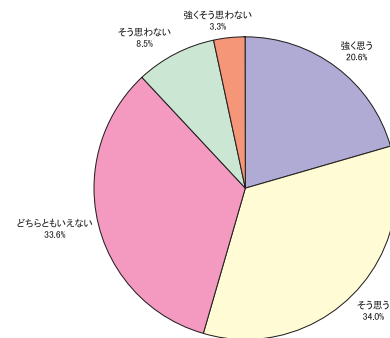
全体的にはよくないが、改善は着実である。学部別でも改善は明瞭である。ここでも演習はよい。

クラスサイズとの関連

25人以下のクラスで最も効果的であるが、それ以上のクラスも悪くない。

・授業により、新しい知識、考え方、技能を習得でき、さらに深く勉強したくなった。

	そう思う (評点の4と5の合計)				そうは思わない (評点の1と2の合計)			
	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前
全 体	44.2%	48.6%	52.7%	54.5%	9.4%	16.0%	12.6%	11.8%
全学教育	43.9%	47.6%	51.6%	53.1%	20.5%	19.3%	15.8%	14.5%
専 門	44.4%	49.0%	53.3%	55.2%	18.7%	14.2%	11.0%	10.7%
言 語	47.6%	51.9%	54.4%	54.9%	17.4%	16.0%	11.7%	11.7%
講 義	42.9%	47.1%	51.5%	53.6%	20.0%	16.6%	13.1%	12.2%
演 習	62.6%	62.5%	68.9%	67.2%	10.8%	11.5%	7.1%	7.4%
必 修		45.6%	49.6%	51.1%		17.2%	13.3%	13.6%
選 択		51.9%	55.6%	58.2%		14.5%	12.0%	10.0%



学部別評価点平均

	文	教	法	経	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産
平成11年前期	3.60	3.49	3.70	3.61	3.35	3.40	3.26	3.45	3.09	3.38	3.57	3.29
平成12年前期	3.92	3.84	3.64	3.52	3.37	3.41	3.67	3.52	3.35	3.66	3.85	3.40
平成12年後期・13年前期	3.84	3.90	3.79	3.50	3.53	3.57	3.70	3.61	3.40	3.75	3.89	3.63
平成13年後期・14年前期	3.80	3.81	4.02	3.75	3.67	3.62	3.73	3.62	3.45	3.73	4.00	3.56

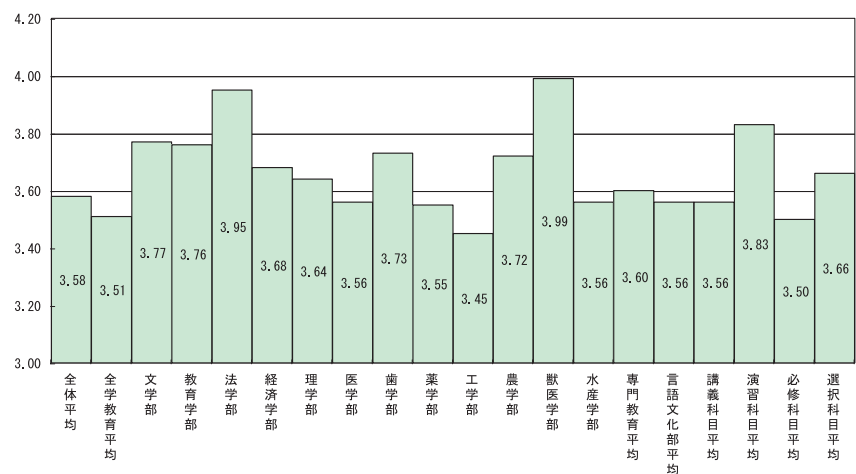
全体的には評点は高くないが、ほとんどの分野において改善している。学部別でも改善は明瞭であるが、工学部、水産学部ではよくない。ここでも演習の評価は高い。

クラスサイズとの関連

クラスサイズが小さいほどよいが、100人以上のクラスも悪くない。

満足度の総合

満足度の総合は学生による評価ともいえる。学部間であまり大きな差はない。演習の満足度は高い。



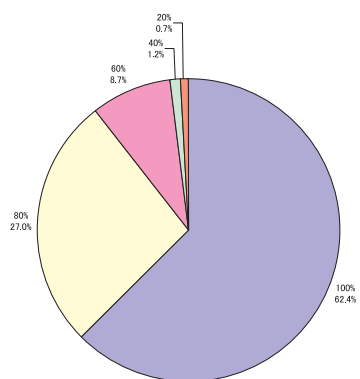
学部別評点平均

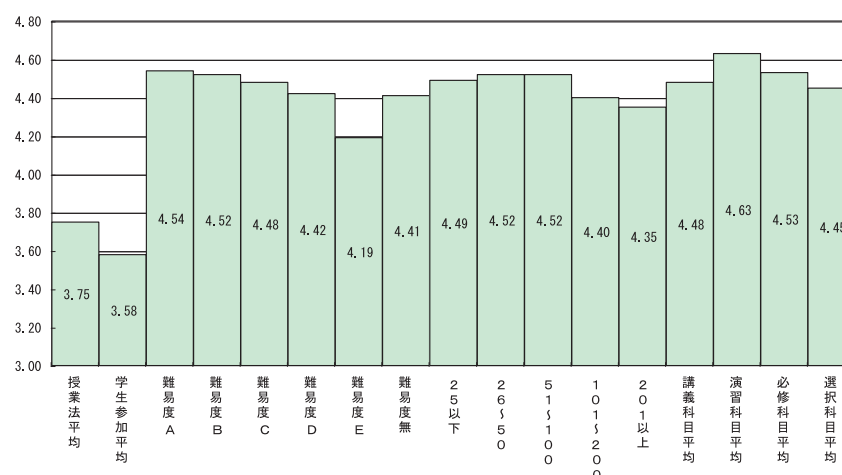
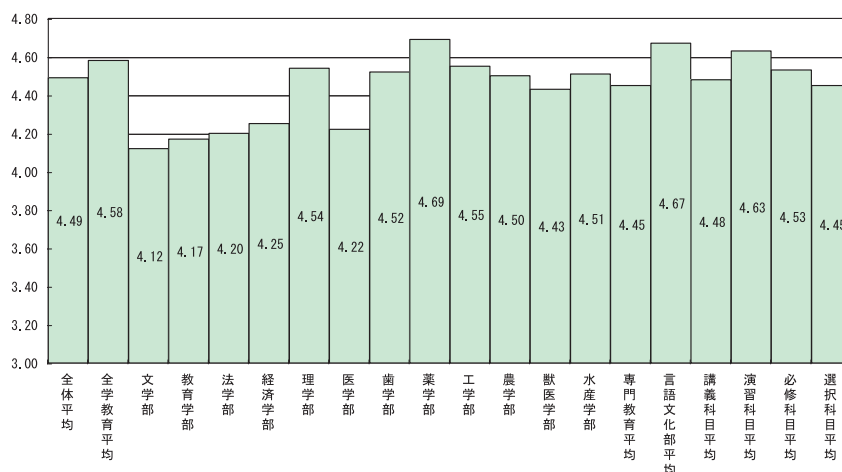
	文	教	法	経	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産
平成11年前期	3.51	3.40	3.60	3.55	3.27	3.35	3.23	3.32	3.11	3.31	3.44	3.25
平成12年前期	3.83	3.82	3.57	3.54	3.32	3.42	3.64	3.45	3.39	3.65	3.81	3.62
平成12年後期・13年前期	3.73	3.87	3.70	3.51	3.41	3.55	3.69	3.60	3.40	3.72	3.85	3.62
平成13年後期・14年前期	3.77	3.76	3.95	3.68	3.64	3.56	3.73	3.55	3.45	3.72	3.99	3.56

F 「出席・態度」

・この授業の自分の出席率は（ ）%程度であった。

	80と100%の合計				20,40と60%の合計			
	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前
全 体	86.0%	87.5%	88.8%	89.4%	14.0%	12.5%	11.2%	10.6%
全学教育	89.6%	90.4%	91.8%	92.2%	10.4%	9.6%	8.2%	7.8%
専 門	83.6%	85.6%	87.3%	88.2%	16.4%	14.4%	12.7%	11.9%
言 語	93.7%	94.4%	95.9%	95.6%	6.3%	5.6%	4.1%	4.4%
講 義	85.4%	86.8%	88.4%	89.0%	14.6%	13.2%	11.6%	11.0%
演 習	91.3%	93.2%	94.8%	94.5%	8.7%	6.8%	5.2%	5.5%
必 修		87.9%	90.1%	90.5%		12.1%	9.9%	9.5%
選 択		86.7%	87.7%	88.2%		13.3%	12.3%	11.8%





学部別評点平均

	文	教	法	経	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産
平成11年前期	4.14	4.11	4.14	3.98	4.40	4.06	4.47	4.59	4.38	4.38	4.44	4.38
平成12年前期	4.18	4.48	4.31	4.09	4.40	3.92	4.48	4.60	4.45	4.45	4.44	4.42
平成12年後期・13年前期	4.18	4.21	4.31	4.10	4.52	4.19	4.40	4.58	4.48	4.47	4.35	4.57
平成13年後期・14年前期	4.12	4.17	4.20	4.25	4.54	4.22	4.52	4.69	4.55	4.50	4.43	4.51

9割の学生が8割以上出席したと答えている。講義より演習の出席がよい。語学の授業も出席がよい。

選択、必修に差はない。学部別では理系の方が文系よりも出席がよい。

なお、全体的にわずかな改善がうかがえる。

難易度との関連

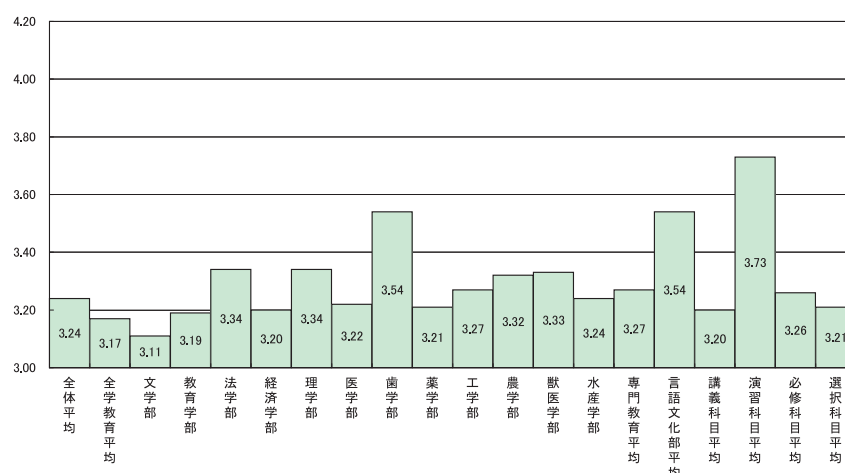
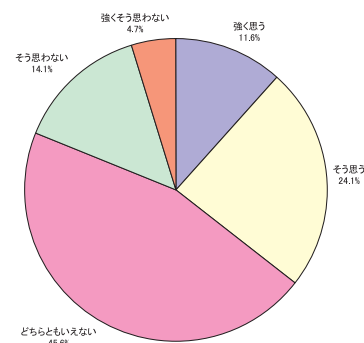
極めて難しい、難しいとしているものほど、出席がよい。

クラスサイズとの関連

クラスサイズが小さいほど出席はよい。

・質問、発言、調査、自習などにより、自分はこの授業に積極的に参加した。

	そう思う (評点の4と5の合計)				そうは思わない (評点の1と2の合計)			
	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前	平成11前	12前	12後・13前	13後・14前
全 体	23.9%	30.1%	33.7%	35.6%	31.0%	23.3%	20.1%	18.8%
全学教育	26.7%	31.1%	35.1%	35.0%	29.7%	25.7%	22.3%	22.5%
専 門	22.1%	29.4%	32.9%	35.9%	31.7%	22.0%	19.0%	17.1%
言 語	41.0%	45.2%	53.8%	51.2%	18.6%	16.0%	10.8%	12.5%
講 義	21.8%	27.8%	31.9%	33.9%	32.2%	24.3%	20.9%	19.5%
演 習	49.0%	51.7%	57.1%	59.0%	15.4%	12.1%	9.6%	8.5%
必 修		30.7%	35.7%	36.3%		22.6%	18.4%	17.9%
選 択		29.1%	31.8%	34.9%		24.0%	21.7%	19.8%



学部別評点平均

	文	教	法	経	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産
平成11年前期	2.86	2.85	2.95	3.07	2.86	2.93	2.98	3.01	2.82	2.84	2.70	2.82
平成12年前期	3.06	3.11	3.01	3.02	2.98	2.96	3.48	3.03	3.14	3.21	3.26	3.08
平成12年後期・13年前期	3.11	3.24	3.17	3.09	3.20	3.15	3.49	3.20	3.16	3.24	3.36	3.26
平成13年後期・14年前期	3.11	3.19	3.34	3.20	3.34	3.22	3.54	3.21	3.27	3.32	3.33	3.24

全体的に積極的に参加していないと自己批判している。前年に比べて改善している。必修，選択では差がない。

学部別でみても共通して積極性に欠けていることは明瞭である。とくに文系では，積極的に参加したという学生は少ない。

難易度との関連

極めてやさしいに消極的参加が多い。

クラスサイズとの関連

クラスサイズが小さいものは積極的参加が多い。

学生による評価と教員自己評価との比較

フィードバック用の集計表では、各教員は、自分の授業の各項目の学生による評点を各評価項目評点平均と総合評価指数で、全体平均・全学教育平均・専門教育平均・当該部局専門教育平均・講義科目平均・演習科目平均・必修科目平均・選択科目平均と比較することになる。また、自己評価の評点を学生による評点平均と比較する。

各教官あて通知内容

「平成14年度(平成13年度後期及び平成14年度前期実施分)授業アンケート」集計表

部局名: ○○○○

氏名: ○○○○

授業の形態: ○○

科目区分: ○○○○

必修・選択: ○○ 科目名: ○○○○

提出枚数/登録学生数 (提出率)
32/32(100.00%)

設 問 内 容	5 (%)	4 (%)	3 (%)	2 (%)	1 (%)	無回答 (%)	平均	全体 平均	全学 教育 平均	専門 教育 平均	専門教育 平均 (当該部局)	講義 科目 平均	演習 科目 平均	必修 科目 平均	選択 科目 平均
1. シラバスは、授業の目標、内容、評価方法を明快に示していた。	19.35	45.16	35.48	0.00	0.00	3.13	3.84	3.71	3.68	3.73	3.73	3.70	3.85	3.64	3.79
2. 授業は体系的に行われていた。	28.13	59.38	9.38	3.13	0.00	0.00	4.13	3.92	3.86	3.94	4.36	3.91	4.03	3.86	3.98
3. 教官の熱意が伝わってきた。	56.25	37.50	6.25	0.00	0.00	0.00	4.50	3.98	3.96	3.99	4.64	3.97	4.13	3.92	4.05
4. 教官の話し方は聞き取りやすかった。	68.75	31.25	0.00	0.00	0.00	0.00	4.69	3.79	3.77	3.80	3.36	3.77	4.03	3.73	3.85
5. 授業は、難解な概念、理論があっても、わかりやすかった。	46.88	40.63	12.50	0.00	0.00	0.00	4.34	3.49	3.42	3.52	4.00	3.47	3.67	3.43	3.55
6. 授業により知的に刺激された。	28.13	43.75	21.88	6.25	0.00	0.00	3.94	3.66	3.61	3.68	4.55	3.63	3.97	3.56	3.76
7. 黒板、スライド、OHP、ビデオ、プリント等の使われ方が理解の促進に効果的であった。	25.00	37.50	25.00	12.50	0.00	0.00	3.75	3.62	3.53	3.65	3.64	3.61	3.73	3.54	3.70
8. 教官は効果的に学生の参加（発言、自主的学習、作業など）を促した。	59.38	28.13	12.50	0.00	0.00	0.00	4.47	3.41	3.34	3.44	4.27	3.36	4.14	3.48	3.34
9. 教官は学生の質問・発言等に適切に対応した。	50.00	37.50	12.50	0.00	0.00	0.00	4.38	3.75	3.75	3.74	4.64	3.71	4.25	3.77	3.72
10. 授業の進行速度は適切であった。	50.00	31.25	15.63	3.13	0.00	0.00	4.28	3.69	3.74	3.67	4.82	3.67	3.91	3.63	3.76
11. 授業で要求される作業量（レポート、宿題、自習など）は適切であった。	48.39	35.48	12.90	3.23	0.00	3.13	4.29	3.68	3.74	3.65	4.18	3.67	3.77	3.62	3.74
12. 授業内容の難易度は適切であった。	0.00	3.13	84.38	12.50	0.00	0.00	4.69	3.87	3.85	3.88	3.91	3.87	3.80	3.81	3.93
13. 授業の履修目標を達成できた。	12.50	53.13	28.13	3.13	3.13	0.00	3.69	3.43	3.41	3.44	3.82	3.41	3.67	3.38	3.49
14. 授業内容が他領域と幅広く関連することを理解できた。	12.50	37.50	37.50	6.25	6.25	0.00	3.44	3.61	3.46	3.68	3.91	3.60	3.79	3.54	3.68
15. 授業により、新しい知識、考え方、技能を修得でき、さらに深く勉強したくなった。	18.75	53.13	25.00	0.00	3.13	0.00	3.84	3.60	3.54	3.62	4.18	3.58	3.89	3.51	3.69
平 均 値	34.94	38.28	22.59	3.35	0.84	0.42	4.03	3.68	3.64	3.70	4.13	3.66	3.91	3.63	3.74
平成13年度(前期) 平均値 (科目名: ○○○○)	36.91	41.83	17.45	3.58	0.22	0.67	4.17	3.63	3.58	3.66	4.07	3.60	3.93	3.61	3.65
平成12年度(後期) 平均値 (科目名: ○○○○)	56.19	28.19	13.90	1.14	0.57	0.00	4.47	3.71	3.72	3.71	0.00	3.69	4.03	3.71	3.71
平成12年度(前期) 平均値 (科目名: ○○○○)	45.72	38.29	13.90	1.52	0.57	0.00	4.27	3.57	3.51	3.60	0.00	3.54	3.84	3.52	3.62
平成11年度(後期) 平均値 (科目名: ○○○○)	42.21	33.15	18.15	5.56	0.93	0.00	4.10	3.58	3.61	3.58	0.00	3.57	3.78	0.00	0.00
16. この授業の自分の出席率は（ ）%程度であった。	81.25	18.75	0.00	0.00	0.00	0.00	4.81	4.49	4.58	4.45	4.73	4.48	4.63	4.53	4.45
17. 質問、発言、調査、自習などにより、自分はこの授業に積極的に参加した。	18.75	34.38	34.38	9.38	3.13	0.00	3.56	3.24	3.17	3.27	3.55	3.20	3.73	3.26	3.21
平 均 値							4.19	3.86	3.88	3.86	4.14	3.84	4.18	3.90	3.83
平成13年度(前期) 平均値 (科目名: ○○○○)							4.22	3.84	3.89	3.82	4.39	3.82	4.16	3.88	3.80
平成12年度(後期) 平均値 (科目名: ○○○○)							4.31	3.82	3.89	3.80	0.00	3.80	4.14	3.88	3.78
平成12年度(前期) 平均値 (科目名: ○○○○)							4.44	3.77	3.66	3.74	0.00	3.74	4.09	3.79	3.75
平成11年度(後期) 平均値 (科目名: ○○○○)							4.21	3.77	3.68	3.74	0.00	3.74	4.09	3.79	3.75

教官自己評価

設 問 内 容	自己評価点	全体 平均	全学 教育 平均	専門 教育 平均	専門教育 平均 (当該部局)	講義 科目 平均	演習 科目 平均	必修 科目 平均	選択 科目 平均
1. シラバスでは、授業の目標、内容、評価方法を明快に示した。	4.00	4.04	4.09	4.02	4.00	4.05	3.98	4.07	4.01
2. 授業は体系的に行った。	4.00	4.13	4.18	4.12	4.00	4.15	4.03	4.16	4.11
3. 学生にあなたの熱意が伝わった。	4.00	3.90	3.97	3.88	3.00	3.90	3.92	3.86	3.94
4. 学生にとってあなたの話し方は聞き取りやすかった。	3.00	3.70	3.85	3.64	3.00	3.70	3.70	3.72	3.67
5. 授業は、難解な概念、理論があっても、わかりやすい授業を行った。	4.00	3.89	3.92	3.88	3.00	3.90	3.80	3.92	3.87
6. 知的に刺激される授業だった。	3.00	3.83	3.90	3.80	3.00	3.82	3.90	3.77	3.89
7. 黒板、スライド、OHP、ビデオ、プリント等を理解の促進に効果的に使用した。	4.00	3.84	3.80	3.86	2.00	3.85	3.80	3.84	3.85
8. 効果的に学生の参加（発言、自主的学習、作業など）を促した。	3.00	3.44	3.60	3.38	3.00	3.44	3.46	3.44	3.44
9. 学生の質問・発言等に適切に対応した。	3.00	3.93	4.04	3.88	3.00	3.94	3.84	3.95	3.90
10. 授業の進行速度は適切であった。	4.00	3.61	3.67	3.59	3.00	3.63	3.47	3.60	3.62
11. 授業で要求した作業量（レポート、宿題、自習など）は適切であった。	4.00	3.60	3.69	3.56	3.00	3.60	3.59	3.61	3.59
12. 授業内容の難易度は適切であった。	3.00	4.02	3.95	4.05	3.00	4.03	3.97	4.02	4.03
13. 授業の目標を達成できた。	4.00	3.78	3.84	3.76	3.00	3.78	3.82	3.76	3.80
14. 授業内容が他領域と幅広く関連することを理解させることができた。	3.00	3.76	3.68	3.80	3.00	3.77	3.75	3.73	3.79
15. 授業により、学生は、新しい知識、考え方、技能を修得し、さらに深く勉強したくなった。	3.00	3.61	3.62	3.60	3.00	3.62	3.54	3.55	3.66
平 均 値	3.53	3.81	3.85	3.79	3.07	3.81	3.77	3.80	3.81
平成13年度(前期) 平均値 (科目名: ○○○○)	3.93	3.79	3.85	3.76	3.13	3.79	3.83	3.82	3.76
平成12年度(後期) 平均値 (科目名: ○○○○)	4.13	3.80	3.81	3.80	0.00	3.81	3.72	3.85	3.77
16. この授業の学生の出席率は（ ）%程度であった。	5.00	3.95	4.01	3.92	5.00	3.97	3.75	3.98	3.92
17. 学生は、質問、発言、調査、自習などにより、この授業に積極的に参加した。	3.00	3.21	3.38	3.14	3.00	3.21	3.25	3.17	3.24
平 均 値	4.00	3.58	3.69	3.53	4.00	3.59	3.50	3.57	3.58
平成13年度(前期) 平均値 (科目名: ○○○○)	3.50	3.54	3.69	3.45	3.50	3.55	3.46	3.60	3.48
平成12年度(後期) 平均値 (科目名: ○○○○)	3.50	3.49	3.61	3.45	0.00	3.49	3.44	3.52	3.46

※ 評点については次のとおりとする。

① 設問1～11、13～15、17: 「5=4+3+2+1」は、「強く思う・そう思う・どちらともいえない・そうは思わない・強く思う・思わない」を意味する。

② 設問12: 「5=4+3+2+1」は、「A極めて難しい・B難しい・C適切・Dやさしい・E極めてやさしい」を意味する。なお、各教官の設問1～15の平均値を算出するために「C→5・BD→3・AE→1」として計算した。

③ 設問16: 「5=4+3+2+1」は、「100%-80%-60%-40%-20%」を意味する。

学生による評点平均と教員の自己評価評点平均を全評価科目の全体平均で比較すると、「3. 教官の熱意が伝わってきた」「4. 教官の話し方は聞き取りやすかった」「10. 授業の進行速度は適切であった」「11. 授業で要求される作業量（レポート、宿題、自習など）は適切であった」は、学生による評価の方が教員の自己評価よりも高いポイントを与えているが、それ以外の設問では、学生による評価ポイントは、概して0.1から0.2ほど低くなっている。総合評価指数も、学生の方が0.13ほど低い。また、全学教育平均、専門教育平均、講義科目平均、必修科目平均、選択科目平均も学生によるものの方が低い。演習科目平均については、昨年度に引き続き学生の方が教員の自己評価よりも高い評点をつけている。教員の自己評価の平均が3.77であるのに対して、学生の評価平均は3.91である（昨年度は、教員3.95・学生3.97）。さらに個々の設問に注目すれば、昨年度は学生の方が高い評価を下した項目が15問中7問であったのに、今回は学生の評価が教官の自己評価と同じかそれを上回っている設問が10問に増加している。このように、学生が演習科目を評価しているのは、少人数授業により双方向性をとりやすいことや相互理解の距離が近いためではないかと思われる。将来的に重点を置くべき授業形式に関して示唆的な結果である。

いずれにせよ学生による評価と教員自己評価との比較では、両者におおきなずれがなく、学生は授業を肯定的にとらえていることがわかる。

評定平均の度数分布

教員各自の総合評価指数の位置づけを知るために、度数分布と順位を示した。すなわち、評価を受けた科目全体、全学教育科目、専門科目、当該部局専門科目の総合評点度数分布、最高値と最低値、該当科目数のうちの順位、たとえば、評価を受けた科目全体の数 ○○中 ○位として、位置づけを明確にしている。これにより各教員は、自らの位置づけを明確に把握できる。

度数の幅は評点平均 0.1でグラフとしている。幅の取り方と関連して、多少の凹凸があるが、全体的には正規分布のグラフとなっている。各部局の専門科目のグラフは、科目数が多かったり少なかったりするので、度数分布としては形が悪いが、それでも全体での位置づけを見るには十分であろう。また、各部局の専門教育科目に対する評価も、平均点のみで提示するよりは含まれる情報が多い。

「平成14年度(平成13年度後期及び平成14年度前期実施分)授業アンケート」

評点平均の度数分布図

部局名: ○○○○

氏名: ○○○○

提出枚数/登録学生数 (提出率):

授業の形態: ○○

科目区分: ○○○○

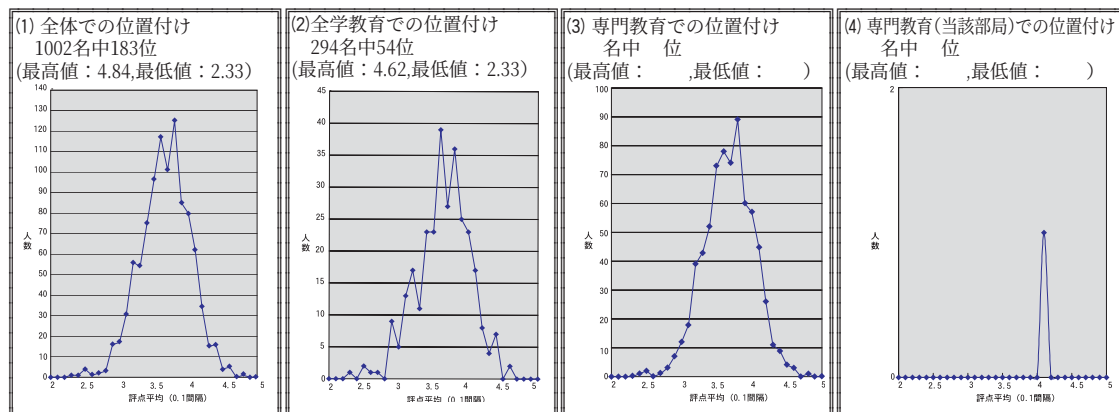
必修・選択: ○○

科目名: ○○○○

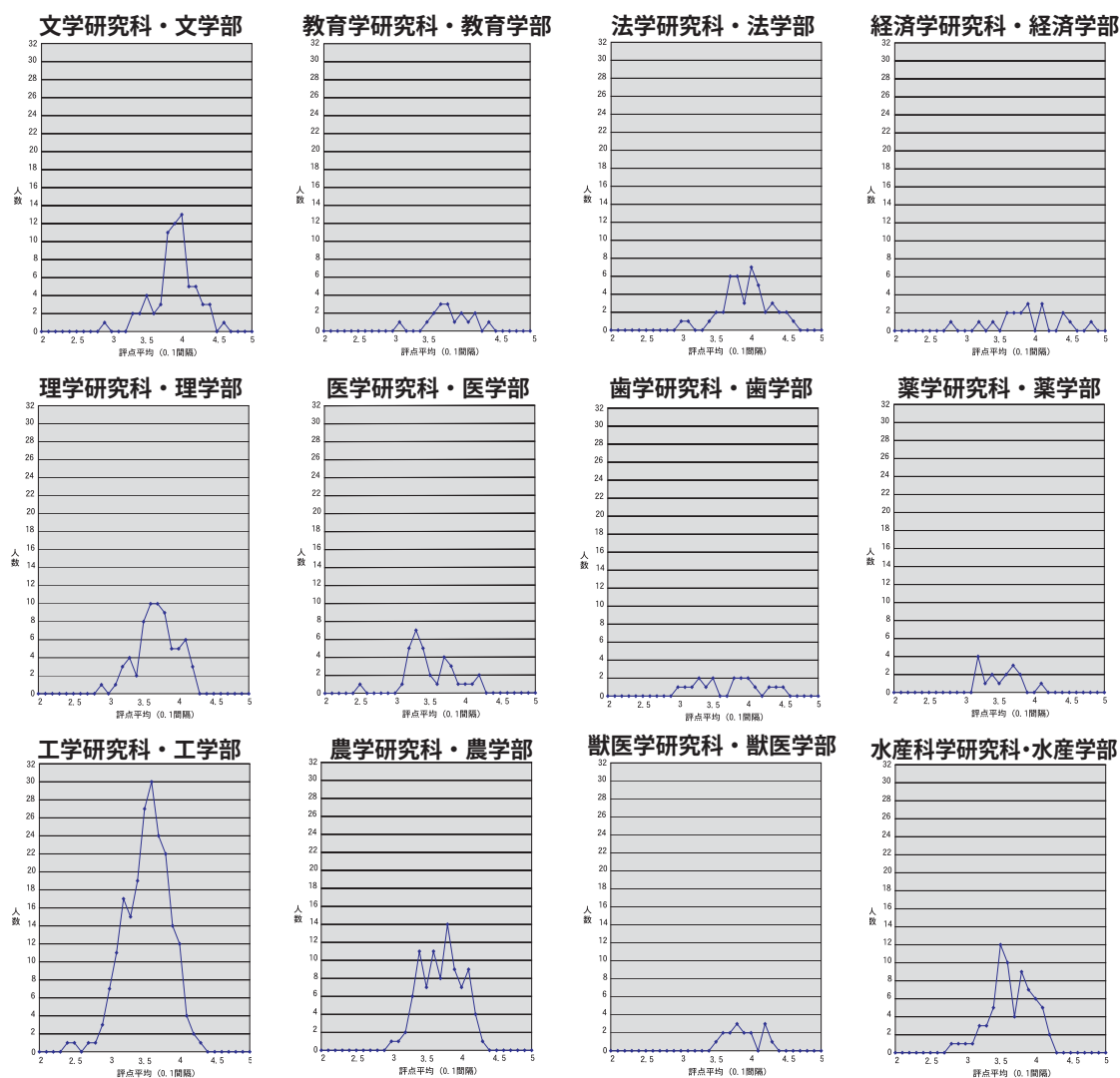
32/32(100%)

1. あなたの評点平均: 4.03

2. 評点平均の順位



部局ごとの専門教育科目の度数分布図



自由意見の解析

平成11年度の授業アンケートでは、述べられた学生の自由意見から一般化できる点を抽出し、その解析結果を授業の改善法として報告書に記載した。さらに詳細な解析は、「高等教育ジャーナル」に「学生アンケートによる授業改善の提案、とくに講義の改善と学生参加型授業」としてその解析結果を記載した。さらに、高等教育機能開発総合センターのホームページに「学生が提案する授業改善法」として公開した。このホームページ (<http://socyo.high.hokudai.ac.jp/HowtoL/Howto0.html>)は、授業とくに講義の授業改善の要素がほとんどすべて網羅されている。これは、本学の学生が提起した形であり、教員の視点、教員の理論から提案しているものに比較して、特徴があり、評価される。活用が望まれる。

一方、平成11年度の各意見は境なしに羅列されていたので、授業を特定できない形であった。ここでは同じ授業に対しては、同じような意見が羅列されるはずであるので、平成12年度は授業別に意見を区分けして整理した。意見を授業別に分けることで、その授業の性格が具体的にみえてくる。授業の現場が具体的にイメージされ、評価の参考になることがわかった。

平成13年度は、北海道大学の授業の性格を知るために、各授業別の意見をできるだけ3つのキーセンテンスでまとめ、各授業の特徴を表現することにし、アンケート質問項目と関連して分類した。

授業に対する自由意見の数は、授業によって異なっていた。ほとんど無いものから 50, 60 意見のあるものまで様々であった。このなかで、その科目固有の意見は取り上げず、一般的意見を取り上げ、その代表と見なされる意見から3種をえらびキーセンテンスで表現した。どうしても重要なら1, 2加えてもよいとし、3種に満たないものはそのままとした。実際には、1種あるいは2種のものもあった。これをアンケートの項目種別に分類し、マイナス意見とプラス意見に分けた。授業改善ということで、マイナス意見に視点があったが、特徴的なものはプラス意見も採り上げた。この分析により、広く学生の自由意見を拾い上げることができたと判断された。

そこで、平成14年度は、前年度報告書で取り上げられた項目を羅列して残すとともに、これらとは重複しない学生の自由意見や問題点の指摘に限り採録した。一部は、特定科目に特有の意見なども含まれている。全体的に見て、学生は教員の学生に対する接し方、挨拶や受け答え、言葉使いなどに大変神経質である。また教材の選択には要望も少なくない。選択の善し悪しに敏感に反応している。小テストや予習の要求、宿題、レポート課題などは、大変だといいながら、勉強が身に付くことの効果を高く評価している。ネイティブの教員による実践的語学教育は、一部教員の人格などに関するものを除き、授業内容や進め方に対して評価が高い。また、ネイティブのティーチング・アシスタントを同席させることも、おおいに歓迎されている。難しい講義に対して、解説・指導を受けられるようなTAを要望する声もある。一方で、うまく機能していない場合は、“TAがいると先生が二人いるようなもので、学生の発言する時間が失われたように思う”といった意見もあった。学生の意識の違いや学力の差のゆえにか、丁寧な反復授業は評価が両極に別れる傾向にある。

学生の側からもアンケートの項目に対する提言があった。“アンケートの項目は、授業の種類によって評価基準が変わるべきではないか？ 例えば、スピーキングの授業で、「4:教官の話

し方は聞き取りやすかったか」とか「5:難解な概念，理論云々」は該当しません。もっと多角的に評価できる方法をとっていただきたい”というものである。

以下に，学生の自由意見を各カテゴリーにわけ，平成13年度採録項目は一括してまとめ，今回採録したものは＊印を付して区別した。平成13年度報告書には度数分布などの数値が示されているが，今回は省いた。

学生の自由意見

A. シラバスとその内容

・シラバスの内容が体系的でよい・授業構成が不明瞭・複数教官間で内容にだぶつきがある・授業回数を再考して欲しい（不足）・採点評価基準が不明確・シラバスにまとまりがない・シラバスと授業が合っていない・他の授業との連携を明示してほしい・授業日程を明示してほしい

＊講義の場合にも，効果を挙げるのに有効な場合は演習を組み込んで欲しい。

＊学生の高校における履修状況なども考慮して欲しい。

＊テストと講義の関連が見出しがたい。講義から得たものを試すのが試験ではないか？

＊授業方針を示してくれたおかげで自分もすごくやる気になれ，さらに身に付いたのが実感できた。

＊授業自体の流れをとらえることが難しかったので，もう少し，授業目的・達成基準などを明らかにしながら進めてほしい。

B.1. 教員と授業

・教官の熱意を感じる・教官が魅力的・授業の進め方がうまく，聞き取りやすい・話すスピードが速すぎる，声が小さすぎる・教師の態度が尊大，一方的・セクハラまがいの内容あり品位を疑う・休講が多すぎる・時間にルーズ（遅刻・延長）・プリント／教科書の棒読み授業・学生を向いて講義をして欲しい（黒板に講義をしている）・意欲，熱意を感じない，いい加減な進行，場当たり的（教官の予習不足）・学生に対して威嚇的，暴言・思想的偏り有り（アジ演説は聴きたくない，授業を聞きたい）

＊生徒の知りたいことを聞いて授業を行ってくれたので，とても面白く，先生が本当に生徒のことを考えていてくれるのがよくわかってうれしかった。

＊語学の授業がネイティブの先生でとても面白く，学習意欲がわいた。

＊ネイティブのティーチング・アシスタントに，授業を任せっぱなしにしないで欲しい。（外国人の教員に対して）日本語をもう少し憶えてくれたら，授業が効率よくいったと思う。

＊授業は，本当にやる気のある人が伸びるようにすべきである。クラスはレベル別編成がよい。

＊実験を入れてほしい。講義内容を具体例で示してほしい。

＊何が授業のポイントなのか，分からない。話にメリハリがなく，まとまりが悪い。

- ＊特別講義は普段の系統講義ではきけない話を聴きたい。
- ＊週2回の授業を二人の先生が分担されたが、体系的な面や難易度の差、進行の面であまりよくなかった。
- ＊重要な事柄や語の定義などは、板書して欲しい。課題の解答が欲しい。
- ＊講義のなかで、自分を含め家族の特定体験を話すことが求められたが、情報を集めるならもっと違った方がいい。

B2. 教育媒体

・板書が見やすく整いわかりやすい・ビデオ，スライド，OHPが効果的に使用されている・板書に不満（ない，小さい，汚い，つながりみえない，消すのが速すぎ）・OHP，スライドの不満（小さく見にくい，切り替え速すぎ，教室を真っ暗にしないほしい）・OHP，スライド使用時は，同一内容のプリントを配布して欲しい・教科書に不満（難解，高価，古い）・プリントに不満（少なすぎ，多すぎ，まとまりない，要点不明）・機材の不調で時間を無為につぶす・情報の流しっぱなし，説明不足

- ＊ポスター形式の発表は，よかったと思う。
- ＊複数教官担当の週3回の授業で，同じ教科書を利用したが，十分な理解のために役立ってよかった。
- ＊大きな教室では，マイクを適正に使用して欲しい。
- ＊教科書が素晴らしく，名著に出会えたと思う。
- ＊オリジナルな道具を使い，わかりやすく，小道具がおもしろかった。
- ＊教科書を買わせておいて，教科書に沿った授業をしていない。
- ＊レジュメにワープロ変換ミスが多くて，誠意が感じられない。
- ＊この授業を通して，最も自分に効果があったのは，英英辞典の引き方や見方に慣れることができたことである。
- ＊プリントの大部分が英語（他の外国語）なのはつらい。日本語の解説が欲しい。
- ＊パソコンなど（パワーポイント，DVD，CD-ROM，教育用ドキュメンタリーフィルム，デイズニアニメ）が，効果的に使用されていた。授業の資料をホームページからダウンロードできるようにして欲しい。
- ＊SCS(space collaboration system)は積極的に利用すべきであるが改善点がある。SCSの故障が多い。

B3. 負担

・授業進度適切・小テスト，レポートが適切な量で，学習に効果的・演習問題多すぎる・レポート，課題の量が多すぎる・レポート，課題の解答は示すべき・グループ作業では負担に不公平がある・進行がバタバタしている，速すぎる・授業とテストにギャップがある

- ＊課題をこなすのは大変だったが，添削とコメントが有益で刺激になった。
- ＊大変だったけど，予習をしないとついていけないような授業スタイルがよかったと思う。もう少し学生に予習をするというべきだ。

＊試験を2回（中間と期末）に分けてやってくれたことはよかった。小テストを多くするほうが皆勉強する。レポートも最後にひとつ課するよりも、小レポートをいくつか課するほうが学習意欲が沸いてよい。

＊授業中はあてられるので緊張感があり、よかったと思うが、小テストがなかったのではとめ学的学習がおろそかになった。

＊前以て資料を配るとか、次回の授業目標を明示してくれると、予習が効果的にできる。

C. 学生参加

・クラスの人とコミュニケーションがよくなる・学生の意見がよく反映される・発表形式／討論形式がよい・自分で学んでみて初めてわかる・活気がなく、雰囲気が悪い・人数が少なすぎる・学生に任せすぎで、手抜きにみえる・体験学習を取り入れるべき

＊各テーマを自分達で調べ発表する形式は自分から動くことで、記憶に残るから非常にいいと思う。もっと質問などの討議がなされればよかったと思う。

＊グループで調査学習する場合には、協力態勢をうまく組めるように配慮して欲しい。班の人が全く動いてくれないと、1人の負担になるだけだし、調査結果も不十分なものになる。また、授業に参加していなくても、単位を認めたりするのは、がんばって参加した人に対してすごい失礼だと思う。

＊フィールドにでて実際に植物を見ることができてよかった。

＊演習で机をコの字に並べ変えたのに、それが活かされなかったのは残念でした。

＊人数が多く場所も広いので先生とのコミュニケーションが取りにくかった。もっと、積極的に質問にゆけばよかった。

D. 難易度

・わかりやすい・難しすぎる（大多数）・易しすぎる・同一授業の前期後期で難易度がちがう

＊公式なり概念なりの大まかなイメージを伝えて欲しい。また、新しい概念はじっくりやって欲しい。

＊TOEFLは難しかった。授業だけでは対応できなかった。

＊高校で習った微分積分のレベルとの違いにかなり戸惑い、ほとんど理解できませんでした。

＊リメディアルクラスの進度や難易度を各クラス間で統一して欲しい。できるだけ丁寧に教えて欲しい。

＊扱う内容がかなり難しかった。学生が分かっているかどうかは授業中に確認した方がいいように思います。クラスの90%の人が分かっている部分も多々あったと思います。

＊講義が難しく自習していかないととても理解できなかった。でも、授業が理解できたときに自分の力になるはずだという思いも、強く感じた。講義の中には、これくらい難しいものがあったらいいと思う。

E. 学生の満足度と達成度

・知的好奇心が刺激され満足・適切に評価され、やる気になった・実践的な内容が盛り込まれ興味深い・共同作業が有益であった・研究法の理解、最先端の内容が刺激的・履修人数が多すぎる（教室が狭い）・内容がうすっぺらい、つまらない・教室が、寒すぎる／熱すぎる、遠すぎて不便

＊大学に入って本格的な授業にはじめて出会った思いがした。

＊実生活に役立つ講義内容で有益。講義内容が新鮮で、新しい視点が身に付いた。文献や資料の紹介が行き届いていた。

＊論理的に考える大切さを知った。

＊教官自身、自分の評価は良くないんだと公言している。よりよい授業をしようという意識を持って欲しい。

＊授業と実習がリンクしているのがよかった。

＊小テストで勉強するようになった。小テストは続けてほしい。暗記だけの試験はやめてほしい。

＊古典の授業で、活字ではなく当時の書物の形態のテキストを使用したのも、興味をもて、古文書にも馴染めた。

＊ゲストスピーカーを呼んでくれたことが大変効果的であった。

＊論文の書き方について無知だったが、この授業を通して体系的な文章の書き方を学ぶことができてとてもためになった。

＊大教室授業は時代に逆行しています。30人クラス、せめて40人クラスを実現してください。

F. 出席・態度

・出席と発言を同列に評価している・出席を評価して欲しい・私語が多い、私語を注意すべき・出席の取り方に納得できない

＊出席をどの程度評価するのか、明確にして欲しい。出欠は取るべきである。出欠カードを使ったほうが効率がよい。

＊授業中の私語および遅刻者は授業の妨害になっている。野放ししないできちんと注意すべきである。

＊先生の熱意、進め方がよくて学生たちがしっかり学べるようになっていたと思うが、残念ながら自分は遅刻ばかりしてしまい、申し訳なかった。

G. その他

要望・疑問：

＊せっかく著書を購入したのだから、著書全体について講義して欲しかった。

＊フィールド調査の場合、出先に対して指導教官は紹介状あるいは依頼状を書いて欲しい。

＊出席カードで着席位置を書かせるのにはなにか意味があるのでしょうか。

施設関係：

＊教室がいつも暑い（N棟など）。照明が不十分、電子機器の使用できない教室がある。

- ＊板書が少なくないのに机のない教室で講義が行われているものがある。
- ＊机と椅子の一体式のものは、首がいたくなり苦痛だった。リスニングでも机のある部屋でやって欲しい。
- ＊5時限の講義では途中から寒すぎる教室がある。105教室は、風雨その他で換気扇や水道管、排水管などの騒音が著しい。
- アンケート関係：
 - ＊演習と講義では、評価をきちんとするためには、アンケートの設問・選択肢など別々のものとすべきであろう。
 - ＊このアンケートによって教員は評価（恩賞などに関係した）を受けているのか。アンケートの前に、生徒たちに自分の授業がいい順位になるように誘導している教官がいるのは明らかに公平性を欠いている。こんなアンケートの取り方は驚きだ。
 - ＊正直、ぼろくそに書きたい講義のアンケートは来ないで、優れているという講義にだけアンケートを渡すのは意味がないんじゃないですか。
 - ＊こういったアンケートを毎行っているようだが、全然生かされていないと思う。
授業改善に必要なのはアンケートではなく、教官が「何を伝えたいか」ということに関する意識をしっかりと持つ事であろう。
 - ＊このようなアンケートに何の意味があるのか。

以上のように、授業改善には、教員のパフォーマンスと授業媒体の使い方が最も重要であることを示しているが、ここにまとめられている学生の自由意見の中にも多様な授業改善のヒントがうかがえる。授業改善については、平成11年度報告書、高等教育ジャーナル8号（2000年）および高等教育機能開発総合センターのホームページ（<http://socyo.high.hokudai.ac.jp/HowtoL/Howto0.html>）を参照されたい。

アンケートに対する教員の自由意見

本年度は、教員の自由意見について、重要な指摘や提言に関わるものを重点的にピックアップすることとし、175件を取り上げた。重複や類似した意見を整理し、学生の自由意見のようにカテゴリー分けを行った。

A. シラバスとその内容

- ・「シラバスは・・・明快に示した」の評価がずっと低いままですが、これは「シラバスにすべて統一したものを入力するように」と教務委員会から「指導」されている（複数教官担当科目か？）ためです。
- ・授業担当の際の事情によって、シラバス通りに行えない場合もある。
- ・はじめて担当した科目であり、シラバスと完全に一致させることは出来なかった。

- ・学生はどうもシラバスを読んでいないような気がする。
- ・特定科目について、開講時期を変えた方がよい。

B1. 教員と授業

- ・高校での選択科目に応じたクラス編成が必要である。理科科目で高校の履修経験の違うものを一律教育することには無理がある。履修生の間の学力に開きが大きすぎて、授業設計が非常に困難である。
- ・今の学生はノートの記し方等が下手、工夫した講義の必要を感じる。
- ・学生の側に積極性がなければ、教官がいくら努力しても意味がない。積極派と投げ遣り派への同時対処が困難。
- ・授業は手助けにしか過ぎない、解りやすい授業をするために準備は念入りに行っているが、自分の努力を放棄している(その科目を切り捨ての対象としている)ものにとって、そのような授業が良い授業と思えるわけがない。
- ・週3コマの授業に同一の教科書を使用するという試みを初めて行った。体系的に進められ、学習効果も向上したように感じる。小テストなどほぼ毎回実施して学習内容の定着を図ったことにより、大方の学生からは、実力が身に付いたというプラスの評価が得られたように思う。「いやいやながら」授業を受けている動機の低い学生への対処には妙案がない。
- ・体育の授業の後での授業は、全員疲れているようで授業に積極的に参加している者が少なかった。体育の授業の時間帯を考慮して欲しい。一講目の選択授業で、雪が降るとともに参加者が減っていった。

B2. 教育媒体

- ・設備の充実が必要：液晶プロジェクター（パワーポイント）、OHP、マイクの不備・不調、使用可能な教室を今より増やすこと。教室設備の操作が複雑でマニュアルも見あたらない。アンプの机が大きく授業に支障。
- ・情報過多の傾向があるので、少し整理した方が理解が深まるのではないかと反省している。
- ・最近の研究成果をプリント、OHPで段階的に説明し、いかに情報を集約し自分のものとしてゆくかについて毎回講義で問いかけた。
- ・手製の教材・演習問題・解答を配布したのが効果的であった。実験のデモンストレーションが好評であった。
- ・配布したプリントは日本語の表題付きの英語のものですが、拒絶感が強い。選択とはいえ、3年のうちに受講生が半減してしまった。化学離れはかなり深刻に感ずる。

B3. 負担

- ・研究活動との両立がなかなか困難であった。改善の余地があるのを自覚している。
- ・教官の負担が多すぎる。最も重要なことは、教官が研究や授業に専念できるように、教員に時間を与えることではないか。事務処理に費やしている時間が多すぎる。
- ・学生が必要としているのは、少人数でディスカッションできる規模のクラスである。基礎科目でなければ20人程度の一般演習のクラスを増やすのが望ましい。
- ・40名の学生と対話型授業は難しい。

C. 学生参加

- ・ 昨年までの反省に立ち毎回小テストを導入して授業内容の理解に努めるとともに、学生への授業参加を促した。学生側の評価も昨年より改善されたようである。
- ・ 高校ないし大学の1年次に修得されているはずの知識の著しい欠如がわかった。これまでの教育の不足を学部の一教官に押しつけられるのは、かなわない。
- ・ 学生を研究所見学に参加させたのは、好評であった。
- ・ 授業中の学生の発言が少ない。困難だが雰囲気づくりが大切だと思う。
- ・ 遅刻者が多い。

D. 難易度

- ・ 研究レベルに近い内容であったので知的刺激は大きいと思われたが、理解というレベルには達していない。
- ・ 学生の意欲・レベルと授業内容との間に差があった。開講時期やカリキュラムを検討すべき時期である。
- ・ 学生の物理に関わるレベルに差があるので、授業のレベル設定が難しい。物理を高校でやっていないため、化学の基礎を理解できないものがいて大変である。
- ・ 物理学に対する恐怖心は薄らげられたと思う。質のよい学生が多かった。
- ・ 有機化学3の履修者は、有機化学1,2の内容が理解されていることが前提となるが、この条件を満たす学生は少ないので、復習に時間をとられる。

E. 学生の満足度と達成度

- ・ 教員としても、いい授業を行うためには、適正な学生数、教室のサイズ、設備の要件が満たされていることが必要である。

F. 出席・態度

- ・ 授業の始めの私語を止めさせるにはどうすればよい？大人数講義の時に全員の満足のゆく講義が可能であろうか？学生の評価は高低に大きく分かれる。大講堂の前席は空いているが後席が混み、外にも溢れている。これでまともな受講態度といえるか？
- ・ 学生側の意識が急激に変質してきているように感ずる。現象には興味をもっても、その要因（化学物質、作用メカニズム）に対する興味が以前より大変希薄になっているように感ずる。
- ・ 選択科目で学生に興味がないことが問題である。
- ・ 学生の自らに対する出席率の評価があまりにも実際より高いのは気になるところである。
- ・ 以前の勤務校では講義の際に受講票を配布し、裏面に質問、意見を書かせることで、学生からのフィードバックを図っていた。受講票の常備を望みます。
- ・ 自由意見の欄に、先生がうざったいとか書く学生がいる。

G: 提言や要望

- ・ 少人数での双方向的授業を増やすためのカリキュラムや教室環境の改善が、授業改善に有効だと思われる。

- ・カリキュラム内容を変更すべき時期に来ている。
- ・系別入試を廃止すべきである。
- ・高等学校などへ、大学の研究内容をアナウンスすべきである。
- ・講義と演習や実験を組み合わせた授業を学生が希望している。それが行えるようなサポートがあるといい。希望する授業にTAをつけて欲しい。
- ・1, 2年生の授業にも演習をつけたり、補講を行うなどして基礎学力を充実させるべき。
- ・教育をバックアップする事務システムが必要。
- ・リメディアルクラスは、少人数（50名が限度）としケアの行き届いたものとする必要がある。
- ・極めて高い評価を得ている教官の授業を拝聴したい。
- ・Best Teacher を公表して欲しい。
- ・極めて低い評価の教官には、改善について他の教官からのアドバイスが必要だろう。
- ・大学の教官は講義法を学ばないまま、講義を始めなければならない。講義法のセミナー（講習会）への参加を義務づけることも考えて良いと思う。
- ・全学教育を退官された先生にお願いするのは、人材活用にも現役教官刺激にも良い。
- ・授業のプレゼンテーションに関するマニュアルがあってもいいのではないか。
- ・全学教育では同一科目を多数の教官が担当している。この同一科目内での比較分析をして欲しい。シラバスも統一しているが、結果によっては再検討が必要だろう。
- ・JABEE（工学技術者教育認定）が本格化しつつある。本アンケートを今後JABEE認定等の際に活用させていただければと思う。
- ・他大学では、授業アンケートで若い教官の評価が高かったという例がある。本学でもそのような観点からも、分析して欲しい。
- ・授業中の学生の態度に関して全学的に意見を交換すべき時ではないか。コーヒーやお茶の持ち込み、帽子を被ったままでの受講が目立つ。私語を含めて学生に注意をしない教師が多いらしい。授業の改善方法ばかりではなく、学生のシツケに対しても、教師は責任を持つべきだと思う。（だいたい、歩きながらニギリメシを食べているような学生に授業評価されることには大変抵抗がある。）
- ・昨年度は実験的に、授業に遅刻する学生、授業中の私語に対しても厳しく注意した。社会人としてのマナーの一端を教えたつもりだったが、注意された学生は必ずしも私の意を理解しなかったように思える。今年度は、このような注意を厳しくしなかった（遅刻・私語も昨年度の学生よりも少なかった）。学生の反応を見ながら授業を進めたいと思っているが学生数100人は多すぎる。
- ・今年度の学生はこれまでと異なりレスポンスが極めて悪かった。たとえば「x xについて聞いたことがある人挙手をしてください」といってもすぐに手が挙がらない。周囲をきょろきょろ見る学生が多い。「知っているからといってあてないから」とうながすとようやく手が挙がる状況でした。これまで8年間の経験で初めての雰囲気を持ったクラスでこちら側が困惑してしまいました。また始めからノートをとらない学生が目立つようになっています。今まで授業アンケートを肯定的にとられえていたのですが、このような状況下で今までと同様の授業アンケートを実施することに疑問をもち始めています。検討が必要な時期だと思います。

以上に取り上げなかった自由意見の多くは、授業に関する反省、不満、新たな試みに関するものであった。

教材の選択が難易度や入手困難などで適当でなかった。思い通りに授業が行えなかった。授業媒体の利用に制約があった。授業内容と学生のレベル・意欲の間に隔たりがあった。テキストを用いなかったことのマイナス面がでた。プリントだけでなくOHPも活用すべきであったなど、が反省点。

不満は、クラスの学生数が多すぎる。教室がクラスサイズと一致しない。教室の設備が不十分。学生に発言を促してもついてこなかった。遅刻者が多く、集中の妨げになった。教材充実や実験のための予算不足、など。

新たな試みが学生に好評であったことも多数述べられていた。研究所見学を導入した。小テストを毎回実施、成績をつけて返却し学生の評価を得た。実験のデモンストレーションを行い学生の興味を喚起できた。意識的に学生参加を促し、授業も学生参加型に改変しうまくいった。液晶プロジェクターを活用、系統的な講義進行に有効であった。試行的にグループ発表を試みたところ、好評だった。プリントのさらなる充実、宿題への模範解答の作成・配布を心がけた。学生の名前を覚える、宿題は評価して返却、優れた教科書の利用、アニメーションや資料の作成に努めた、など。

自由意見の傾向は、平成13年度報告書のもの（340人の意見について解析した。このうち約20%は、アンケートの改善案を提起するものであった。約10%は、このアンケートは参考になるので続けるようにという積極的支持であった。残りの大多数も様々な点で自分の授業を省みるもので、80%はこのアンケートを有効に活用している）と大きな変化はないと思われる。今回採録した教員の自由意見のなかでも、アンケートそのものに関するものが175件中54件と最も多かった。内訳は、アンケートの設問が全科目、全授業形態に一律であることによる設問の不適正、選択肢の不整合を指摘するもの（20件）、アンケート結果のまとめ方（フィードバックを早く、前回分が届いていない、半期毎の集計）など（10件）、不真面目・未熟な学生に評価されたくない（5件）、アンケート実施を第三者の手で（4件）、優れた授業を公開・見学できるように（3件）、評価結果へのとまどいや驚き（2件）などであった。内容は以下の平成13年度報告書に取り上げられているものと酷似していた。

平成13年度の報告書（21世紀の大いなる展開に向けて：平成13年度北海道大学年次報告書pp.72-75）には授業アンケートに対する意見が詳細に収録されており、それらの指摘する問題点や疑問への返答などが述べられている。問題点の解消になっていない面も少なくないが、いろいろな問題が考慮されていることはご理解頂けるとと思われる。ご参照願いたい。

授業アンケートに対する教員の自由意見（平成13年度報告書より）

- ・授業の速度については、授業に反映させるためには、遅いか速いかを聞くものにしてほしい。
- ・12回の授業をした。アンケートは8回以上の出席者に限定した。1、2回しか出ていない学生からの評価は無意味である。
- ・研究業績が公開されている一方で、教育に関する業績が公開されていないのはおかしい。
- ・「授業アンケート」は、教育におけるマーケット（学生）の情報を知るうえで極めて重要である。

- ・厳しく学生を評価する教官が不利になるようには、このアンケートを活用しないでほしい。
- ・担当教官がアンケートを回収するのは不適切である。
- ・メディアについては、黒板以下すべてのメディアを使用することが効果的な授業であるという誤解をまねく。
- ・教官が学生の立場にたって自分自身の授業を評価するという教官の自己評価アンケートは、意味がない。教官は、自分の授業についてプライドがあり、知的授業、学生にとって刺激のある授業をしているという自負があるのは当然である。
- ・授業で出席をとっていないので、最後の授業は普段出席しないものが、試験情報を知るためにのみ出ているものがある。こういった学生は授業評価できるのか疑問だ。
- ・無記名のアンケートは無責任な意見、評価をもたらす。とくに出席不良者において、一生懸命授業をやっているものにとって腹立たしい。アンケートを書く資格のある者に書いてもらうことにした。
- ・学生番号や氏名を書かせるべきである。
- ・フィードバックが遅く、改善に生かしくい。
- ・論理、基礎概念、演繹などの基本的な事柄をしっかりと教えているかどうかを問うようにしてほしい。
- ・画一的な項目で測定することにどれだけ意味があるか、疑問である。
- ・アンケートの結果を1年後にもらっても、改善にいかしくい。受け取った程度のことなら半年以内にまとめられるのではないか。
- ・これまで何度もいったが、アンケートの見直しをしてほしい。
- ・実施時期、設問、公表手段などアンケート自身に問題がありすぎる。
- ・全教官が参加できる形で基本的に考え直す必要がある。
- ・自由意見欄に、学生自身の授業への取り組みへの反省を書いてもらったかどうか。
- ・アンケートの質問をときどきかえてみたらどうか。
- ・出席率について出席を強制しているものかどうかについてデータがほしい。
- ・アンケートのプラス評価でやる気を高めていくべきである。
- ・メディア、作業量、授業の達成度についてなど、不適切な設問がある。
- ・もう少し具体的なアンケートとできないか。
- ・アンケートを全教官が実施するために義務化するべきである。
- ・学生の授業態度のアンケートが無いと、次にはパスする。
- ・このアンケートは、授業に対する学生の快・不快を知るもので、授業の成果を知るには不適切である。これにより教官の知的要求水準が低下することをおそれる。
- ・無記名アンケートだけに、無責任な回答が多い。
- ・項目が多い。
- ・公開授業が効果的である。
- ・どうでもよいと思っている学生をみつけるダミー的質問をいれてはどうか。
- ・講義や演習を同じアンケートとするのはおかしい。
- ・高い評価をえても、それが昇進、処遇で活かされないと意味がない。
- ・設問がパフォーマンスにかたよりすぎ。
- ・ランキングを示すものでないといいながら、何位かを示すのは矛盾である。

まとめと次回への分析の提案

今回の授業アンケート（平成13年度後期および平成14年度前期）では、以下のことを明らかにした。

- 1) 設問の総合点を解析すると、この3年間はほとんどが改善していたが、平成14年度取りまとめ分では、一部頭打ちあるいは低下傾向もみられた。しかし改善されたポイント数は低下したポイント数より遙かに大きかった。
- 2) 平成11年度および12年度取りまとめ分は前期分のみしか解析できなかった。昨年に続き、今回も1年分の科目についてデータが解析され、従前のものとの比較を行った。
- 3) 各設問に対する評点は部分的に頭打ちの傾向もあるが、全体的には年を追うごとに改善していた。
- 4) 評点を度数分布で表現し、その分布内での位置づけをわかるようにした。
- 5) 学生の自由意見から、これまでに見られなかったものを意識的に抽出し、平成13年度報告書のものに加えてまとめ、授業の性格を明らかにした。
- 6) 教員の自由意見を広く検討し、授業に関わる主たる問題点、授業改善および授業アンケートに対する提言や要望をカテゴリー別に取りまとめた。

昨年度と同様、本年度も1年分の授業のデータが得られた。通年のデータが2回分得られたことになる。しかし、一方で、アンケートの方式そのものの内包する問題点を指摘する学生および教員の自由意見は依然として多い。この点に関しては、本報告書の教員の自由意見の項を参照されるとともに、平成13年度報告書の教員の自由意見の項に述べられている関係意見に対する説明も併読していただきたい。

平成11年度より、教員が学生の立場にたって自分自身の授業について認識を問うことと、各設問に関わる学生と教員の認識を比較する目的で実施してきた「教官自己評価アンケート」を平成14年度前期（平成14年度報告書該当期間）で廃止することにした。学生による評価と教官自己評価との比較では、両者におおきなずれがなく、学生は授業をむしろ肯定的に捉えていることが明らかにされている。このような傾向については、年度による変化が顕著でないことから、本アンケートの所期の目的が達成されたものと判断された。

授業アンケートを次年度も同様にすると、1年度分をまとめて、年度ごとの変化を解析できる。一方、これまでのものを中断して、別のアンケートを実施することも考えられるが、この際、同様のアンケートを再開して1年分のデータを得るには2年が必要である。とはいえ現行授業アンケートが全授業形態、全授業科目共通の設問ならびに共通の回答選択肢であることの是非などが、本格的に議論されないままに同一形態で継続することには、問題が残る。さらに、教員への調査結果のフィードバックが1年分を合わせた解析のものとする場合、平成12年後期および13年前期分では、アンケートを実施してから6ヶ月あるいは1年後となってしまった。フィードバックまでの期間の短縮は強く望まれており13年後期分と14年前期分については、データ処理の効率化により平成14年12月に両者を合わせた解析結果をフィードバックすることができた。半期ごとの集計についてもまだ検討の余地は残されているであろう。

以上をふまえて、次年度の活動案を述べる。

- 1) アンケートの内容は、基本的には、今回と同様の内容として、1年分（平成14年度後期分と平成15年度前期分）を集計し、比較する。

ただし、「教官自己評価アンケート」は行わない。平成14年度後期分については、これまでの調査用紙を用いた「授業アンケート」と併せて、「授業実態（教官）アンケート」を実施した。「授業実態（教官）アンケート」の目的は、本学においてどのような授業法が採用されているかを明らかにするためのものである。調査結果は、個人名を消去したうえで統計的に処理し、アンケート調査票に記載してある授業の形態、受講登録学生数などの区分による集計分析を行い、学生による授業評価の統計値とともに公表を予定している。これは、授業の改善に役立つ指針を得るために行われるもので、教員個人の授業内容を評価するためのものではない。従来通り次年度の授業アンケートの集計・解析の結果については、各教員にフィードバックされるとともに、平成15年度の年次報告書にとりまとめる予定である。

「授業実態（教官）アンケート」の設問・回答の選択肢は以下のようなものである。

設問1 授業の中で学生の発言を促すための工夫をしていますか。

- (1)はい (2)いいえ（該当する番号に○印を付けてください。）

設問2 設問1で「はい」と答えた方に

- ・・・どのような形で発言を促していますか。主として採用している方法を以下から2つ以内選んで該当する番号に○印を付けてください。

- (1)講義中に頻繁に学生に質問する (2)講義中あるいは講義後の討論に力を入れる
(3)学生によるプレゼンテーション (4)小グループ討論、ディベート (5)その他

設問3 宿題を与えていますか。

- (1)はい (2)いいえ（該当する番号に○印を付けてください。）

設問4 設問3で「はい」と答えた方に

- ・・・どのような宿題を課していますか。主なものを以下から1つ選んで該当する番号に○印を付けてください。

- (1)レポート（学生に返却している場合） (2)レポート（学生に返却していない場合）
(3)読書指定 (4)演習問題 (5)その他

設問5 設問3で「はい」と答えた方に

- ・・・宿題を何回課していますか。（該当する番号に○印を付けてください。）

- (1)1, 2回 (2)数回 (3)毎回

設問6 試験は行っていますか。

- (1)はい (2)いいえ（該当する番号に○印を付けてください。）

設問7 設問6で「はい」と答えた方に

- ・・・学期のうちに何回行っていますか。（該当する番号に○印を付けてください。）

- (1)1回 (2)2回以上

設問8 どのような方法で成績を評価していますか。

- 比重の重いものを以下から2つ以内選んで該当する番号に○印を付けてください。

(1)期末試験 (2)レポート (3)頻回の小試験 (4)頻回のミニレポート (5)その他

本アンケートは、平成14年度後期のみの実施であり、学生による授業アンケートとのクロス集計・分析は予定していないが、授業実態（様式・方法など）と授業効果は密接な関係にあることから、アンケート結果は慎重に解析し、今後の授業評価のあり方を検討する上での貴重な基礎資料とさせていただく。

2) 平成13年度の報告書では(1)授業アンケートの改善：例えば設問は同様の趣旨であれば表現をより適当なものに改める（教育媒体の使われ方や授業で要求される作業量の判断基準を明確にすることなど）。(2)この標準アンケート以外のアンケートがあれば検討する、あるいは実施する。(3)速いフィードバックを可能にするための集計方法について検討する。(4)公表の仕方やランキングについてさらに検討する、ことなどが課題として示されている。しかし、それらの多くはまだ議論が尽くされているとは言い難いことから、検討の継続を要する。

これらに関連した状況説明を以下に補足する。

○(1)、(2)に関連して、アンケート方式による本学の授業評価について、教員の自由意見には、問題点が検討あるいは解消されないまま、マンネリ化してきているとの指摘も少なくない。問題点として、最も多くの教員が指摘していることは、授業アンケートのフォーマットが、全授業について一律の設問および回答の選択肢によるという点である。授業アンケートの設問が単純で客観的な判断を下しやすいものであることは当然として、アンケート結果の解析をするための母集団があまりにもヘテロである（講義や演習などの授業形態の違い、受講生数の多寡、語学や専門基礎科目、狭い範囲の専門科目などの科目特性の違いが著しい）場合には、評価の厳密性、公正さや結果の利用価値が損なわれる恐れがある。授業形態の著しく異なるものの比較に内在する問題点の部分的解消、授業科目に特有な評価基準を加味することや専門領域に特有の教育目標に関わる評価などを可能にするためには、現行の全学一律方式だけでなく、授業科目や授業方式を異にするグループごとあるいは部局ごとに、異なる設問のアンケート調査を行うことの是非や、設問および回答選択肢の再検討を行うことが緊要と思われる。いくつかの大学では、授業アンケートの結果を公表したりインセンティブを与える試みもなされている。授業評価を早くから実施してきた本学としては、その経験を活かして本学の実状にあった公表方法や活用法を探るとともに、より多くの教員が納得する評価方法、評価項目などを検討しなければならないであろう。

○(3)に関して、本年度のアンケート結果の教員に対するフィードバックが前年度より2ヶ月以上短縮されたとはいえ、次期平成14年度後期、平成15年度前期授業アンケートの結果を1年分あわせて集計・分析を行おうとすれば、これ以上に教員へのフィードバックを早めることは極めて困難である。授業アンケートの結果を次の授業に反映させたい教員からの、1日も早いフィードバックを望む声は根強いものがある。前期、後期に分けて半年毎の集計・解析にすれば、アンケート実施後3ヶ月以内にフィードバックを行うことが可能となる。しかし、その場合は、同一母集団に含まれてしかるべきものが前、後期の2つに分けられることになる。また、年次報告で1年分の集計・解析結果をまとめようとすれば、時間と経費の増加を免れ

ないことになる。

- 学生の授業アンケートによる授業評価についても公表に足る結果の集計や解析，大方の納得するランキングや授業評価結果の活用には，永続性のあるデータの集積を図る一方で，外的な変化に対応できる融通性も備えていなければならない。また，アンケートの設計やその解析などには高度の専門性も要求される。国立大学が法人化されれば，法人化された大学における点検評価の中での学生による授業評価の位置づけ（教育業績評価資料としての利用など），中期目標との関わりなど，新たな問題も生じてくることが予想される。早急に検討が必要であろう。これらのことを考慮すると，各年度かぎりでの点検評価委員会（教員業績評価専門委員会）では，十分に対応しきれない部分もあるので，教育評価法の研究も行う「高等教育機能開発総合センター・高等教育開発研究部」との連携の可能性を探ることも必要であろう。学生による授業評価が，授業の質的向上と学生の勉学意欲の増進に資するものとするためにも，より多くの教員が納得し，積極的に参加できるものとする必要があるからである。
- 最後に，今回の自由意見解析の過程で新たな課題とすべきであると思われたことを追加する。本アンケートで得られる解析結果は，フィードバックされて各教員の授業改善に役立てられるだけでなく，自由意見などに指摘されている授業環境の改善と相俟って，授業の改善と教育効果の向上，学生の勉学意欲の増進にも役立つものである。これまで，学生や教員の自由意見のなかに記述されていた授業環境の改善に関する要望や提言が十分に活かされてこなかったくらいがある。教員，学生ともこの授業アンケートが授業環境の改善にも役立つものと期待していることから，この種の自由意見の活用についても，前向きな検討を要するであろう。

関連文献

- ・平成11年度北海道大学年次報告書「来るべき新世紀に向けて」北大の新たな展開のために，第Ⅰ部 教員の総合的業績評価について，第2章 学生による「授業アンケート」について，pp. 31 - 80（2000年3月）
- ・平成12年度北海道大学年次報告書「21世紀の大いなる展開に向けて」研究主導型大学としての展開を求めて，第Ⅰ部 教員の総合的業績評価について，第2章 学生による「授業アンケート」について，pp. 31 - 79（2001年3月）
- ・平成13年度北海道大学年次報告書「21世紀の大いなる展開に向けて」研究主導型大学としての展開を求めて，第Ⅰ部 教員の総合的業績評価について，第2章 学生による「授業アンケート」について，pp. 31 - 90（2002年3月）

I 分析のための全体集計：平成14年度（平成13年度後期及び平成14年度前期実施分）

1 「シラバスとその内容」について

			全体 平均	全学 教育 平均	各学部ごとの専門教育の平均														専門 教育 平均	言語 文化部 平均
					文	教育	法	経済	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産				
1 シラバスは、授業の目標、内容、評価方法を 明快に示していた。	5	20.06	19.18	35.17	22.87	33.15	25.70	18.72	14.20	27.35	15.47	16.35	21.31	28.71	20.15	20.45	22.82			
	4	36.59	36.88	42.66	42.83	39.91	38.20	34.18	34.95	37.94	37.52	34.39	35.56	31.33	41.29	36.46	39.47			
	3	39.09	37.94	19.61	32.94	24.60	31.60	44.04	44.13	31.74	45.19	45.45	40.47	38.65	35.86	39.60	33.91			
	2	3.16	4.42	2.44	1.37	1.54	3.37	2.26	5.03	2.06	1.34	2.82	2.08	0.56	2.03	2.61	2.78			
	1	1.09	1.59	0.12	0.00	0.80	1.12	0.80	1.69	0.90	0.49	0.99	0.58	0.75	0.68	0.88	1.02			
	無回答	1.03	0.76	0.62	1.01	0.91	0.97	3.06	0.52	0.77	1.32	0.92	1.44	1.11	0.50	1.14	0.83			
	平均値	3.71	3.68	4.10	3.87	4.03	3.84	3.68	3.55	3.89	3.66	3.62	3.75	3.87	3.78	3.73	3.80			
2 授業は体系的に行われていた。	5	30.24	27.83	38.57	36.15	50.03	37.19	33.81	21.00	38.59	31.97	26.23	34.60	49.72	28.03	31.30	36.44			
	4	39.25	39.57	40.81	40.71	34.21	41.50	40.03	34.61	33.59	39.45	39.77	39.38	30.06	41.76	39.10	42.26			
	3	23.94	24.97	16.52	20.61	11.79	16.30	22.10	30.08	23.08	22.80	27.09	21.24	16.88	25.16	23.48	17.69			
	2	5.11	5.79	3.66	2.53	3.18	3.62	3.25	10.88	2.69	4.70	5.18	4.02	2.78	4.21	4.81	2.96			
	1	1.47	1.85	0.43	0.00	0.79	1.39	0.82	3.43	2.05	1.09	1.74	0.75	0.56	0.85	1.31	0.65			
	無回答	0.17	0.23	0.06	0.00	0.24	0.14	0.09	0.06	0.13	0.36	0.22	0.07	0.00	0.07	0.14	0.41			
	平均値	3.92	3.86	4.13	4.10	4.30	4.09	4.03	3.59	4.04	3.97	3.84	4.03	4.26	3.92	3.94	4.11			
設問1、2の合計	5	25.17	23.51	36.87	29.54	41.62	31.47	26.38	17.61	32.99	23.76	21.30	28.00	39.27	24.10	25.90	29.65			
	4	37.92	38.23	41.73	41.77	37.05	39.86	37.15	34.78	35.76	38.48	37.09	37.48	30.69	41.52	37.79	40.87			
	3	31.48	31.44	18.06	26.74	18.17	23.92	32.90	37.08	27.40	33.94	36.24	30.79	27.71	30.50	31.50	25.78			
	2	4.14	5.11	3.05	1.95	2.36	3.50	2.76	7.96	2.38	3.03	4.90	3.06	1.68	3.12	3.71	2.87			
	1	1.28	1.72	0.28	0.00	0.80	1.26	0.81	2.57	1.48	0.79	1.37	0.67	0.65	0.76	1.09	0.83			
	無回答	0.60	0.50	0.34	0.51	0.58	0.56	1.58	0.29	0.45	0.84	0.57	0.75	0.66	0.28	0.64	0.62			
	平均値	3.82	3.77	4.12	3.99	4.16	3.97	3.86	3.57	3.96	3.81	3.73	3.89	4.06	3.85	3.84	3.96			

2 「教官の授業法」について

		全体 平均	全学 教育 平均	各学部ごとの専門教育の平均																専門 教育 平均	言語 文化 科目 平均	講義 科目 平均	演習 科目 平均	必修 科目 平均	選択 科目 平均	ク ラ ス サ イ ズ (人)					アンケート提出率 (%)				
				文	教育	法	経済	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産	25 以下	26 ～50	51 ～100	101 ～200							201 以上	20 以下	21 ～40	41 ～60	61 ～80	81 ～100				
3 教官の熱意が 伝わってきた。	5	35.57	35.86	47.76	31.69	53.91	45.34	35.45	25.22	41.54	34.62	28.94	39.50	47.68	32.31	35.45	40.40	44.85	45.16	34.36	36.83	46.37	38.16	41.38	36.00	41.36	32.57	38.10	33.91	32.39	38.25				
	4	35.68	34.36	37.13	34.46	31.56	31.29	38.11	38.44	31.28	34.74	36.44	35.33	32.65	39.42	36.26	35.77	36.02	31.16	34.21	37.28	34.27	35.84	36.07	35.69	33.42	36.90	33.66	35.08	37.20	35.11				
	3	21.95	21.81	13.06	10.96	12.15	15.99	22.37	27.49	22.33	25.60	25.44	19.91	17.44	23.07	22.01	15.24	22.30	17.21	23.19	20.62	15.77	20.73	24.46	20.95	18.27	23.16	21.07	23.16	23.10	20.76				
	2	5.16	5.95	1.95	2.83	1.95	5.70	3.43	7.63	3.33	3.61	6.67	4.35	1.86	3.90	4.82	2.85	5.23	4.27	5.93	4.32	2.66	4.22	6.07	5.65	4.60	6.36	5.71	5.86	5.53	4.49				
	1	1.64	2.04	0.30	0.34	0.43	1.67	0.64	1.22	1.54	1.44	2.51	0.90	0.37	1.24	1.47	0.74	1.60	2.19	2.28	0.95	0.93	1.05	2.03	1.71	2.35	1.02	1.45	1.98	1.87	1.39				
	無回答	0.09	0.06	0.19	0.00	0.18	0.00	0.09	0.17	0.13	0.00	0.09	0.11	0.00	0.07	0.10	0.09	0.09	0.08	0.08	0.09	0.04	0.10	0.08	0.11	0.09	0.00	0.18	0.13	0.05	0.09				
	平均値	3.98	3.90	4.30	4.35	4.37	4.13	4.04	3.79	4.08	3.97	3.83	4.08	4.25	3.98	3.99	4.22	3.97	4.13	3.90	4.65	4.23	4.06	3.89	3.99	4.07	3.94	4.01	3.93	3.93	4.04				
	5	31.27	31.17	43.35	35.87	42.92	41.78	33.04	24.50	35.51	25.98	26.70	33.96	42.86	28.99	31.32	43.18	30.41	42.77	30.02	32.54	46.77	35.21	27.72	26.92	31.36	22.90	28.54	28.05	29.27	34.71				
4 教官の話し方 は聞き取りやす かった。	4	32.37	31.49	34.91	29.10	31.50	27.99	33.09	34.24	25.90	34.01	31.48	33.24	29.87	36.18	32.60	33.78	32.62	28.86	31.31	33.54	32.10	32.02	32.21	32.92	33.84	29.52	32.69	31.89	32.12	32.77				
	3	23.71	23.11	16.92	22.17	17.34	17.13	23.34	30.52	23.33	26.80	26.56	23.07	17.81	24.61	23.98	16.18	24.02	19.55	24.43	22.94	16.09	22.08	25.32	25.99	22.74	29.01	24.59	25.79	24.87	21.73				
	2	9.46	10.33	5.22	11.51	6.72	9.19	8.70	7.97	11.79	10.58	10.87	7.53	7.24	7.58	9.09	5.44	9.72	6.14	10.17	8.73	3.91	8.29	10.65	10.50	8.57	14.25	10.41	10.49	10.07	8.34				
	1	3.19	3.50	1.37	1.35	1.53	3.90	1.83	2.73	3.46	2.64	4.39	2.19	2.23	2.62	3.02	1.43	3.22	2.69	4.07	2.26	1.13	2.38	3.83	3.66	3.47	4.33	3.77	3.79	3.67	2.45				
	無回答	0.13	0.15	0.06	0.17	0.18	0.14	0.14	0.00	0.13	0.00	0.18	0.07	0.00	0.11	0.12	0.18	0.12	0.23	0.14	0.12	0.04	0.14	0.12	0.17	0.11	0.00	0.35	0.14	0.10	0.11				
	平均値	3.79	3.77	4.13	3.87	4.08	3.95	3.87	3.70	3.78	3.70	3.65	3.89	4.04	3.81	3.80	4.12	3.77	4.03	3.73	3.85	4.19	3.89	3.69	3.69	3.81	3.52	3.72	3.70	3.73	3.99				
	5	19.05	18.33	26.55	21.45	32.62	27.68	20.31	16.74	26.63	10.94	14.55	22.48	28.01	17.91	19.36	26.50	18.63	25.89	17.89	20.25	28.56	21.77	15.95	16.69	23.89	17.81	17.81	17.16	17.43	21.25				
	4	31.67	30.21	38.62	33.61	37.39	32.68	30.19	33.49	30.69	29.81	28.88	34.03	37.48	35.88	32.70	37.42	31.58	32.82	30.55	32.91	35.86	33.19	29.97	31.32	33.02	31.30	31.32	30.86	31.41	32.26				
5 授業は、難解 な概念、理論が あっても、わか りやすかった。	3	32.45	32.00	26.49	31.93	21.08	28.37	34.03	37.21	29.96	44.47	35.23	31.65	25.79	32.09	32.65	28.20	32.79	27.78	33.14	31.71	26.74	30.99	34.53	32.78	29.58	25.95	32.53	32.68	33.33	31.81				
	2	12.70	14.13	7.21	11.49	7.64	8.48	11.85	10.70	10.12	11.78	15.82	10.18	7.42	10.23	12.07	6.82	12.93	9.73	13.44	11.84	7.54	11.11	14.32	14.48	9.88	18.32	13.62	14.12	13.14	11.29				
	1	4.14	5.32	1.12	1.52	1.28	2.78	3.61	1.86	3.20	3.00	5.52	1.65	1.30	3.89	3.62	1.06	4.16	3.79	4.98	3.24	1.29	2.94	5.23	4.73	3.61	6.62	4.72	5.19	4.39	3.38				
	無回答	0.13	0.16	0.19	0.00	0.24	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00	0.18	0.18	0.00	0.07	0.13	0.18	0.13	0.15	0.14	0.13	0.08	0.14	0.12	0.15	0.23	0.00	0.18	0.13	0.16	0.12				
	平均値	3.49	3.42	3.82	3.62	3.92	3.74	3.52	3.53	3.67	3.34	3.31	3.66	3.83	3.54	3.82	3.81	3.47	3.67	3.44	3.65	3.83	3.60	3.37	3.41	3.64	3.35	3.44	3.41	3.44	3.57				
	5	28.65	28.43	39.23	36.34	43.13	38.27	29.60	22.16	34.56	23.84	23.40	31.98	38.32	26.40	28.71	38.36	27.93	37.94	27.43	29.88	40.57	31.72	25.02	25.54	32.21	24.43	28.15	26.37	26.33	31.40				
	4	33.24	32.14	36.89	32.39	33.48	30.66	33.80	35.39	29.09	32.85	32.27	34.70	33.33	37.16	33.72	35.66	33.41	30.95	32.02	34.58	34.08	33.68	32.77	33.31	33.43	32.67	32.56	32.61	33.58	33.38				
	3	26.03	25.64	18.82	21.69	16.85	20.50	26.58	31.74	25.29	32.29	29.08	24.88	20.35	26.60	26.21	19.87	26.37	21.51	26.92	26.09	19.83	24.80	28.10	28.57	23.33	28.04	28.06	27.21	27.10	24.77				
設問3、4、5 の合計	2	9.11	10.13	4.96	8.51	5.43	7.79	7.99	8.76	8.42	8.63	11.12	7.36	5.50	7.25	8.66	5.91	9.29	6.17	9.85	8.31	4.70	7.87	10.41	10.21	7.69	12.98	9.91	10.15	9.68	8.04				
	1	2.99	3.43	0.99	1.07	1.08	2.78	2.99	1.91	2.73	2.36	4.11	1.38	1.30	2.58	2.70	1.07	3.00	2.89	7.88	8.15	1.12	1.22	1.70	3.70	3.14	1.4	3.99	3.31	3.65	3.31	2.41			
	無回答	0.12	0.12	0.14	0.06	0.20	0.93	0.11	0.06	0.09	0.00	0.15	0.12	0.00	0.08	0.12	0.15	0.11	0.15	0.12	0.11	0.05	0.12	0.11	0.15	0.15	0.00	0.24	0.13	0.10	0.10				
	平均値	3.75	3.72	4.08	3.94	4.12	3.94	3.81	3.67	3.84	3.67	3.60	3.88	4.04	3.78	3.77	4.05	3.74	3.94	3.69	3.82	4.08	3.85	3.65	3.69	3.84	3.40	3.72	3.68	3.70	3.84				

4「作業量・負担」について

		全体 平均	全学 教育 平均	各学部ごとの専門教育の平均														専門 教育 平均	言語 文化語 平均	講義 科目 平均	演習 科目 平均	必修 科目 平均	選択 科目 平均	ク ラ ス サ イ ズ (人)					アンケート提出率 (%)				
				文	教育	法	経済	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産	25 以下	26 ～50							51 ～100	101 ～200	201 以上	20 以下	21 ～40	41 ～60	61 ～80	81 ～100		
				平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均
10 授業の進行速度は適切であった。	5	23.11	25.76	30.68	24.83	28.61	26.98	21.34	19.03	29.71	13.94	18.54	24.67	30.06	21.18	21.95	33.46	22.15	35.94	22.06	24.24	36.47	23.95	20.09	19.86	25.35	19.08	19.32	21.37	21.73	25.55		
	4	35.32	35.59	41.43	39.36	38.20	35.19	35.39	31.25	32.78	31.01	33.70	37.36	32.84	36.42	35.21	34.65	35.69	30.31	33.45	37.31	34.53	35.59	34.94	35.55	37.23	30.79	34.87	35.13	35.90	35.16		
	3	31.32	28.13	23.23	28.99	25.31	27.96	31.95	43.02	30.09	41.69	34.71	30.92	25.23	33.33	32.72	33.27	31.82	24.82	32.64	39.01	23.88	28.60	33.36	33.37	27.84	31.30	35.30	32.05	32.30	29.63		
	2	8.00	8.16	4.10	6.08	6.42	6.54	9.62	5.53	1.74	11.20	9.99	5.79	8.72	6.80	7.93	7.24	8.11	6.58	9.08	6.85	4.44	7.11	9.10	8.62	6.60	12.47	8.13	8.92	7.63	7.79		
	1	2.24	2.36	0.56	0.84	1.47	3.34	1.69	1.16	2.69	2.16	3.06	1.26	3.15	2.27	2.19	1.38	2.23	2.35	2.86	1.59	0.69	1.74	2.60	2.60	2.98	6.36	2.38	2.53	2.44	1.87		
	無回答	0.17	0.14	0.06	0.00	0.30	0.00	0.18	0.12	0.00	0.00	0.27	0.14	0.00	0.18	0.18	0.18	0.17	0.11	0.16	0.17	0.08	0.18	0.16	0.15	0.27	0.00	0.28	0.21	0.14	0.15		
	平均値	3.69	3.74	3.98	3.81	3.86	3.76	3.63	3.61	3.82	3.43	3.55	3.78	3.78	3.67	3.67	3.92	3.67	3.91	3.63	3.76	4.02	3.77	3.61	3.61	3.75	3.44	3.61	3.64	3.67	3.75		
11 授業で要求される作業量(レポート、宿題、自習など)は適切であった。	5	23.14	26.11	33.06	27.63	25.45	21.96	24.35	15.53	26.67	15.28	19.29	23.76	33.52	19.23	21.83	31.29	22.51	31.58	21.62	24.74	33.44	25.58	20.78	20.28	24.03	19.64	18.10	21.05	22.45	25.32		
	4	31.77	32.40	34.63	38.31	28.35	31.89	32.77	25.22	29.23	50.45	32.39	31.18	26.83	31.14	31.49	36.54	31.92	29.69	30.72	32.88	33.44	32.42	31.39	31.47	30.19	26.87	28.32	31.32	31.83	32.61		
	3	36.99	33.00	29.50	30.17	41.75	35.80	34.78	51.66	36.79	47.82	37.48	39.91	34.82	42.15	38.74	24.88	37.78	26.51	38.13	35.78	27.58	34.69	39.03	40.20	35.99	43.15	44.47	39.36	36.96	34.66		
	2	6.01	6.19	2.25	3.56	3.71	7.97	6.64	5.86	4.74	5.66	7.71	3.82	4.47	5.77	5.94	5.62	5.81	8.75	6.82	5.17	4.26	5.53	6.54	5.76	6.84	7.49	6.49	6.28	6.40	5.51		
	1	2.09	2.30	0.56	0.34	0.74	2.38	1.36	1.93	2.56	0.72	3.13	1.33	0.66	1.70	2.00	1.66	1.99	3.48	2.70	1.45	1.29	1.76	2.26	2.29	2.95	2.84	2.32	1.99	2.36	1.88		
	無回答	0.35	0.28	0.68	0.34	1.34	0.66	0.14	0.41	0.13	0.12	0.27	0.39	0.37	0.18	0.38	0.18	0.36	0.19	0.30	0.41	0.32	0.30	0.29	0.37	0.59	1.53	0.71	0.43	0.34	0.24		
	平均値	3.68	3.74	3.97	3.89	3.74	3.63	3.72	3.47	3.73	3.54	3.57	3.72	3.88	3.60	3.65	3.90	3.67	3.77	3.62	3.74	3.93	3.74	3.62	3.62	3.66	3.53	3.64	3.63	3.66	3.74		
12 授業の合計	5	23.13	25.51	31.87	25.23	27.04	24.18	22.80	17.28	28.19	14.61	18.91	24.21	31.78	20.21	25.90	32.27	22.33	33.76	21.84	24.49	34.96	25.76	20.39	20.07	24.69	19.36	18.86	21.21	22.09	25.44		
	4	33.55	38.23	38.04	38.83	33.30	33.54	24.08	28.24	31.01	30.73	33.05	34.28	29.74	33.78	35.60	33.89	30.00	32.09	35.09	33.99	34.01	33.16	33.52	33.72	28.85	31.60	33.23	33.87	33.89			
	3	34.15	31.44	26.36	29.53	33.49	31.87	33.37	47.35	33.44	44.74	36.10	35.41	30.02	37.74	31.50	24.08	34.80	25.66	35.34	32.89	25.73	32.14	36.19	36.78	31.91	37.18	39.88	35.70	34.63	32.16		
	2	7.01	5.11	1.18	4.82	5.07	7.25	8.13	5.60	4.74	8.48	8.85	4.81	6.60	6.29	3.71	6.43	6.95	7.66	7.95	6.01	4.34	6.33	7.82	7.19	6.72	10.90	7.31	7.60	7.01	6.65		
	1	2.17	1.72	0.56	0.99	1.11	2.86	1.83	1.54	2.63	1.44	3.09	1.30	1.86	1.98	1.09	1.52	2.11	2.91	2.78	1.52	0.99	1.75	2.43	2.44	2.96	4.62	2.35	2.26	2.40	1.87		
	無回答	0.26	0.50	0.37	0.17	0.82	0.28	0.16	0.26	0.06	0.06	0.27	0.27	0.19	0.18	0.64	0.18	0.27	0.15	0.23	0.29	0.20	0.24	0.23	0.36	0.43	7.89	0.50	0.32	0.24	0.20		
	平均値	3.68	3.77	3.97	3.85	3.80	3.70	3.68	3.54	3.77	3.49	3.56	3.75	3.83	3.64	3.84	3.91	3.67	3.84	3.62	3.75	3.98	3.76	3.61	3.62	3.70	3.48	3.57	3.64	3.66	3.74		

「授業についての総体」

		全体 平均	全学 教育 平均	各学部ごとの専門教育の平均														専門 教育 平均	言語 文化語 平均	講義 科目 平均	演習 科目 平均	必修 科目 平均	選択 科目 平均	ク ラ ス サ イ ズ (人)					アンケート提出率 (%)				
				文	教育	法	経済	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産	25 以下	26 ～50							51 ～100	101 ～200	201 以上	20 以下	21 ～40	41 ～60	61 ～80	81 ～100		
				平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均						
設問3、4、5、 7、10、11の合計	5	26.94	25.94	34.70	31.33	35.87	31.04	26.27	19.80	32.44	19.72	21.31	28.92	37.17	24.05	21.89	34.33	25.26	35.05	24.54	27.41	37.03	28.71	22.75	23.36	30.08	23.17	23.78	24.09	24.40	28.23		
	4	33.04	34.00	36.67	34.69	32.77	31.43	33.50	32.78	30.15	34.38	32.21	34.57	34.28	36.90	33.35	35.05	33.24	30.41	31.77	34.43	33.73	33.58	32.54	33.26	32.94	30.78	31.98	32.56	33.42	33.20		
	3	29.65	30.36	23.23	25.44	24.25	26.44	29.97	37.85	27.42	37.17	32.28	28.74	23.46	30.62	35.73	33.43	30.04	24.47	30.78	28.44	23.17	28.11	31.68	30.88	26.24	30.27	31.61	30.70	30.25	28.40		
	2	8.59	7.17	4.57	7.61	5.81	8.15	8.26	7.72	7.07	8.72	10.40	6.31	6.00	7.00	6.93	5.97	8.70	7.11	9.38	7.74	4.87	7.53	9.72	9.41	7.52	11.65	9.37	9.30	8.85	7.86		
	1	2.78	2.33	0.83	0.93	1.30	2.95	1.90	1.86	2.93	2.00	3.80	1.45	1.49	2.42	2.10	1.43	2.76	3.02	3.53	1.98	1.20	2.08	3.31	3.09	3.22	4.21	3.06	3.29	3.08	2.30		
	無回答 平均値	0.18	0.21	0.24	0.08	0.43	0.14	0.11	0.12	0.06	0.04	0.21	0.16	0.09	0.12	0.28	0.17	0.18	0.18	0.17	0.19	0.11	0.17	0.16	0.22	0.23	0.25	0.33	0.21	0.15	0.17		
平均値	7.71	7.74	7.00	7.88	6.66	7.19	7.74	7.61	7.82	7.59	7.57	8.83	7.98	7.23	7.66	7.95	7.70	7.87	7.64	7.78	7.43	7.01	7.29	7.67	7.64	7.79	7.57	7.64	7.65	7.67	7.25		

第2章 学生による「授業アンケート」について

7-1 「学生満足度・達成度」について

			全体 平均	全学 教育 平均	各学部ごとの専門教育の平均													専門 教育 平均	言語 文化部 平均	講義 科目 平均	演習 科目 平均	必修 科目 平均	選択 科目 平均
					文	教育	法	経済	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産							
6 授業により知的に刺激された。	5	23.68	23.63	33.73	29.27	44.28	28.83	24.46	18.80	29.32	17.79	17.04	26.76	38.96	21.47	23.71	24.84	22.62	37.84	20.70	26.79		
	4	33.74	32.70	37.09	34.52	32.78	32.73	35.39	39.29	31.50	36.90	31.63	35.94	37.29	34.89	34.19	36.18	33.86	32.05	32.63	34.98		
	3	30.39	29.36	22.65	28.43	18.17	27.72	31.18	32.60	28.68	34.25	36.25	28.09	17.07	31.63	30.84	29.12	31.00	22.32	32.64	28.04		
	2	9.03	10.07	5.35	6.60	4.16	7.38	7.04	7.22	8.07	8.53	11.31	7.41	4.82	8.57	8.58	7.14	9.32	5.22	9.92	8.08		
	1	3.16	4.25	1.18	1.18	0.61	3.34	1.92	2.10	2.43	2.52	3.76	1.80	1.86	3.44	2.68	2.72	3.20	2.57	4.12	2.11		
	無回答	0.16	0.15	0.25	0.17	0.37	0.14	0.05	0.12	0.00	0.00	0.21	0.18	0.00	0.18	0.17	0.18	0.17	0.11	0.17	0.16		
	平均値	3.66	3.61	3.97	3.84	4.16	3.76	3.73	3.65	3.77	3.59	3.47	3.78	4.07	3.62	3.68	3.73	3.63	3.97	3.56	3.76		
13 授業の履修目標を達成できた。	5	12.87	12.30	15.31	13.85	20.50	15.20	13.62	10.66	19.26	6.39	10.90	16.21	21.56	11.70	13.11	14.67	12.28	20.69	12.28	13.47		
	4	31.57	31.79	38.58	37.50	37.94	30.13	32.61	26.81	34.15	27.62	28.69	33.07	35.13	32.06	31.48	37.43	31.26	35.58	29.52	33.77		
	3	43.93	43.44	37.21	40.20	33.72	42.68	42.94	50.29	37.87	53.20	47.59	41.14	34.76	45.18	44.14	38.16	44.59	35.35	45.19	42.59		
	2	9.24	9.56	7.78	7.77	7.04	9.90	9.27	10.49	6.16	10.62	9.93	8.25	7.25	8.19	9.10	8.03	9.43	6.59	9.91	8.52		
	1	2.40	2.90	1.12	0.68	0.80	2.09	1.56	1.75	2.57	2.17	2.89	1.33	1.30	2.87	2.17	1.71	2.44	1.78	3.11	1.64		
	無回答	0.34	0.37	0.25	0.00	0.43	0.28	0.37	0.23	0.26	0.36	0.34	0.32	0.19	0.28	0.32	0.32	0.34	0.26	0.34	0.33		
	平均値	3.43	3.41	3.59	3.56	3.70	3.46	3.47	3.34	3.61	3.25	3.35	3.55	3.68	3.42	3.44	3.55	3.41	3.67	3.38	3.49		
14 授業内容が他領域と幅広く関連することを理解できた。	5	20.08	17.41	22.76	26.52	30.38	24.76	20.29	17.74	27.03	20.12	16.92	26.66	42.75	19.47	21.25	13.06	19.47	28.23	18.66	21.57		
	4	34.76	30.77	37.44	39.70	37.22	33.99	38.11	38.16	36.16	39.28	34.35	38.51	38.66	36.96	36.51	27.96	34.83	33.88	33.19	36.51		
	3	33.63	35.78	30.29	26.35	27.02	31.89	32.57	35.01	29.34	33.98	36.92	27.63	15.99	33.56	32.69	43.05	33.98	29.06	35.07	32.10		
	2	9.16	12.59	8.02	6.42	4.83	7.55	7.79	7.23	5.28	5.06	9.40	5.62	2.23	7.59	7.65	13.38	9.34	6.67	10.07	8.13		
	1	2.37	3.45	1.49	1.01	0.55	1.82	1.24	1.87	2.19	1.57	2.41	1.59	0.37	2.41	1.90	2.54	2.39	2.16	3.01	1.69		
	無回答	0.30	0.30	0.19	0.00	0.30	0.56	0.23	0.35	0.51	0.24	0.32	0.32	0.19	0.32	0.30	0.32	0.30	0.26	0.34	0.26		
	平均値	3.61	3.46	3.72	3.84	3.92	3.72	3.68	3.63	3.81	3.71	3.54	3.83	4.21	3.63	3.68	3.36	3.60	3.79	3.54	3.68		
15 授業により、新しい知識、考え方、技能を習得でき、さらに深く勉強したくなった。	5	20.56	20.25	26.70	27.36	35.33	25.80	21.89	17.38	25.16	19.42	14.99	24.21	33.21	19.06	20.69	20.41	19.74	31.50	17.97	23.26		
	4	33.98	32.85	36.53	35.81	37.47	35.43	34.60	36.50	35.43	35.46	31.76	35.81	41.74	34.05	34.47	34.50	33.84	35.67	33.10	34.96		
	3	33.64	32.39	27.50	28.21	22.49	29.57	33.87	38.66	29.65	35.22	39.86	30.55	18.55	34.73	34.19	33.44	34.27	25.40	35.38	31.82		
	2	8.55	10.03	8.15	7.43	3.61	6.69	7.57	5.66	6.29	7.96	9.63	7.42	5.19	8.47	7.89	8.52	8.83	4.81	9.30	7.75		
	1	3.28	4.47	1.12	1.18	1.10	2.51	2.07	1.81	3.47	1.93	3.77	2.02	1.30	3.69	2.76	3.13	3.33	2.62	4.25	2.22		
	無回答	0.30	0.30	0.25	0.00	0.30	0.28	0.41	0.29	0.26	0.36	0.36	0.32	0.00	0.21	0.30	0.14	0.30	0.30	0.30	0.31		
	平均値	3.60	3.54	3.80	3.81	4.02	3.75	3.67	3.62	3.73	3.62	3.45	3.73	4.00	3.56	3.62	3.61	3.58	3.89	3.51	3.69		
設問6、13、14、15の合計		5	19.30	18.40	24.62	24.25	32.62	23.65	20.07	16.14	25.19	15.93	14.96	23.46	34.12	17.93	19.69	18.25	18.53	29.57	17.40	21.27	
		4	33.51	32.03	37.41	36.88	36.36	33.07	35.18	35.19	34.31	34.82	31.61	35.83	38.21	34.49	34.16	34.02	33.45	34.29	32.11	35.06	
		3	35.40	35.24	29.41	30.80	25.35	32.96	35.14	39.14	31.39	39.16	40.15	31.85	21.59	36.27	35.46	35.94	35.96	28.03	37.07	33.63	
		2	8.99	10.56	7.33	7.06	4.91	7.88	7.92	7.65	6.45	8.04	10.07	7.18	4.87	8.21	8.31	9.27	9.23	5.82	9.80	8.12	
		1	2.80	3.77	1.23	1.01	0.76	2.44	1.70	1.88	2.66	2.05	3.21	1.68	1.21	3.10	2.38	2.52	2.84	2.28	3.62	1.91	
		無回答	0.28	0.28	0.23	0.04	0.35	0.31	0.26	0.25	0.26	0.24	0.31	0.29	0.09	0.25	0.27	0.24	0.28	0.24	0.29	0.27	
		平均値	3.58	3.51	3.77	3.76	3.95	3.68	3.64	3.56	3.73	3.55	3.45	3.72	3.99	3.56	3.60	3.56	3.56	3.83	3.50	3.66	

7-2 「学生満足度・達成度」について

			授業 法 平均	学生 参加 平均	難易度							ク ラ ス サ イ ズ (人)					アンケート提出率 (%)				
												25	26	51	101	201	20	41	41	61	81
					A	B	C	D	E	無回答	以下	～50	～100	～200	以上	以下	40	60	80	100	
6 授業により知的に刺激された。	5	4.54	4.19	25.10	18.61	26.50	24.34	28.71	13.68	39.53	25.34	19.78	21.76	31.78	28.75	26.61	22.62	22.46	24.37		
	4	3.92	3.67	17.48	35.65	35.78	31.45	17.82	29.06	34.45	34.33	32.78	35.85	32.19	32.82	33.89	33.64	33.53	33.92		
	3	3.40	3.31	26.52	32.39	30.24	26.27	22.28	31.62	19.69	29.80	33.34	28.95	26.36	25.19	27.25	30.63	31.37	30.24		
	2	2.82	2.92	17.08	10.77	6.01	14.67	13.37	18.80	4.76	8.00	10.39	9.85	6.74	11.45	8.53	9.58	9.49	8.51		
	1	2.10	2.42	13.82	2.59	1.46	3.27	17.82	6.84	1.57	2.52	3.71	3.59	2.94	1.78	3.73	3.54	3.15	2.96		
	無回答	0.08	0.17	0.06	0.17	0.12	0.00	0.00	11.36	0.08	0.14	0.17	0.17	0.32	0.00	0.32	0.21	0.12	0.15		
13 授業の履修目標を達成できた。	5	4.57	4.32	19.53	7.89	14.27	16.83	31.19	10.78	20.02	14.40	10.92	11.29	15.75	15.82	12.73	11.48	12.07	13.96		
	4	4.06	3.80	14.31	30.96	35.37	29.29	14.36	21.57	37.20	33.09	29.67	30.45	34.71	27.55	30.11	29.19	31.53	32.85		
	3	3.52	3.37	35.07	48.58	43.05	40.53	27.23	47.06	34.74	42.19	46.58	45.12	40.00	43.62	44.33	46.27	44.84	42.30		
	2	3.03	3.05	18.14	11.03	6.41	10.53	12.38	15.69	6.63	8.54	9.94	10.21	8.01	9.95	9.95	9.99	9.23	8.81		
	1	2.40	2.61	12.95	1.54	0.90	2.83	14.85	4.90	1.42	1.79	2.89	2.93	1.54	3.06	2.88	3.07	2.33	2.08		
	無回答	0.08	0.14	0.28	0.28	0.24	0.26	0.00	22.73	0.32	0.31	0.37	0.28	0.43	0.25	0.39	0.45	0.35	0.28		
14 授業内容が他領域と幅広く関連することを理解できた。	5	4.42	4.15	24.99	16.75	21.37	18.64	23.27	13.21	30.27	20.72	17.84	19.67	23.36	24.49	21.17	19.62	19.08	20.71		
	4	3.90	3.67	19.94	37.13	36.31	32.46	17.33	26.42	36.40	33.74	34.47	36.44	36.26	35.20	36.30	35.71	34.98	33.98		
	3	3.50	3.37	29.18	34.28	34.20	31.62	31.19	33.96	26.03	34.46	35.02	32.11	31.15	32.14	31.71	32.79	34.56	33.61		
	2	3.04	3.02	15.12	10.09	7.05	14.46	11.39	18.87	6.09	9.07	9.93	9.13	7.20	5.87	8.15	9.46	8.87	9.50		
	1	2.38	2.53	10.78	1.75	1.07	2.83	16.83	7.55	1.21	2.01	2.74	2.64	2.04	2.30	2.67	2.42	2.51	2.20		
	無回答	0.08	0.15	0.17	0.25	0.23	0.32	0.00	19.70	0.12	0.35	0.31	0.19	0.45	0.25	0.50	0.27	0.25	0.31		
15 授業により、新しい知識、考え方、技能を習得でき、さらに深く勉強したくなった。	5	4.47	4.18	24.42	15.99	22.52	21.45	32.67	13.33	32.70	22.28	17.25	19.45	26.03	22.19	23.07	20.05	19.28	21.23		
	4	3.95	3.70	17.50	35.78	36.04	33.20	14.85	27.62	37.35	34.20	32.72	35.81	34.22	36.73	34.13	33.58	33.77	34.20		
	3	3.45	3.34	28.20	35.36	33.96	30.12	19.80	32.38	27.77	33.13	36.35	32.31	29.88	30.36	31.82	33.58	34.73	33.24		
	2	2.98	15.11	10.23	5.96	12.01	10.89	16.19	4.77	7.81	9.73	8.99	6.47	7.65	7.39	9.23	8.81	8.31			
	1	2.37	2.54	14.37	2.65	1.50	3.21	21.78	10.48	1.41	2.58	3.95	3.44	3.40	3.06	3.59	3.56	3.41	3.03		
	無回答	0.08	0.15	0.31	0.29	0.18	0.26	0.00	20.45	0.28	0.25	0.34	0.23	0.45	0.25	0.39	0.27	0.29	0.31		
設問6、13、14、15の合計	5	4.49	4.20	23.51	14.81	21.17	20.32	28.96	12.79	30.63	20.69	16.45	18.05	24.23	22.82	20.90	18.47	18.23	20.07		
	4	3.96	3.71	17.31	34.88	35.88	31.60	16.09	26.28	36.35	33.84	32.41	34.64	34.34	33.08	33.61	33.03	33.45	33.74		
	3	3.47	3.35	29.74	37.65	35.36	32.13	25.12	36.05	26.05	34.89	37.82	34.62	31.84	32.82	33.77	35.81	36.37	34.85		
	2	2.97	3.00	16.46	10.53	6.36	12.92	12.00	17.44	5.56	8.35	10.00	9.55	7.10	8.73	8.51	9.56	9.10	8.78		
	1	2.30	2.52	12.98	2.13	1.23	3.03	17.82	7.44	1.40	2.23	3.32	3.15	2.48	2.55	3.22	3.15	2.85	2.57		
	無回答	0.08	0.16	0.21	0.25	0.19	0.21	0.00	18.56	0.20	0.26	0.30	0.22	0.41	0.19	0.40	0.30	0.25	0.27		

8-1「学生の出席・態度」について

			全体 平均	全学 教育 平均	各学部ごとの専門教育の平均													専門 教育 平均	言語 文化部 平均	講義 科目 平均	演習 科目 平均	必修 科目 平均	選択 科目 平均
					文	教育	法	経済	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産							
16 この授業の自分の出席率は （ ） %程度であった。	100%	62.40	68.58	42.58	41.53	46.60	46.93	66.00	47.67	59.77	74.25	65.06	62.03	54.00	63.92	59.68	72.18	61.88	69.22	65.05	59.53		
	80%	26.99	23.62	35.79	38.14	32.82	35.61	23.71	31.97	33.03	21.06	26.06	28.30	36.50	25.43	28.47	23.40	27.11	25.29	25.47	28.63		
	60%	8.72	6.13	15.65	16.78	16.17	13.97	8.74	16.69	6.56	4.21	7.80	8.20	8.57	9.09	9.85	4.05	9.02	4.81	7.86	9.64		
	40%	1.19	0.97	3.49	2.71	2.88	2.23	1.28	2.51	0.51	0.24	0.72	0.83	0.56	0.85	1.29	0.32	1.25	0.45	1.06	1.34		
	20%	0.71	0.69	2.49	0.85	1.53	1.26	0.27	1.17	0.13	0.24	0.36	0.65	0.37	0.71	0.71	0.05	0.74	0.23	0.57	0.86		
	無回答	0.24	0.23	0.43	0.34	0.49	0.42	0.14	0.35	0.26	0.12	0.18	0.14	0.37	0.04	0.24	0.14	0.25	0.15	0.21	0.27		
	平均値	4.49	4.58	4.12	4.17	4.20	4.25	4.54	4.22	4.52	4.69	4.55	4.50	4.43	4.51	4.45	4.67	4.48	4.63	4.53	4.45		
17 質問、発言、調査、自習 などにより、自分はこの授業に 積極的に参加した。	5	11.56	10.86	9.01	8.95	14.97	12.26	13.05	9.97	17.97	6.14	11.39	14.27	13.57	12.68	11.87	18.14	10.56	24.87	12.00	11.05		
	4	24.06	24.16	21.75	24.16	25.60	23.54	26.88	22.84	30.55	27.23	23.84	23.09	26.58	21.95	24.01	33.01	23.30	34.14	24.32	23.81		
	3	45.61	42.46	46.67	47.13	41.66	42.06	44.41	50.35	41.72	50.48	48.60	47.01	43.87	47.17	46.99	36.33	46.60	32.48	45.83	45.39		
	2	14.07	16.46	16.66	16.89	13.56	16.16	12.64	12.47	7.19	13.98	12.31	12.14	11.34	12.96	13.02	9.67	14.65	6.36	13.17	15.01		
	1	4.70	6.06	5.90	2.87	4.22	5.99	3.02	4.37	2.57	2.17	3.86	3.49	4.65	5.24	4.11	2.85	4.89	2.16	4.68	4.74		
	無回答	0.23	0.22	0.12	0.00	0.24	0.14	0.18	0.23	0.26	0.24	0.28	0.32	0.19	0.14	0.24	0.09	0.24	0.15	0.24	0.23		
	平均値	3.24	3.17	3.11	3.19	3.34	3.20	3.34	3.22	3.54	3.21	3.27	3.32	3.33	3.24	3.27	3.54	3.20	3.73	3.26	3.21		

8-2「学生の出席・態度」について

	授業 法 平均	学生 参加 平均	難易度						ク ラ ス サ イ ズ (人)					アンケート提出率 (%)					講義 科目 平均	演習 科目 平均	必修 科目 平均	選択 科目 平均	
			A	B	C	D	E	無回答	25 以下	26 ～50	51 ～100	101 ～200	201 以上	20 以下	21 ～ 40	41 ～ 60	61 ～ 80	81 ～ 100					
16 この授業の自分の 出席率は() %程 度であった。	100%	3.80	3.65	67.18	62.51	61.80	59.20	54.27	65.66	60.48	63.17	64.53	57.83	55.37	54.08	47.48	56.25	62.63	67.41	61.88	69.22	65.05	59.53
	80%	3.74	3.53	23.30	28.74	26.43	28.83	28.14	22.22	29.75	27.73	25.31	28.66	29.00	28.06	31.98	29.70	27.32	24.78	27.11	25.29	25.47	28.63
	60%	3.54	3.32	6.94	7.13	10.07	8.30	8.04	3.03	8.36	7.65	8.45	10.54	12.10	15.31	15.74	11.23	8.40	6.61	9.02	4.81	7.86	9.64
	40%	3.36	3.15	1.30	1.13	1.09	2.38	1.51	6.06	0.97	0.97	1.14	1.52	2.13	1.53	2.95	1.68	1.09	0.76	1.25	0.46	1.06	1.34
	20%	3.29	3.02	1.28	0.49	0.61	1.29	8.04	3.03	0.44	0.48	0.57	1.44	1.40	1.02	1.85	1.14	0.56	0.45	0.74	0.23	0.57	0.86
	無回答	0.09	0.18	0.11	0.15	0.14	0.45	1.49	25.09	0.16	0.23	0.23	0.21	0.54	0.25	0.35	0.34	0.16	0.24	0.25	0.15	0.21	0.27
平均値		3.75	3.58	4.54	4.52	4.48	4.42	4.19	4.41	4.49	4.52	4.52	4.40	4.35	4.33	4.20	4.38	4.50	4.58	4.48	4.63	4.53	4.45

8-3「学生の出席・態度」について

	授業 法 平均	学生 参加 平均	難易度						ク ラ ス サ イ ズ (人)					アンケート提出率 (%)					講義 科目 平均	演習 科目 平均	必修 科目 平均	選択 科目 平均	
			A	B	C	D	E	無回答	25	26	51	101	201	20	21	41	61	81					
									以下	～50	100	～200	以上	以下	～40	60	80	100					
17 質問、発言、調査、 自習などにより、自 分はこの授業に積極 的に参加した。	5	4.42	4.40	19.93	8.76	11.59	13.14	20.90	13.21	20.06	13.55	10.11	8.64	10.08	10.43	9.80	9.99	10.85	13.03	10.56	24.87	12.00	11.05
	4	4.04	3.93	15.19	25.84	24.81	21.99	15.42	15.09	30.27	25.12	23.54	20.60	23.92	18.58	22.58	21.48	24.22	25.30	23.30	34.14	24.32	23.81
	3	3.64	3.42	36.56	45.64	47.85	38.59	29.85	32.08	37.29	44.53	47.25	47.09	44.30	44.78	45.01	47.06	46.18	44.76	46.60	32.48	45.83	45.39
	2	3.34	3.09	16.83	15.56	12.22	19.42	12.44	22.64	10.01	12.94	14.34	16.84	15.55	17.81	16.15	15.80	14.12	12.92	14.65	6.36	13.17	15.01
	1	3.02	2.74	11.50	4.20	3.42	6.86	21.39	16.98	2.38	3.85	4.76	6.82	6.15	8.40	6.46	5.67	4.64	3.99	4.89	2.16	4.68	4.74
	無回答	0.08	0.15	0.25	0.14	0.17	0.06	0.50	19.70	0.12	0.22	0.37	0.19	0.32	0.00	0.25	0.27	0.20	0.25	0.24	0.15	0.24	0.23
	平均値	3.75	3.58	3.15	3.19	3.29	3.15	3.02	2.85	3.56	3.32	3.20	3.07	3.16	3.05	3.13	3.14	3.23	3.30	3.20	3.73	3.26	3.21

分析のための全体集計1

	全体 平均	全学 教育 平均	各学部ごとの専門教育の平均													専門 教育 平均	言語 文化部 平均
			文	教育	法	経済	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産			
設限1～1.5の平均値	平均値	3.68	3.64	3.91	3.85	3.95	3.77	3.73	3.64	3.81	3.60	3.56	3.81	4.00	3.68	3.70	3.88

分析のための全体集計2

		職 (人)			授業の形態 (人)		科目区分 (人)		必修・選択 (人)		受講登録学生数(人)	アンケート提出枚数(枚)	アンケート提出率(%)
		教授	助教授	講師	講義	演習	全学教育科目	専門科目	必修	選択			
全 体		535	425	42	876	126	294	708	473	529	58,601	37,909	64.69
全学教育		136	135	23	253	41	294	0	145	149	17,181	11,559	67.28
専門教育		399	290	19	623	85	0	708	328	380	41,420	26,350	63.62
各学部	文	43	52	3	71	27	31	67	4	94	4,831	2,906	60.15
	教育	9	9	1	16	3	2	17	3	16	897	662	73.80
	法	29	20	1	36	14	6	44	3	47	5,429	1,870	34.44
	経済	12	14	2	19	9	9	19	9	19	2,822	1,048	37.14
	理	74	61	10	135	10	78	67	55	90	8,006	5,838	72.92
	医	22	9	5	34	2	2	34	34	2	3,466	1,801	51.96
	歯	13	5	1	17	2	1	18	18	1	1,287	820	63.71
	薬	10	8	0	17	1	2	16	8	10	1,250	868	69.44
	工	124	106	0	206	24	18	212	138	92	13,199	9,512	72.07
	農	48	44	1	92	1	2	91	46	47	3,471	2,826	81.42
	獣医	11	6	1	13	5	2	16	16	2	779	632	81.13
言語文化部		39	31	0	67	3	0	70	41	29	4,130	2,828	68.47
		25	29	15	65	4	68	1	64	5	2,418	2,174	89.91

Ⅱ 分析のための全体集計(教官自己評価の集計):平成14年度(平成13年度後期及び平成14年度前期実施分)

1 「シラバスとその内容」について

		全体 平均	全学 教育 平均	各学部ごとの専門教育の平均												専門 教育 平均	言語 文化 平均
				文	教育	法	経済	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産		
1 シラバスでは、授業の目標、内容、評価方法を明快に示した。	5	26.75	27.24	22.95	26.67	12.50	18.75	35.94	10.71	27.78	13.33	25.49	30.68	25.00	43.28	26.55	25.40
	4	53.28	54.85	42.62	53.33	57.50	56.25	40.63	78.57	38.89	60.00	58.82	48.86	62.50	43.28	52.64	66.67
	3	17.29	17.16	26.23	13.33	25.00	25.00	21.88	7.14	22.22	20.00	14.71	14.77	12.50	11.94	17.35	7.94
	2	2.36	0.75	6.56	6.67	5.00	0.00	0.00	3.57	11.11	0.00	0.98	5.68	0.00	1.49	3.02	0.00
	1	0.32	0.00	1.64	0.00	0.00	0.00	1.56	0.00	0.00	6.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.45	0.00
	無回答	0.75	1.83	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.45	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.30	0.00
	平均値	4.04	4.09	3.79	4.00	3.78	3.94	4.09	3.96	3.83	3.73	4.09	4.05	4.13	4.28	4.02	4.17
2 体系的に授業を行った。	5	29.99	30.15	19.67	26.67	20.00	12.50	54.69	27.59	38.89	20.00	27.94	37.50	43.75	28.36	29.92	31.75
	4	55.60	58.46	52.46	66.67	52.50	68.75	40.63	55.17	55.56	66.67	58.33	53.41	43.75	52.24	54.44	57.14
	3	12.38	10.66	18.03	6.67	20.00	18.75	4.69	13.79	5.56	13.33	13.24	6.82	6.25	16.42	13.08	11.11
	2	1.81	0.37	9.84	0.00	5.00	0.00	0.00	3.45	0.00	0.00	0.49	2.27	6.25	2.99	2.41	0.00
	1	0.21	0.37	0.00	0.00	2.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.15	0.00
	無回答	0.11	0.37	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平均値	4.13	4.18	3.82	4.20	3.83	3.94	4.50	4.07	4.33	4.07	4.14	4.26	4.25	4.06	4.12	4.21
設問1、2の合計	5	28.37	28.70	21.31	26.67	16.25	15.63	45.31	19.30	33.33	16.67	26.72	34.09	34.38	35.82	28.24	28.57
	4	54.44	56.67	47.54	60.00	55.00	62.50	40.63	66.67	47.22	63.33	58.58	51.14	53.13	47.76	53.54	61.90
	3	14.83	13.89	22.13	10.00	22.50	21.88	13.28	10.53	13.89	16.67	13.97	10.80	9.38	14.18	15.21	9.52
	2	2.09	0.56	8.20	3.33	5.00	0.00	0.00	3.51	5.56	0.00	0.74	3.98	3.13	2.24	2.71	0.00
	1	0.27	0.19	0.82	0.00	1.25	0.00	0.78	0.00	0.00	3.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.30	0.00
	無回答	0.43	1.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.72	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.15	0.00
	平均値	4.09	4.13	3.80	4.10	3.80	3.94	4.30	4.02	4.08	3.90	4.11	4.15	4.19	4.17	4.07	4.19

2 「教官の授業法」について

		全体		全学 教育		各学部ごとの専門教育の平均														専門 教育 平均	言語 文化 平均	講義 科目 平均	演習 科目 平均	必修 科目 平均	選択 科目 平均	ク ラ ス サ イ ズ (人)					アンケート提出率 (%)				
		平均	全学 平均	文	教育	法	経済	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産	25 以下	26 ～50	51 ～100	101 ～200							201 以上	20 以下	21 ～40	41 ～60	61 ～80	81 ～100				
3 学生にあなた の熱意が伝わった。	5	19.83	35.45	19.67	40.00	17.50	12.50	25.00	10.34	16.67	6.67	16.34	20.69	12.50	16.42	17.98	28.57	19.16	21.58	18.78	20.86	22.56	21.81	15.96	20.97	22.73	23.08	17.95	16.98	22.26	19.50				
	4	53.91	36.26	57.38	53.33	52.50	75.00	56.25	62.07	77.78	60.00	50.99	49.43	43.75	55.22	55.29	47.62	54.79	47.46	52.71	56.01	50.00	52.12	58.73	41.94	72.73	53.85	57.69	54.09	54.06	53.00				
	3	23.26	22.01	11.48	6.67	30.00	12.50	17.19	27.59	5.56	33.33	27.72	26.44	43.75	25.37	23.26	23.81	23.34	22.88	25.11	21.47	24.39	24.08	21.68	33.87	4.55	23.08	24.36	24.52	19.08	25.50				
	2	2.79	4.82	11.48	0.00	0.00	0.00	1.56	0.00	0.00	0.00	4.46	3.45	0.00	2.99	3.32	0.00	2.46	3.98	2.94	2.66	3.05	1.98	3.61	3.23	0.00	0.00	0.00	3.14	4.59	2.00				
	1	0.21	1.47	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.15	0.00	0.25	0.00	0.45	0.00	0.00	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.26	0.99	0.00				
	無回答	0.53	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.98	1.14	0.00	0.00	0.45	0.00	0.61	0.00	0.67	0.41	0.61	0.56	0.60	0.00	0.00	0.00	1.85	0.70	0.00				
	平均値	3.90	3.99	3.85	4.33	3.88	4.00	4.05	3.83	4.11	3.73	3.78	3.87	3.69	3.85	3.88	4.05	3.90	3.90	3.92	3.86	3.94	3.92	3.94	3.86	3.81	4.18	4.00	3.94	3.82	3.94	3.90			
4 学生にとって あなたの話し方は 聞き取りやすかった。	5	13.53	31.32	9.84	13.33	5.13	6.25	15.63	17.24	16.67	6.67	10.34	12.64	0.00	11.94	11.18	31.75	13.28	15.38	14.29	12.91	11.04	15.30	12.99	12.90	13.64	7.69	12.99	8.18	15.90	14.29				
	4	49.30	32.60	60.66	53.33	43.59	75.00	48.44	62.07	50.00	66.67	46.31	41.38	37.50	43.28	48.94	55.56	49.32	48.72	50.34	48.38	49.69	49.01	47.73	51.61	68.18	61.54	59.74	49.05	50.18	48.37				
	3	30.93	23.98	21.31	12.33	33.33	18.75	31.25	29.69	22.22	26.67	38.96	44.83	43.75	32.84	32.78	12.70	31.49	27.35	28.80	32.79	34.36	30.03	32.33	25.81	13.61	7.69	19.48	35.85	27.92	34.09				
	2	5.80	9.09	3.28	20.00	17.95	0.00	4.69	0.00	11.11	0.00	7.39	1.15	18.75	10.45	6.50	0.00	5.54	7.69	6.58	5.12	4.91	5.10	6.34	9.68	4.55	23.08	7.79	5.66	5.65	5.01				
	1	0.43	3.02	4.92	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.49	0.60	0.00	0.57	0.85	0.00	0.82	0.00	0.57	0.00	0.00	0.00	0.00	1.26	0.35	0.25				
	無回答	0.75	0.12	0.00	0.00	2.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.49	1.14	0.00	0.00	0.45	0.00	0.73	0.85	0.90	0.61	1.21	0.56	0.90	0.00	0.00	0.00	1.28	1.85	0.70	0.25			
	平均値	3.70	3.80	3.67	3.60	3.36	3.88	3.75	3.97	3.72	3.80	3.60	3.66	3.19	3.54	3.64	4.19	3.70	3.70	3.72	3.67	3.73	3.66	3.68	3.91	3.54	3.78	3.57	3.76	3.69					
5 授業は、難解 な概念、理論が あっても、わかり やすい授業を行った。	5	18.42	19.36	22.95	20.00	17.50	6.25	30.16	17.24	11.11	13.33	16.18	17.24	18.75	11.94	17.66	25.81	18.77	15.25	18.33	18.37	17.58	21.31	16.22	17.74	13.64	23.08	8.97	16.25	21.53	18.78				
	4	55.67	32.30	52.46	46.67	47.50	81.25	52.38	65.52	66.67	40.00	58.33	56.32	43.75	62.66	55.96	58.06	56.83	55.08	57.92	53.67	56.97	53.41	57.36	56.45	54.55	53.85	64.10	60.00	54.06	53.50				
	3	23.02	32.65	18.03	33.33	30.00	12.50	14.29	17.24	22.22	46.67	24.02	25.29	37.50	19.40	23.53	14.52	22.82	24.58	21.19	24.29	23.03	21.88	24.02	22.58	27.27	15.38	20.51	20.63	21.55	25.75				
	2	2.46	12.07	3.28	0.00	5.00	0.00	3.17	0.00	0.00	0.00	1.47	1.15	0.00	5.97	2.41	1.61	2.21	4.24	2.26	2.65	2.42	3.13	1.59	3.23	4.55	7.69	5.13	1.88	2.47	2.00				
	1	0.43	3.62	3.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.45	0.00	0.37	0.85	0.00	0.82	0.00	0.28	0.90	0.00	0.00	0.00	0.00	1.28	1.25	0.35	0.00			
	無回答	0.43	0.13	0.00	0.00	0.00	0.00	1.56	0.00	0.00	0.00	0.00	1.14	0.00	0.00	0.00	0.30	1.59	0.49	0.20	0.00	0.85	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.23	0.70	0.00			
	平均値	3.89	3.52	3.89	3.87	3.78	3.94	4.10	4.00	3.89	3.67	3.89	3.90	3.81	3.81	3.88	4.08	3.90	3.80	3.92	3.87	3.90	3.92	3.86	3.89	3.77	3.92	3.74	3.88	3.94	3.89				
設問3、4、5 の合計	5	17.26	28.71	17.49	24.44	13.45	8.33	23.56	14.94	14.81	8.89	14.29	16.86	10.42	13.43	15.60	28.72	17.08	18.41	17.13	17.45	17.07	19.47	15.06	17.20	16.67	17.95	13.30	13.81	19.91	17.51				
	4	52.97	33.72	56.83	51.11	47.90	77.08	52.36	63.22	64.81	55.56	51.89	49.04	41.67	53.73	53.40	53.72	53.32	50.42	53.66	52.35	52.24	51.51	54.82	50.00	65.15	56.41	60.52	54.39	52.77	50.96				
	3	25.73	26.21	16.94	17.78	31.99	14.58	20.94	21.84	16.67	35.56	29.23	32.18	41.67	25.87	26.52	17.02	25.88	24.93	25.13	26.18	27.24	25.33	25.80	27.42	15.15	15.38	21.46	26.99	22.55	28.44				
	2	3.68	8.66	6.91	6.67	7.56	0.00	3.14	0.00	3.70	0.00	4.43	1.92	6.25	6.47	4.08	3.93	4.67	3.92	4.38	2.46	3.40	4.02	3.82	5.38	10.02	10.25	4.49	3.56	4.21	3.00				
	1	0.36	2.70	2.73	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.16	0.00	0.00	0.58	0.40	0.00	0.33	0.57	0.15	0.35	0.00	0.28	0.70	0.00	0.00	0.00	0.43	1.26	0.24	0.08				
	無回答	0.57	0.12	0.00	0.00	0.83	0.00	0.52	0.00	0.00	0.00	0.49	1.14	0.00	0.00	0.40	0.53	0.61	0.28	0.75	0.41	0.61	0.66	0.60	0.00	0.00	0.43	1.65	0.70	0.08					
	平均値	3.83	3.77	3.80	3.93	3.67	3.94	3.96	3.93	3.91	3.73	3.76	3.81	3.66	3.73	3.80	4.11	3.83	3.80	3.84	3.83	3.83	3.86	3.80	3.79	3.95	3.82	3.82	3.76	3.88	3.88				

4 「作業量・負担」について

			全体 平均	全学 教育 平均	各学部ごとの専門教育の平均														専門 教育 平均	言語 文化財 平均	講義 科目 平均	演習 科目 平均	必修 科目 平均	選択 科目 平均	ク ラ ス サ イ ズ (人)					アンケート提出率 (%)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
					文	教育	法	経済	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産	25 以下	26 ～50							51 ～100	101 ～200	201 以上	20 以下	21 ～40	41 ～60	61 ～80	81 ～100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
					平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均

「授業についての総体」

		全体 平均	全学 教育 平均	各学部ごとの専門教育の平均														専門 教育 平均	言語 文化財 平均	講義 科目 平均	演習 科目 平均	必修 科目 平均	選択 科目 平均	ク ラ ス サ イ ズ (人)					アンケート提出率 (%)				
				文	教育	法	経済	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産	25 以下	26 ～50							51 ～100	101 ～200	201 以上	20 以下	21 ～40	41 ～60	61 ～80	81 ～100		
				平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均							平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	
設問3、4、5、 7、10、11の合計	5	16.40	15.34	15.07	18.89	9.66	9.47	22.19	13.37	15.74	14.61	14.86	16.96	13.68	12.75	10.68	23.14	16.35	16.74	15.66	17.13	16.00	18.07	15.29	15.09	12.88	20.51	12.90	13.69	19.20	16.05		
	4	49.46	45.29	52.60	46.67	38.24	68.42	49.35	61.03	52.78	51.69	50.16	48.94	38.95	48.00	46.45	52.39	49.76	47.09	50.89	48.21	48.83	48.72	50.20	49.87	53.79	47.44	53.12	52.66	47.96	48.60		
	3	28.16	31.98	22.47	26.67	41.18	18.95	21.28	21.51	28.70	30.34	28.65	29.67	40.00	30.00	33.18	22.87	28.23	27.94	27.36	28.76	29.56	27.53	28.37	27.22	27.27	20.51	27.31	27.80	26.93	29.59		
	2	5.53	7.02	6.30	5.56	10.92	3.16	4.18	4.07	2.78	3.37	6.16	4.05	7.37	9.00	9.08	1.60	5.29	7.23	5.94	5.19	5.20	5.16	5.63	7.82	6.08	11.54	6.24	4.91	5.49	5.47		
	1	0.48	0.37	3.56	2.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.16	0.39	0.00	0.25	0.61	0.00	0.37	0.99	0.15	0.72	0.41	0.52	0.50	0.00	0.00	0.00	0.43	0.94	0.41	0.29		
	無回答	0.75	0.92	0.27	0.60	0.83	1.04	0.26	1.15	0.00	1.11	0.49	1.70	1.04	0.50	1.43	0.53	0.79	0.42	1.01	0.51	0.91	0.75	0.80	0.27	0.00	0.00	0.64	1.54	0.99	0.29		
	平均値	3.76	3.68	3.69	3.74	3.47	3.84	3.90	3.84	3.81	3.78	3.73	3.78	3.59	3.64	3.58	3.97	3.76	3.71	3.76	3.76	3.75	3.79	3.74	3.72	3.73	3.77	3.72	3.73	3.80	3.75		

5 「学生参加」について

		全体 平均	全学 教育 平均	各学部ごとの専門教育の平均														専門 教育 平均	英語 文化 平均	講義 科目 平均	演習 科目 平均	必修 科目 平均	選択 科目 平均	ク ラ ス サ イ ズ (人)					アンケート提出率 (%)				
				文	教育	法	経済	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産	25 以下	26 ～50							51 ～100	101 ～200	201 以上	20 以下	21 ～40	41 ～60	61 ～80	81 ～100		
				平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均						
8 効果的に学生の 参加（発言、自主 的学習、作業など） を促した。	5	14.79	18.96	13.11	26.67	15.00	12.50	15.63	10.34	11.11	13.33	13.73	9.20	18.75	8.96	13.10	18.03	14.13	18.84	12.22	16.97	14.55	16.19	12.65	14.52	27.27	23.08	12.82	20.00	15.19	12.53		
	4	35.58	41.64	33.79	20.00	22.50	37.50	28.13	55.17	27.78	33.33	37.25	34.48	12.50	32.84	33.13	57.38	36.00	33.05	38.24	33.13	36.36	36.93	33.73	37.10	31.82	15.38	38.46	36.25	32.16	37.84		
	3	31.08	22.68	24.59	33.33	25.00	31.25	43.75	13.79	35.56	46.67	31.86	39.08	31.25	38.81	34.19	22.95	31.94	25.42	32.81	29.68	27.27	29.26	35.54	29.03	27.27	23.08	32.05	25.63	34.28	31.81		
	2	16.18	14.13	28.23	13.33	35.00	18.75	10.94	20.69	5.56	6.67	16.18	8.06	37.50	19.40	17.02	1.64	15.48	19.19	14.48	17.79	18.75	13.24	15.96	16.13	13.61	38.46	16.67	16.25	15.90	15.54		
	1	2.36	2.60	3.28	6.67	2.50	0.00	1.56	0.00	0.00	0.00	0.00	0.98	9.20	0.00	0.00	2.26	0.00	2.48	1.69	2.26	0.45	3.03	2.27	1.11	3.23	0.00	0.00	1.88	2.47	3.00	3.41	
	無回答	0.53	1.47	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.14	0.00	0.00	0.15	3.17	0.61	0.00	0.67	0.41	0.00	0.85	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	1.23	0.70	0.25	0.40		
	平均値	3.44	3.60	3.36	3.47	3.10	3.44	3.45	3.55	3.44	3.63	3.47	3.26	3.13	3.31	3.38	3.92	3.44	3.46	3.44	3.44	3.41	3.49	3.39	3.44	3.73	3.23	3.47	3.56	3.42	3.41	3.44	
9 学生の質問・発 言等に適切に対応し た。	5	23.14	27.94	22.95	20.00	20.00	31.25	25.38	13.79	33.33	33.33	18.83	28.24	12.50	10.45	21.13	34.92	23.07	22.88	22.12	24.13	25.00	22.32	22.59	22.68	31.82	30.77	16.67	25.47	26.86	20.53		
	4	59.64	51.10	36.07	46.87	40.00	56.25	55.76	79.31	44.44	40.00	82.94	49.41	62.92	56.75	50.45	60.79	51.53	44.92	35.08	46.42	43.29	52.82	52.11	56.43	51.82	38.46	36.41	50.31	46.29	53.13		
	3	22.81	18.01	36.67	20.00	27.50	12.50	20.31	6.90	22.22	26.67	26.17	18.82	25.00	32.84	24.77	11.81	22.21	27.12	19.86	25.58	26.68	21.47	21.99	17.74	31.82	30.77	24.36	21.74	22.97	22.86		
	2	2.68	2.57	1.64	13.33	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.96	1.18	0.00	4.48	4.72	3.17	2.58	3.39	1.81	3.48	3.03	2.51	2.71	1.61	4.55	0.00	2.56	1.88	1.81	2.76		
	1	0.75	0.37	3.28	0.00	2.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.35	0.00	1.49	0.91	0.00	0.61	1.69	1.13	0.41	0.61	0.85	0.60	1.61	0.00	0.00	0.62	0.71	1.00		
	無回答	0.43	0.37	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.41	0.00	0.68	0.43	0.60	0.49	0.00	0.45	0.41	0.81	0.28	0.60	0.00	0.00	0.00	0.62	0.70	0.25	0.40		
	平均値	3.93	4.04	3.74	3.73	3.65	4.19	4.08	4.07	4.11	4.07	3.88	4.00	3.88	3.69	3.85	4.17	3.94	3.84	3.95	3.90	3.89	3.93	3.93	3.97	3.91	4.00	3.87	3.98	3.95	3.89	3.98	
校則 8、9 の合計	5	18.90	23.48	18.03	23.33	17.39	21.68	21.89	12.07	22.22	23.33	16.18	18.69	15.63	9.70	17.12	25.61	18.69	20.79	17.18	20.55	19.26	17.62	18.93	29.35	26.92	14.74	22.74	21.02	16.54	21.02		
	4	43.12	46.10	34.43	33.33	31.25	46.88	39.84	67.21	36.11	36.67	45.10	41.86	37.50	41.75	41.78	34.03	43.77	38.98	46.67	39.78	39.98	42.90	42.92	46.77	31.82	26.92	47.44	43.30	36.22	45.49		
	3	26.94	20.33	30.33	26.67	26.25	21.88	32.03	16.34	38.89	36.67	29.17	29.07	28.13	35.82	29.64	16.94	27.07	26.27	26.33	27.61	27.66	25.35	28.17	23.39	29.55	26.92	28.21	23.68	28.82	26.82	26.82	
	2	9.43	8.32	13.93	13.33	22.50	9.38	5.47	16.34	2.78	3.33	9.07	4.65	18.75	11.94	9.88	2.43	9.02	12.29	8.10	10.63	10.94	9.92	9.34	8.87	9.09	19.23	9.62	9.00	9.54	9.01		
	1	1.55	1.48	3.28	3.33	2.50	0.00	0.78	0.00	0.00	0.00	0.00	0.49	5.81	0.00	0.75	1.38	0.00	1.53	1.69	1.99	1.43	1.82	1.56	1.36	2.42	0.00	0.00	1.25	1.59	2.01		
	無回答	0.48	0.92	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.27	0.00	0.30	1.59	0.55	0.00	0.00	0.56	0.41	0.30	0.56	0.60	0.00	0.00	0.00	0.93	0.70	0.25	0.40		
	平均値	3.69	3.82	3.50	3.60	3.39	3.81	3.77	3.81	3.78	3.80	3.67	3.63	3.50	3.48	3.63	4.05	3.69	3.65	3.69	3.67	3.65	3.71	3.66	3.70	3.82	3.62	3.67	3.77	3.69	3.63	3.69	

第2章 学生による「授業アンケート」について

7-1 「学生満足度・達成度」について

			全体 平均	全学 教育 平均	各学部ごとの専門教育の平均										専門 教育 平均	言語 文化 平均	講義 科目 平均	演習 科目 平均	必修 科目 平均	選択 科目 平均	
					文	教育	法	経済	理	医	歯	薬	工	農							獣医
6 知的に刺激される授業だった。	5	18.60	21.11	22.95	20.00	20.00	6.25	33.33	20.69	16.67	20.00	12.38	14.94	12.50	9.09	17.58	9.52	17.88	23.73	15.72	21.27
	4	49.68	48.15	57.38	60.00	42.50	62.50	39.68	48.28	72.22	60.00	46.53	50.57	68.75	57.58	50.30	39.68	49.94	47.46	48.97	50.51
	3	28.28	30.00	13.11	20.00	25.00	31.25	23.81	27.59	11.11	20.00	35.64	29.89	18.75	28.79	27.58	49.21	28.85	24.58	31.66	24.95
	2	3.12	0.74	3.28	0.00	12.50	0.00	3.17	3.45	0.00	0.00	4.95	4.60	0.00	4.55	4.09	1.59	3.08	3.39	3.42	2.86
	1	0.32	0.00	3.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.45	0.00	0.25	0.85	0.23	0.41
	無回答	0.85	1.10	0.00	0.00	0.00	0.00	1.56	0.00	0.00	0.00	0.98	1.14	0.00	1.49	0.75	0.00	0.98	0.00	1.35	0.41
	平均値	3.83	3.90	3.93	4.00	3.70	3.75	4.03	3.86	4.06	4.00	3.65	3.76	3.94	3.71	3.80	3.57	3.82	3.90	3.77	3.89
13 授業の日数を達成できた。	5	11.37	15.56	9.84	6.67	5.00	6.25	21.88	6.90	16.67	13.33	6.37	9.30	18.75	7.58	9.67	12.70	11.07	13.56	9.98	12.68
	4	59.98	55.93	62.30	73.33	57.50	68.75	60.94	79.31	55.56	53.33	62.25	68.60	43.75	50.00	61.63	63.49	60.02	60.17	60.77	59.30
	3	24.46	25.56	21.31	13.33	35.00	25.00	12.50	10.34	27.78	33.33	25.98	17.44	37.50	34.85	24.02	22.22	24.72	22.03	24.94	23.93
	2	3.97	2.96	4.92	6.67	2.50	0.00	4.69	0.00	0.00	0.00	5.39	4.65	0.00	7.58	4.38	1.59	4.06	3.39	4.08	3.89
	1	0.21	0.00	1.64	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.35	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.30	0.00	0.12	0.85	0.23	0.20
	無回答	0.64	1.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.27	0.00	1.49	0.45	0.00	0.73	0.00	0.90	0.41
	平均値	3.78	3.84	3.74	3.80	3.65	3.81	4.00	3.86	3.89	3.80	3.70	3.83	3.81	3.58	3.76	3.87	3.78	3.82	3.76	3.80
14 授業内容が他領域と幅広く関連することを理解させることができた。	5	16.68	16.10	19.67	13.33	15.00	12.50	23.44	17.24	27.78	20.00	13.30	20.69	12.50	17.91	16.92	9.84	16.79	16.10	15.91	17.45
	4	48.33	43.07	44.26	60.00	55.00	62.50	39.06	58.62	50.00	53.33	49.75	55.17	75.00	46.27	50.45	18.03	48.27	49.15	46.82	49.69
	3	30.03	33.33	27.87	26.67	17.50	25.00	29.69	20.69	22.22	26.67	32.51	24.14	12.50	34.33	28.70	60.66	30.00	29.66	32.05	28.13
	2	4.63	7.49	4.92	0.00	12.50	0.00	7.81	3.45	0.00	0.00	3.94	0.00	0.00	1.49	3.47	11.48	4.69	4.24	5.00	4.31
	1	0.32	0.00	3.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.49	0.00	0.00	0.00	0.45	0.00	0.25	0.85	0.23	0.41
	無回答	0.96	2.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.49	1.14	0.00	0.00	0.45	3.17	1.10	0.00	1.12	0.81
	平均値	3.76	3.68	3.72	3.87	3.73	3.88	3.78	3.90	4.06	3.93	3.71	3.97	4.00	3.81	3.80	3.26	3.77	3.75	3.73	3.79
15 授業により学生は、新しい知識、考え方、技能を習得し、さらに深く勉強したくなった。	5	10.52	11.94	11.48	13.33	10.00	0.00	18.75	10.34	16.67	13.33	6.00	10.59	12.50	6.25	9.94	9.52	10.96	7.63	10.53	10.54
	4	44.03	42.91	55.74	53.33	40.00	37.50	50.00	55.17	66.67	53.33	37.00	44.71	25.00	48.44	44.50	39.68	43.71	45.76	38.67	48.76
	3	41.32	40.30	24.59	33.33	45.00	62.50	28.13	31.03	16.67	26.67	52.00	42.35	56.25	43.75	41.74	47.62	41.47	40.68	46.00	37.19
	2	3.80	4.85	4.92	0.00	5.00	0.00	3.13	3.45	0.00	6.67	4.50	2.35	6.25	1.56	3.36	3.17	3.61	5.08	4.58	3.10
	1	0.33	0.00	3.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.46	0.00	0.25	0.85	0.23	0.41
	無回答	1.71	1.83	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.96	3.41	0.00	4.48	1.65	0.00	1.95	0.00	1.80	1.43
	平均値	3.61	3.62	3.67	3.80	3.55	3.38	3.84	3.72	4.00	3.73	3.44	3.64	3.44	3.59	3.60	3.56	3.62	3.54	3.55	3.66
設問6、13、14、15の合計	5	14.30	16.19	15.98	13.33	12.50	6.25	24.31	13.79	19.44	16.67	9.52	13.91	14.06	10.27	13.53	10.40	14.18	15.25	13.03	15.50
	4	50.53	47.53	54.92	61.67	48.75	57.81	47.45	60.34	61.11	55.00	48.95	54.78	53.13	50.57	51.74	40.40	50.51	50.64	48.83	52.08
	3	31.00	32.28	21.72	23.33	30.63	35.94	23.53	22.41	19.14	26.67	36.46	28.41	31.25	35.36	30.48	44.80	31.23	29.24	33.64	28.53
	2	3.88	4.00	4.51	1.67	8.13	0.00	4.71	2.59	0.00	1.67	4.70	2.90	1.56	3.80	3.83	4.40	3.86	4.03	4.27	3.54
	1	0.30	0.00	2.87	0.00	0.00	0.00	0.00	0.86	0.00	0.00	0.37	0.00	0.00	0.00	0.42	0.00	0.22	0.85	0.23	0.36
	無回答	1.04	1.56	0.00	0.00	0.00	0.00	0.39	0.00	0.00	0.00	0.86	1.99	0.00	1.87	0.83	0.79	1.19	0.00	1.29	0.76
	平均値	3.75	3.76	3.77	3.87	3.66	3.70	3.91	3.84	4.00	3.87	3.63	3.80	3.80	3.67	3.74	3.57	3.75	3.75	3.70	3.79

7-2 「学生満足度・達成度」について

		授業 法 平均	学生 参加 平均	難易度						ク ラ ス サ イ ズ (人)					アンケート提出率 (%)				
				A	B	C	D	E	無回答	25 以下	26 ～50	51 ～100	101 ～200	201 以上	20 以下	21～ 40	41～ 60	61～ 80	81～ 100
6 知的に刺激される授業だった。	5	4.33	4.16	45.45	26.41	13.73	10.34	44.44	0.00	21.95	17.38	17.82	19.35	22.73	30.77	20.51	18.99	20.57	16.29
	4	3.85	3.67	36.36	47.18	54.93	32.18	33.33	100.00	46.95	49.00	51.96	46.77	54.55	30.77	60.26	50.63	51.06	46.87
	3	3.59	3.48	9.09	23.24	29.01	49.43	11.11	0.00	27.44	30.77	26.28	29.03	22.73	30.77	17.95	25.95	24.11	34.09
	2	2.93	3.05	3.03	3.17	2.32	8.05	0.00	0.00	3.66	2.85	3.02	4.84	0.00	7.69	1.28	3.16	3.90	2.76
	1	1.78	1.83	6.06	0.00	0.00	0.00	11.11	0.00	0.00	0.00	0.91	0.00	0.00	0.00	0.00	1.27	0.35	0.00
	無回答	0.18	0.27	0.00	1.05	0.58	0.00	0.00	66.67	0.61	1.13	0.90	0.00	0.00	0.00	0.00	2.47	1.05	0.25
13 授業の目標を達成できた。	5	4.36	4.17	24.24	10.88	11.97	4.60	11.11	0.00	10.43	14.16	10.54	6.45	0.00	15.38	5.19	8.18	15.14	11.03
	4	3.91	3.75	48.48	62.11	59.46	64.37	33.33	0.00	61.35	60.06	56.93	67.74	72.73	53.85	70.13	64.78	57.75	57.89
	3	3.50	3.37	18.18	23.86	24.71	26.44	33.33	0.00	25.15	21.81	27.11	22.58	27.27	30.77	22.08	22.64	22.54	26.82
	2	3.19	3.37	6.06	2.81	3.86	4.60	22.22	100.00	3.07	3.97	5.12	1.61	0.00	0.00	1.30	4.40	4.23	4.26
	1	2.50	1.75	3.03	0.35	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.30	1.61	0.00	0.00	1.30	0.00	0.35	0.00
	無回答	0.25	0.21	0.00	0.70	0.38	0.00	0.00	66.67	1.21	0.56	0.60	0.00	0.00	0.00	1.28	1.85	0.35	0.25
14 授業内容が他領域と幅広く関連することを理解させる ことができた。	5	4.27	4.05	39.39	20.35	13.98	11.49	22.22	100.00	14.63	17.19	17.47	17.74	9.09	38.46	14.10	17.31	18.37	15.04
	4	3.87	3.67	36.36	45.96	49.51	52.87	55.56	0.00	52.44	46.13	46.39	50.00	77.27	46.15	55.13	49.36	49.47	45.86
	3	3.64	3.60	18.18	28.07	31.84	32.18	11.11	0.00	30.49	30.95	30.12	30.65	9.09	15.38	25.64	28.21	26.15	34.84
	2	3.25	3.16	3.03	5.26	4.66	3.45	0.00	0.00	2.44	5.44	5.42	1.61	4.55	0.00	5.13	3.85	5.65	4.26
	1	1.89	1.50	3.03	0.35	0.00	0.00	11.11	0.00	0.00	0.29	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	1.28	0.35	0.00
	無回答	0.25	0.16	0.00	0.70	0.96	0.00	0.00	66.67	0.61	1.69	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	3.70	0.70	0.25
15 授業により、学生は、新しい知識、考え方、技能を 習得し、さらに深く勉強したくなった。	5	4.43	4.22	31.25	13.83	8.75	3.49	0.00	0.00	10.98	11.24	9.45	9.84	13.64	15.38	5.19	12.03	11.79	9.90
	4	3.99	3.79	46.88	40.07	47.86	32.56	50.00	0.00	45.73	43.80	43.60	42.62	45.45	38.46	55.84	40.51	43.93	43.40
	3	3.60	3.48	15.63	40.78	40.27	60.47	25.00	100.00	39.63	41.21	41.46	45.90	40.91	46.15	36.36	43.67	38.93	42.89
	2	3.05	3.17	3.13	4.96	3.11	3.49	12.50	0.00	3.66	3.46	4.88	1.64	0.00	0.00	2.60	2.53	5.00	3.81
	1	1.89	1.50	3.13	0.35	0.00	0.00	12.50	0.00	0.00	0.29	0.61	0.00	0.00	0.00	0.00	1.27	0.36	0.00
	無回答	0.18	0.27	3.03	1.74	1.15	1.15	11.11	66.67	0.61	2.25	1.80	1.61	0.00	0.00	1.28	2.47	1.75	1.50
設問6、13、14、15の合計	5	4.34	4.14	35.11	17.87	12.11	7.49	20.00	25.00	14.50	15.00	13.83	13.36	11.36	25.00	11.29	14.10	16.47	13.07
	4	3.90	3.72	41.98	48.86	52.96	45.53	42.86	25.00	51.60	49.79	49.74	51.82	62.55	42.31	60.32	53.50	50.58	48.52
	3	3.59	3.49	15.27	28.96	31.44	42.07	20.00	25.00	30.69	31.14	31.22	31.98	25.00	30.77	25.48	30.11	27.90	34.63
	2	3.12	3.20	3.82	4.05	3.49	4.90	8.57	25.00	3.21	3.93	4.61	2.43	1.14	1.92	2.58	3.49	4.69	3.77
	1	1.97	1.64	3.82	0.26	0.00	0.00	8.57	0.00	0.00	0.14	0.60	0.40	0.00	0.00	0.32	0.95	0.35	0.00
	無回答	0.22	0.23	0.76	1.05	0.77	0.29	2.78	66.67	0.76	1.41	0.97	0.40	0.00	0.00	0.64	2.62	0.96	0.56

8-1「学生の出席・態度」について

		全体 平均	全学 教育 平均	各学部ごとの専門教育の平均												専門 教育 平均	言語 文化 平均	講義 科目 平均	演習 科目 平均	必修 科目 平均	選択 科目 平均
				文	教育	法	経済	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産						
16 この授業の学生の出席率は () %程度であった。	100%	21.47	28.04	6.56	13.33	20.51	18.75	21.88	10.34	17.65	33.33	20.20	16.28	6.67	25.76	18.75	53.97	21.53	20.34	22.05	20.82
	80%	55.88	47.97	59.02	60.00	30.77	25.00	56.25	41.38	70.59	60.00	66.01	69.77	80.00	53.03	59.15	42.86	58.04	41.53	56.82	55.26
	60%	18.55	20.66	26.23	26.67	30.77	37.50	18.75	34.48	11.76	0.00	12.32	13.95	13.33	18.18	17.68	3.17	16.71	31.36	17.73	19.18
	40%	3.99	3.32	8.20	0.00	15.38	18.75	3.13	13.79	0.00	6.67	1.48	0.00	0.00	3.03	4.27	0.00	3.71	5.93	3.41	4.54
	20%	0.11	0.00	0.00	0.00	2.56	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.15	0.00	0.00	0.85	0.00	0.21
	無回答	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値		3.95	4.01	3.64	3.87	3.51	3.44	3.97	3.48	4.06	4.20	4.05	4.02	3.93	4.02	3.92	4.51	3.97	3.75	3.98	3.92
17 学生は、質問、発言、調査、自習 などにより、この授業に積極的に参加 した。	5	6.65	12.27	8.20	6.67	5.00	6.25	7.81	6.90	5.56	0.00	2.45	2.30	0.00	2.99	4.37	15.00	6.03	11.02	5.00	7.96
	4	30.26	31.60	31.15	40.00	30.00	37.50	29.69	44.83	33.33	40.00	28.92	25.29	26.67	23.88	29.71	36.67	30.26	30.51	28.18	32.24
	3	43.78	39.78	32.79	40.00	37.50	37.50	53.13	34.48	38.89	40.00	47.06	45.98	66.67	53.73	45.40	45.00	44.90	35.59	48.18	39.80
	2	16.20	14.13	19.67	6.67	25.00	12.50	9.38	10.34	22.22	13.33	18.14	21.84	6.67	16.42	17.04	3.33	15.99	17.80	16.14	16.33
	1	3.11	2.23	8.20	6.67	2.50	6.25	0.00	3.45	0.00	6.67	3.43	4.60	0.00	2.99	3.47	0.00	2.83	5.08	2.50	3.67
	無回答	0.64	1.47	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.14	6.25	0.00	0.30	4.76	0.73	0.00	1.12	0.20
平均値		3.21	3.38	3.11	3.33	3.10	3.25	3.36	3.41	3.22	3.13	3.09	2.99	3.20	3.07	3.14	3.63	3.21	3.25	3.17	3.24

8-2「学生の出席・態度」について

		授業 法 平均	学生 参加 平均	難易度						ク ラ ス サ イ ズ (人)					アンケート提出率 (%)					講義 科目 平均	演習 科目 平均	必修 科目 平均	選択 科目 平均	
				A	B	C	D	E	無回答	25	26	51	101	201	20	21	41	61	81					100
										以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下					以下
16 この授業の学生の出席率は () %程度であつた。	100%	4.04	4.05	22.58	22.54	19.50	28.57	11.11	100.00	19.02	22.79	21.82	18.03	22.73	8.33	19.23	22.50	19.86	23.04	21.53	20.34	22.05	20.82	
	80%	3.82	3.67	48.39	57.04	57.34	46.43	55.56	0.00	49.69	58.97	56.36	54.10	50.00	33.33	47.44	55.00	61.70	54.43	58.04	41.53	56.82	55.26	
	60%	3.68	3.42	19.35	15.14	19.88	21.43	33.33	0.00	27.61	15.10	18.48	14.75	18.18	16.67	25.64	18.75	16.31	18.73	16.71	31.36	17.73	19.18	
	40%	3.66	3.26	9.68	5.28	3.09	3.57	0.00	0.00	3.07	3.13	3.33	13.11	9.09	41.67	7.69	3.75	2.13	3.54	3.71	5.93	3.41	4.54	
	20%	3.33	3.00	0.00	0.00	0.19	0.00	0.00	0.00	0.61	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.85	0.00	0.21	
	無回答	0.47	0.32	6.06	1.05	0.38	3.45	0.00	33.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値		3.83	3.69	3.84	3.97	3.93	4.00	3.78	5.00	3.83	4.01	3.97	3.77	3.86	3.08	3.78	3.96	3.99	3.96	3.97	3.75	3.98	3.92	

8-3「学生の出席・態度」について

	授業 法 平均	学生 参加 平均	難易度							ク ラ ス サ イ ズ (人)					アンケート提出率 (%)					講義 科目 平均	演習 科目 平均	必修 科目 平均	選択 科目 平均
			A	B	C	D	E	無回答	25	26	51	101	201	20	21	41	61	81	100				
									以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下				
17 学生は、質問、発言、調査、自習などにより、 この授業に積極的に参加した。	5	4.30	4.59	15.15	9.76	4.46	6.90	0.00	0.00	11.52	6.29	4.80	6.45	4.55	7.69	3.85	10.63	5.65	6.28	6.03	11.02	5.00	7.96
	4	3.98	4.04	27.27	28.92	33.33	18.39	22.22	0.00	27.27	29.71	30.33	33.87	50.00	30.77	43.59	28.75	27.21	30.40	30.26	30.51	28.18	32.24
	3	3.80	3.57	39.39	41.11	45.35	47.13	22.22	0.00	36.97	47.14	45.35	41.94	22.73	38.46	34.62	43.13	45.23	44.97	44.90	35.59	48.18	39.80
	2	3.55	3.17	6.06	17.07	14.92	24.14	22.22	100.00	20.61	13.43	16.52	16.13	22.73	15.38	16.67	15.63	18.73	14.57	15.99	17.80	16.14	16.33
	1	3.33	2.71	12.12	3.14	1.94	3.45	33.33	0.00	3.64	3.43	3.00	1.61	0.00	7.69	1.28	1.88	3.18	3.77	2.83	5.08	2.50	3.67
	無回答	0.36	0.16	0.00	0.00	0.77	0.00	0.00	66.67	0.00	1.41	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	1.23	0.70	0.50	0.73	0.00	1.12	0.20
平均値		3.83	3.69	3.27	3.25	3.23	3.01	2.33	2.00	3.22	3.22	3.17	3.27	3.36	3.15	3.32	3.31	3.13	3.21	3.21	3.25	3.17	3.24

分析のための全体集計

	全体 平均	全学 教育 平均	各学部ごとの専門教育の平均												専門 教育 平均	言語 文化 平均
			文	教育	法	経済	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産		
設問1～15の平均値	平均値	3.81	3.85	3.71	3.84	3.59	3.85	3.96	3.85	3.91	3.81	3.77	3.84	3.76	3.72	3.79